

善 と 悪

究極のコミック・アクション聖書

マイケル・パール

「善と悪」®を読むことで聖書を読むきっかけとなれば、そして聖書に関心を持つことにつながれば幸いです。是非、読者が毎日聖書を読む習慣を作り、内容の意味を教えてください。どのように神様にお祈りください。

著作権 © 2008, 2016 マイケルとデビー・パール。無断複製禁止。

本書は著作権上の保護を受けています。本書の一部または全部について(ソフトウェアおよびプログラムを含む)、著者から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製・複製(コピー、スキャン、デジタル化等)することは禁じられています。但し、批評記事やレビューにおける短い抜粋引用は例外とする。詳しい情報は(GoodAndEvil@nogreaterjoy.org)までメールにてご連絡をください。(英語のみ)

『「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書』の著作権は以下の者が保有する。

No Greater Joy Ministries, Inc.

1000 Pearl Road

Pleasantville, TN 37033-1796 USA

聖書の引用:

聖書 新改訳<第三版> ©1970,1978,2003 新日本聖書刊行会

Print ISBN: 978-1-61644-086-2

1. 聖書 2. 旧約聖書 3. 新約聖書 4. イエス様 5. 宗教

6. キリスト教 7. 救い 8. グラフィックノベル

I.パール・マイケル II. 「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書

『「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書』は、販売促進活動、贈答用、ファンドレイジング、ブッククラブ、教会における教育目的、刑務所伝道、学校や大学での教育等の目的で使う場合に限り特別な割引価格で購入できます。本書に関する権利やライセンス契約書がございます。詳しい情報は(GoodAndEvil@nogreaterjoy.org)までメールにてご連絡をください。(英語のみ)

もくじ

物語

第1章	はじまり.....	1
第2章	アブラハム	21
第3章	モーセ.....	36
第4章	約束の地へ.....	65
第5章	王国	95
第6章	エリヤ	114
第7章	キリストに関する預言.....	142
第8章	新しい契約	158
第9章	初期の伝道.....	178
第10章	奇跡と例え話	209
第11章	過越祭とキリストの受難.....	242
第12章	復活と初期教会	272
第13章	全世界に向けて	300

聖書とは？	322
No Greater Joy Ministries, Inc. について	323

クレジット

ライター：マイケル・パール

イラストレーター：ダニー・ブラナディ

カラリスト：クリント・ケアリー

日本語版翻訳に関わってくれた全ての人に感謝申し上げます。

『「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書』アクション聖書は老若男女を問わず、人が聖書に関心を持ってもらうためのコミックです。セリフの大部分は聖書からの直接の引用ではないため、ページの下の方にある聖書箇所を参照することをオススメします。

はじめに

現代の宣教ミッションにおける「Marvel」

2000年を迎える頃、伝道者・作家であるマイケル・パールは、福音を述べ伝えるための新たなビジョンが与えられました。マイケルは様々な言語の話者へのコミュニケーションのため、また読解力が低い読者層のために「グラフィック・ノベル(コミック)」という形式でキリストの福音を広めたいと願っていました。

マイケルと妻のデビーは40年間に渡り多くの宣教ミッションをサポートした経験があったにも関わらず、娘がパプアニューギニアの辺境の山の未開民族クンボイに伝道をしはじめた時に、異文化コミュニケーションの難しさという壁に改めてぶつかりました。クンボイ族に伝道するには、明確かつ分かりやすい形で聖書の物語を描いた絵などの教材が必要でしたが、当時存在したのはクオリティの低い絵だけで、他は高額なために手に入れることができませんでした。そんな娘の悩みによって自分のビジョンを、さらに実現したくなったマイケル・パールは、かつてマーベル・コミックスで活躍した、優秀な才能の持ち主で経験豊富なイラストレーター、ダニー・ブラナディと手を組もうと決めました。

マイケルがダニーに連絡した時、神はもうすでにダニーの心の中で働いておられ、その数年前にダニーはクリスチャンになっていたのです。当時は描いていたコミックに不満を抱いていたので、マーベルを辞め、サンフランシスコで夜警備の仕事をしていました。ダニーは新しいスタイルでコミックを描いてみたらどうか、というマイケルの提案を受け、二人はグラフィック・ノベルのスタイルで創世記からヨハネの黙示録に至る、人間を罪から救ってくださる神の働きを描くコミック「善と悪」を一緒に制作することになりました。白黒の原本ができた後、イラストレーターのクリント・ケアリーに依頼し、聖書の場面に鮮やかなカラーリングが施されました。

本コミックでは聖書のよく知られている話(ダビデとゴリアテの話など)のいくつかは割愛されていますが、このコミックは歴史の年代順に沿って綴られており、旧約聖書のアブラハム・イサク・ヤコブの神についての真実、及び新約聖書の使徒の働きやイエス様が与えてくださる救いの必要性などをしっかりと描いています。2008年に初版が出版された時点から、「善と悪」は英語読者にとってエンターテインメントそして教材となり、本来の意図である異文化コミュニケーションにおいても優れた実績を積んできました。「善と悪」は、スペイン語、ウクライナ語、ラーオ語、タイ語、ミャオ語、ビルマ語、セブアノ語、カレン語、ワ語など、現在54ヶ国語以上の言語に翻訳されています。全13話のアニメ版も製作されています。また本書は通常はキリストの福音に閉ざされた場所にも迎え入れられています。魅力に満ちた迫力あるこのコミックはヒンズー教徒やイスラム教徒の関心も引き、世界の果ての国々の本屋にも置いてあります。


2015年、そんな作品を創りたいというマイケル・パールの夢がきっかけで、21世紀のテクノロジーを活用した「善と悪」のコミック版・DVD版とその他の福音を伝えるための作品をより多くの人の手に届けるための組織「Good and Evil International」が設立されました。「善と悪」が世に出たことで、現代の宣教ミッションの在り方は変化しました。読者はこのコミック・アクション聖書の旅に出ると、そのストーリーに「marvel」(不思議に思って驚く)することでしょう。

コミック・アクション聖書「善と悪」のそれぞれの物語の原典は、聖書に記載されています。コミック版の物語に対応する聖書の箇所(書簡名・章・節)は各ページの下部に明記されているので、必要に応じて参照し、聖書自体から物語を読んでみて下さい。




第1章

はじまり



この物語は何千年も前の古い本に書かれている。今から話すことは、信じがたい事柄もあるかもしれないが、すべて事実なのだ。


まさに事実は小説より奇なり…なのである。



全てが始まる前、最初の人類が創造されるより以前、地球や太陽や星たち、光や時間というものでさえもまだ造られていないころ、すでに神は存在されていた。

起源の始まりというものを超えたところに神は存在されていたが、神は孤独ではなかった。限りのある人間とは違い、神は三位一体として存在されている。それぞれの御各位が別格で同等、それでいて、自然界においても権力においても行動や意思においても、唯一のお方として永遠に存在するのである。神は慈愛に満ちた三位一体のご自身と語り合っておられた。

とは言え、神はご自身の命の歩みを分かち合うことの出来る隣人や友が欲しかった。



聖書*は、王座に座しておられる神を永遠にあがめ賛美する、多くの天の御使いたちの存在についても語っている。その中の一人であるルシファーは、天の軍勢の三分之一をそそのかして反逆を企てた。神は彼らを天国から追放し、ルシファーの名前はサタンとなった。

しかし、これは彼らの物語ではない。

人類とともに在って働かれる神の物語なのである。

初めに、神が天と地を創造した。
地は茫漠として何もなく、
神の霊が水の上を動いていた。

突然、神は闇に向かって
仰せられた…。

光、あれ。



現代の多くの人が天地創造の在り方について思う形と違い、創り主なるお方は、「進化」というのを用いることはなさらなかった。神は、単に言葉を発することによって全てのものを造られたのだ。一日を二十四時間とした六日間を通して、神は植物や動物達を地上に繁栄させられた。



六日目に、神は土地のちりから新しい生き物を創造された。



神は土地のちりから人を造られた。そしてその土の器に、神ご自身の命の息吹を吹き込まれた。人はその他の動物たちとは異なり、生きる魂の霊を授かった。人は神の似姿に創造された。

神はこの新しい創造物を人類とし、アダムと名付けた。



神はお造りになったすべてのものを見られ、「非常に良い。」と仰せられた。



神は毎日アダムと語られ、日々は素晴らしいものだった。アダムがそれぞれに名前を付けることが出来るようにと、神は全ての動物達をアダムのもとへ連れてこられた。目の前を行く動物達を眺めながら、アダムは自分に彼らのようにパートナーがいないことに気がついた。



そこで神は仰せられた。

わたしはアダムのために、彼にふさわしい助け手を作ろう。

神はアダムを深い眠りへと導き、彼の脇腹からあばら骨を取ると、その骨から彼の愛する助け手となる美しい女を創造された。



神はアダムを目覚めさせ、その女をアダムのもとに連れてこられた。神は二人に、子供を持ち、地上を満たすようにと告げられた。アダムは新しく創造されたその美しい妻を、エバと名付けた。

彼らは二人とも裸であった。しかし、子供のようにそのことを意識していなかった。

私の骨からの骨、私の肉からの肉。

その様子を邪悪なサタンも見届けていた。



彼らは楽園で幸せに暮らしていた。罪もなく、飢えもなく、厳しい寒さや暑さもなかった。

神は木々を指して語られた。

あなたは、楽園のどの木からも思いのまま食べてよい。しかしこの善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。

サタンは神を憎んでいたため、神のなされている全てを壊したかった。そこで、彼はエバに近づくために、美しく造られた生き物のひとつの身体に入り込むと、その口を通して彼女に話しかけた。

神はおまえに、この楽園のどんな木からも食べてはならないと言ったのかい？

神様は楽園の木の実を食べてもよいとおっしゃいました。でも園の中央にある一本の木の実は食べてはならない、と。それに触れると死んでしまうと仰せになりました。

ふん、死ぬものか！その木の実を食べたらおまえも我々のような知恵が授かって神々のようになれる。善悪の知識が得られるんだ。

エバは神に逆らい、その実を取って食べた。

そそのかされたと気づいた時には時すでに遅し。善悪の区別を知るところか、彼女は悪に支配されてしまった。




目に美しく、食べるのに良く、そして私を賢くしてくれる。でも神様はこの実を食べてはならないとおっしゃった。

エバは善悪というものを知らなかった。

エバは実をもぎ取ると、夫にも食べるよう勧めた。

ほら、私は食べたのに死んでいないわ。あなたも食べると、きっと賢者のようになれるわ。



彼らは、自分たちが
何一つ身にまわって
いないことを恥じた。

はっはっはっ、
お前たちは殺される
ぞ。奴がわが身にした
ことを見る。

私た
ちは
何とい
うこ
とを！


我々は神に背
いてしまった。
すぐに、神は
やって来られる。
とにかく、身に何か
をまとうのだ。



アダム、
どこだ？

私はあなた
のお声を聞きま
した。私は裸な
ので、恐れて、
隠れました。

あなたが裸であ
るのを、だれがあなた
に教えたのか。あなたは、
食べてはならない、
と命じておいた木か
ら食べたのか。



あなたが私の
そばに置かれたこの
女が、そうしると
言ったんです。



シューッ

蛇が私を惑わしたのです。食べても死なないと。食べたならあなたのようにになれるのだと。でもそうではなかった。私はなんと恐れ多いことをしてしまったのでしょうか。

神は、その蛇を呪ってこう仰せられた。

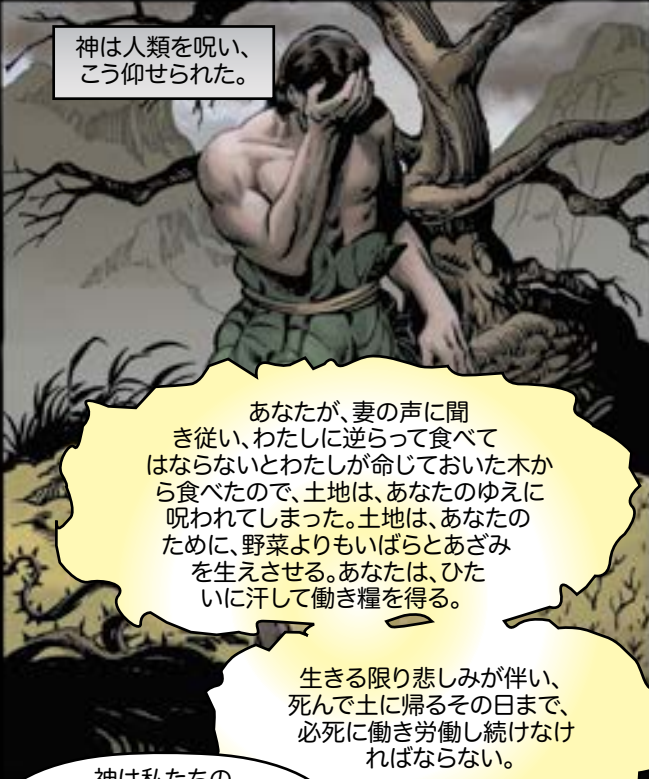


おまえがこんな事をしたので、おまえは一生腹ばいで歩き、ちりを食べなければならぬ。わたしは、おまえの子孫と女の子孫との間に敵意を置く。

ここに、将来起こる戦いに向けての約束がある。時が来たら、女の子孫がサタンを倒す、という約束だ。彼が人類をその罪と死の呪いから救い出し、神の御元へと連れ帰ってくださるという約束だ。

彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかどにかみつく。

神はルシファーとその墮落した天使達を一瞬のうちにその場で滅ぼすこともお出来になられた。しかしあえてそうせず、人類の試みに彼らを用いるために、しばらくの間生かしておくことにしたのだ。はたして人間達は、神に従うことを選ぶのか。もしくは、サタンに従い、神に反抗することを選ぶのだろうか。




神は人類を呪い、
こう仰せられた。

あなたが、妻の声に聞き従い、わたしに逆らって食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえに呪われてしまった。土地は、あなたのために、野菜よりもいばらとあざみを生えさせる。あなたは、ひたいに汗して働き糧を得る。

生きる限り悲しみが伴い、死んで土に帰るその日まで、必死に働き労働し続けなければならない。


神は私たちの命をお取りにならなかった！私たちはまだ生きている！

私たちの代わりに動物が殺されたのね。




神が仰せられたように、アダムとエバは死ななければならなかった。しかし神は、二人の代わりに動物をほふられ、その皮を用いて二人のために衣を作り、彼らに着せてくださった。

アダムとエバは罪人となった。神は二人が命の木の実をとって食べ、罪人として永遠に生き続けることがないように、彼らをその美しい楽園から追放された。



アダムとエバは、罪のない動物達の命と引き換えに、この日生き残った。しかし、死の宣告は下っていたので、いずれは彼らも死ぬ運命にあった。死は、罪の報酬なのである。



神は、誰も命の木に近づくことがないようにと、楽園の入り口にケルビムと呼ばれる特別な天使を配置された。後に、楽園は破壊され命の木も地上から取り去られた。いつの日か、それらは再び地上に戻されるのだが、その前には再び地上に戻るのだが、その前にこの話の続きを進めなければならない。

アダムとエバは多くの子供に恵まれた。しばらくして、彼らの息子達と娘達は互いに結ばれ、それぞれに子供が授かっていった。



最初に人類が造られたころ、近親交配による遺伝子の突然変異がもたらす欠陥などはまだ発生していなかった。しかし、後にそれらが問題になってきたので、神は近親者同士による結婚はするべきではない、と命じられた。

あるとき、二人の息子達が神を礼拝した。父親であるアダムから、楽園で神が、彼らの身代わりとして動物達をほふられた話を聞いていたアベルは、信仰によって自分の動物の命を神にささげた。

おお、神よ、私は罪深き人間です。この子羊を私の命と引き換えにささげます。

アダムとエバの長男であるカインは野菜や果物を育て、次男のアベルは動物を飼い育てた。はたしてこの二人のうちのどちらかが、サタンを打ち負かす約束の息子となるのだろうか？



カインとアベルは、神や楽園で起こった出来事について知っていた。しかし神はもはや、かつてのように人間と共に歩んだり語らうことはなさらなかった。アダムとその子孫は、アダムの犯した不従順の罪によって、神から引き離されてしまったのだ。神のいない人生はとても辛いものだった。

カインは、自分の持っている最上のものを神にささげた。しかしそれは血の犠牲を伴うものではなかった。カインの罪を神は喜ばれていないということを、彼は理解していなかった。



神よ、どうか私の出来る限りの最高の供え物をお納めください。

彼らのうちのどちらかが、約束された救い主となるのだろうか？



カイン
それらはいない。

神はカインのささげ物には目を留められなかった。それらは血の犠牲を伴う物ではなかった。



神はアベルがささげた供物を喜び、無実の子羊から流れた血を見て神はアベルの罪を取り去った。

神はカインに仰せられた。「あなたが正しくおこなうのであれば、わたしは受け入れて喜び、あなたをあなたの弟、アベルの上に立つ者とし、アベルをあなたに従属させよう。」



いったい何様のつもりだ？俺の育てた果実や野菜は、あんな子羊よりよほど価値がある。なんでお前なんかそんな特別なんだ？

兄さん、血の犠牲をささげるための時間はまだあるよ。



もうお前なんかにかすもんか！

アベルは死に、カインは殺人の罪を隠そうとした。

しかしカインは、自分の犯した悪事を神から隠すことはできなかった。神はすべてを見ておられ、すべてをご存知なのだ。



カイン、あなたの弟アベルは、どこにいるのか？

知りません。私は弟の番人なのでしょうか。

あなたの弟の血がまだ土地に残っている。おまえの悪事を表しているのだ。

神はすべてをご存知である。すべての人を見ておられる。神の御前に隠し事はできない。神はカインがアベルにしたことを見ておられた。神はカインを呪われ、カインは妻を連れて荒野へ逃げ去った。彼の罪は彼自身に深い悲しみと苦痛をもたらした。




彼は約束された救い主にはなれなかった。彼は、自らが救われなくてはならない立場となった。

神が仰せられた救い主の約束はどうなったのか？アダムとエバのもとに再び男の子が生まれ、セツと名付けられた。その後、彼らは多くの息子、娘たちを生んだ。



カインに殺された息子の代わりに神様はもう一人の男の子を授けてくださったわ。




セツも成長して息子をもうけ、その子もやがて息子をもった。こうして多くの子供達が生まれたが、罪の呪いを取り除き、死に打ち勝つ者となる存在はまだ現れていなかった。地上には多くの都市や村、農地ができた。

新しい世代が増えるに伴い、罪もまた増大していった。人々は性的な罪や暴力的な罪を犯した。全ての思想が罪に染まっており、誰も義と認められる者はいなかった。アダムはひとつの罪を犯した。そして人々は今、多くの罪を重ねていた。

神は仰せられた。「わたしはこの地に人を造ったことを悔やむ。わたしはわたしが創造したすべてのものを地の表から消し去ろう。」
神の御国を忌み嫌うサタンは、神がすべてを滅ぼすことを喜ぶにちがいない。

9世代(1400年)が巡る中で、地上には罪が充満していた。

人は、自分の同胞を奴隷とするようになった。



神を愛し、神に従う家族を、神はいつかもつことができるのだろうか。

紀元前 約2500年

しかし、ノアという男は、ただひとり正義を信じて常に正しいことをおこなっていた。神は恵みのうちに、ノアとその家族だけは滅ぼさずにしようと決断された。

ノア、わたしはこの地上で大洪水を起こす。いのちあるものはすべて死ぬ。あなたとあなたの家族と動物達を守るために、大きな箱舟を造りなさい。

地上の全ての生き物の中からオスとメス、一つがいつ、食べることが許されている生き物の中から七つがいつを取り、ともに箱舟に乗せなさい。箱舟の造り方や洪水への備えについては、わたしがあなたに教える。

ノアこそが、サタン戦略を打ち砕く約束の者なのであるか。はたして彼は神に従うだろうか？それとも、彼もまた墮落してしまうのだろうか？

神は、地上に生息する生き物一つがいつと、必要な食料を積み込むためには、どれほどの大きい箱舟を造る必要があるのか、ノアに説明された。

洪水によって人々が滅びるとい
うことに、ノアは悲しみを覚え
た。そこで、多くの時間を費や
して、人々にその罪を悔い改め
るよう警告を与え続けた。

もう一度言う。神は大
きな洪水を起こされ、地上
を滅ぼされる。私の言葉を
信じて、共に箱舟に乗
るうではないか。

罪が原因なのだ。
罪を犯すのを辞め、
正義と愛をもって隣
人に接するんだ。

バカ
な奴め。

愛に満ちた
神がなぜその子
供達を滅ぼすつ
ていうんだい？

120年の後、箱舟は完
成した。神は世界中から
動物達をノアのもとへと
連れてこられた。

見てごらんよ。
誰も導いていない
のに動物達が自ら
やってくる。

なんとも
不思議な光景だね。
こんなにも多くの動物達
が存在していたとは。ノア
が言うように、神が洪水
を起こす、というのは
本当のことなん
だろうか。

まるで誰かの
呼びかけに
応えている
かのようだ。



これでもうスペースはいっぱいだな。

これらが最後です。

ノア、時が来た。あなたの家族や動物達と共に箱舟に入りなさい。罪を悔い改めない者達には、もうあとわずかしが時間が残されていない。



神は箱舟の扉を閉ざされた。七日間は何事もなく過ぎた。

はっはっは、愚か者どもめが！海から何キロも離れたこんな乾いた平原にどでかい舟など造りやがって。しかもその中に動物達と閉じこもってんだぞ。

ちえ、もうライオンに食われちまってるんじゃないか。

もう一週間も閉じこもってるぞ。



しかし七日目に、雨が降りだし、さらには地中深くに貯まっていた水が地表に吹き出してきた。

こんなの、見たことがない。船の中に閉じこもった狂った奴らの言う通り、神が罪の報いに我々を殺そうとしているのだろうか？

バカなことを言うな。神は愛そのものだ。それに、ひとりの人間が正しくて他の宗教家のお偉いさん達が皆間違っている、なんてことがあるもんか。

この時まで、地上に雨が降ったことなど一度もなかった。天候は常に良く、霧が立ちこめることで地は潤されていた。雨というものを、誰ひとり見たことも聞いたこともなかったのである。雨が降るだろう、ということ、例えノアが信じなかったとしても不思議ではない。水が空から降ってくるだなんて、と人々はノアを気がふれた者として扱った。しかしノアは、ただ神が仰せられたことを信じたのである。



ノアの言う事を信じるべきだった。私はなんて愚かだったのだろう。

神様、赤ちゃんを助けて！

紀元前 約2348年

この時になってはじめて、人々はノアが真実を語っていたことに気がついた。しかし時はすでに遅すぎた。

雨はその後、四十日四十夜降り続き、地上のすべての山々を覆った。ノアと共に箱舟に乗り込んだもの以外、全ての命ある生き物は死に絶えた。再びノア達が箱舟から出られるまで、一年以上もの月日がかかった。

水が引いて、この箱舟から出られるようになると嬉しいのだが。

ノアは、一羽の鳩を放った。やがてその鳩は、くちばしに若枝をくわえて戻ってきた。すでに地上のどこかで木々が育っている証だ。後に、ノアが再び鳩を放すと、その鳩はもはや戻ってはこなかった。それは、鳩がどこかに住む場所を見つけたことを意味していた。

まもなく箱舟は、アララテ山の上にとどまった。すべての生き物は箱舟の中から出てきた。罪が一掃された新しい世界へと。

ノアは祭壇を築き、神への全焼のいけにえをささげた。ノアは正しい人であったが、彼の心にも罪は存在した。血の犠牲のささげものは、罪あるノアとその家族の命と引き換えに、神にささげられたのだ。

わたしは空に、虹をかける。わたしはもはや地上を洪水によって滅ぼすようなことはしない。虹はその契約のしるしだ。生めよ。増えよ。地に満ちよ。

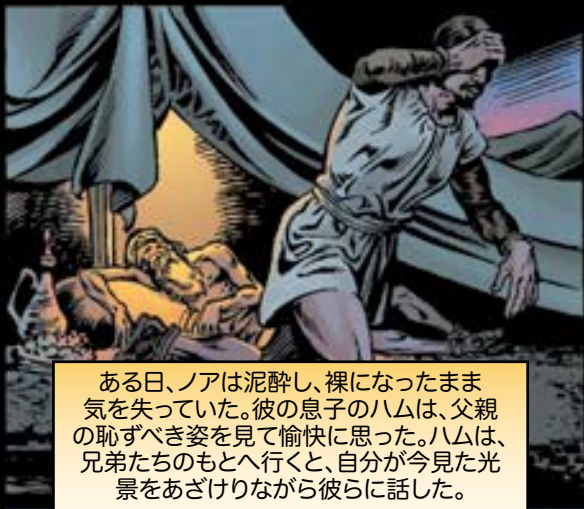
生き物すべては、人間を恐れるようにしよう。生きて動いているものは皆、あなたがたの食物である。野菜やハーブのように。しかしその血までも食してはならない。また、人を殺してはならない。

もし人を殺すならば、その者も同じように誰かに殺される。人の血を流す者は、人によって、血を流される。命はその血の中にあるのだ。

本来ならばノアとその家も、罪のために洪水によって滅ぼされるべき存在であった。しかし、神の恵みによって彼らは生かされた。ほふられた動物達はそのことの象徴である。かつて神が楽園で、アダムとエバの身代わりとして生き物をほふり、その皮で彼らの身体を覆ったように。

ノアは農夫となり、ぶどうを栽培した。四世帯のみではじまる新しい世界はさみしいものだったが、息子夫婦たちはそれぞれ子供を授かっていった。

ノアは、果実を容器に入れて数週間おいておくと、愉快的気分させてくれるアルコール飲料になることを発見した。ノアはこの飲み物がたいそう気に入り、時には働けなくなってしまうほどだった。意識を失うまで飲みつづれることもあり、酔って神が喜ばれないような行動をとるようになった。



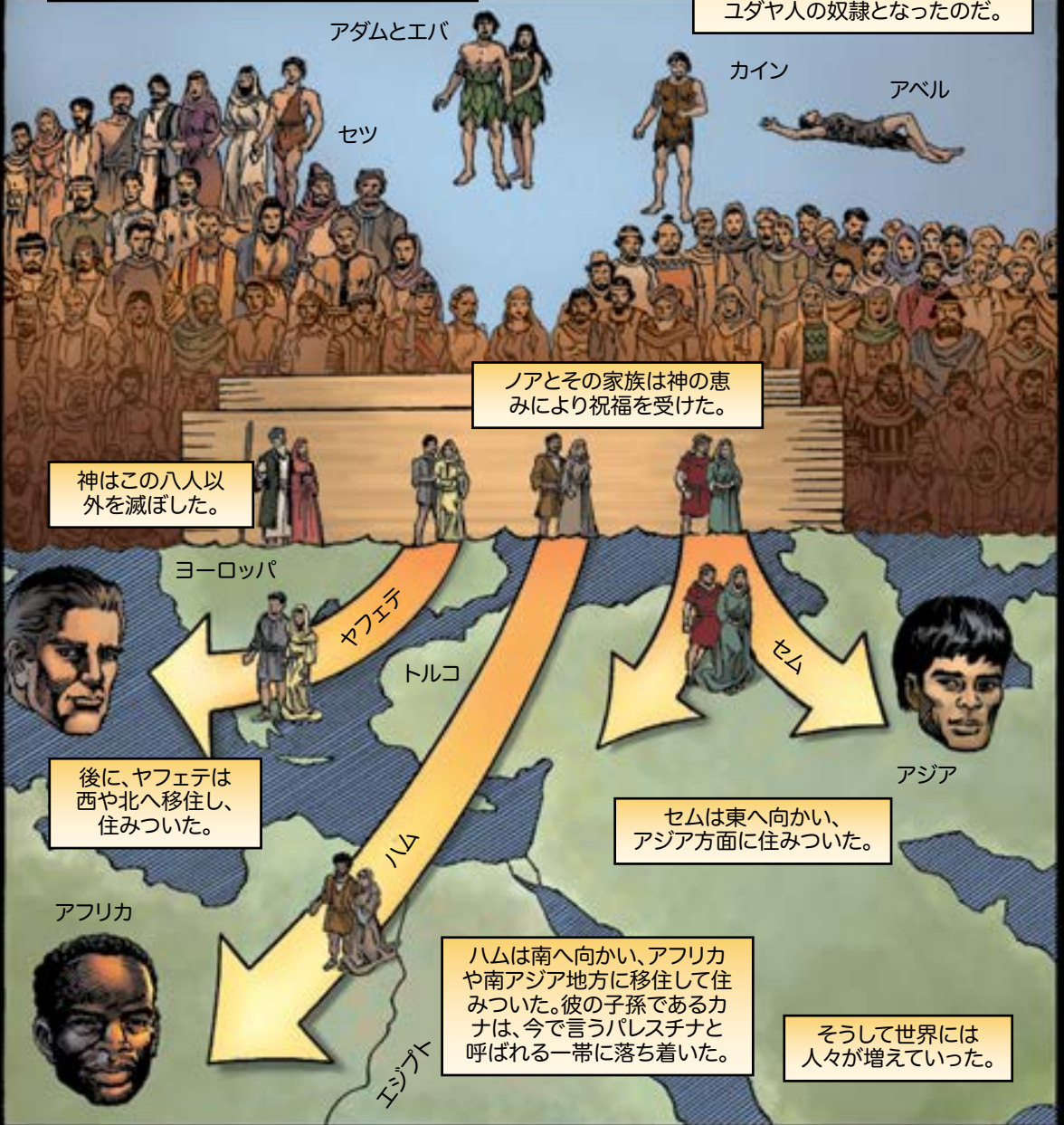
ある日、ノアは泥酔し、裸になったまま気を失っていた。彼の息子のハムは、父親の恥ずべき姿を見て愉快に思った。ハムは、兄弟たちのもとへ行くと、自分が今見た光景をあざけりながら彼らに話した。



ノアが目覚めた時に、兄弟はハムがしたことをノアに告げた。

おまえの息子、カナンとその子孫は、おまえの兄弟のセムの子孫に仕えるしもべとなる。

何年もたった後、この預言は真実となった。カナン人はパレスチナを占領して住み着いたが、やがてユダヤ人の奴隷となったのだ。



紀元前 約2247年

ノアの息子、ハムに、クシュという息子が生まれ、クシュからニムロデが生まれた。ニムロデは力ある獵師となり、彼の名は世界中に知れ渡った。彼は神に従うことを拒み、自ら偽りの宗教をバビロンの地に立て上げた。

バビロンの人々は、地に広がり子孫をもうけよ、という神の命令に従うことを拒んだ。反対に彼らは、町の中心に集まると、そこに高くて立派な礼拝用の塔を建てた。

地に広がるように、という神の言葉にあえて背いた人々に対して、神はお怒りになられた。そこで神は、彼らが互いに異なった言語を話すようにされた。

しかしその塔は、創り主である神を拝むためのものではなかった。

Can you guys understand what I'm saying?

אני לא יכול להבין אתכם
אתם לא יכולים להבין אותי

もはや労働者達は互いに意思疎通をはかることができなくなり、仕事を続けることが出来なくなっていました。

同じ言語を話す者同士が集まり、それぞれの道をたどり始めた。ある者達は遠方の地へ向かい、ある者達は船で島を目指した。また、寒い北国へ向かう者達や暑い砂漠地帯へ向かう者達もいた。こうして人々は各地へ広がっていき、神のご命令は果たされた。

地上に人間が増え始めると、再び罪が増大していった。人々は偶像を礼拝し、生ける神を忘れていった。



第2章

アブラハム

紀元前 約1921年

銅像は真実の神ではない、と信じる、アブラハムという男がいた。神は創り主であり、偶像を通して神を礼拝することは出来ないと思っていた。

神は彼に語りかけられた。
「アブラハム、あなたは、この偶像礼拝の町を去るのだ。あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民の父とし、あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族はあなたによって祝福される。」

アブラハムこそが、罪と死を打ち砕く約束の御子なのであろうか？

アブラハムは、かつてハムの息子が移り住んだカナンカナンの地、今でいうパレスチナへと行き着いた。そこで神は彼に語られた。

アブラハムよ、この土地のはじからはじまで、くまなく歩くがよい。あなたの子孫に、わたしはこのカナンカナンの地を与える。わたしは、あなたの子孫を、地のちりのように、数えきれないほど増やそう。

アブラハムは、その声が神のものだと確信していたので、自分がどこへ行くのかわからないまま、それでも神に従う道を選んだ。彼が分かっていたことは、偶像礼拝を離れ、生ける神に従っていく、ということ。神を信頼するためのさらなる証拠集めは必要なかった。彼は、甥のロトも連れて旅路に出た。

サラ、神は、おまえが長いこと待ち望んだ子供を授けてくださるとおっしゃった。

私が子供に恵まれなかったことはあなたもご存知のはず。出産適齢期はとうの昔に過ぎてしまっています。どうして子供を持つことが出来ましょう？

神がそう、おっしゃったのだよ。



アブラハムは、その土地を旅する中で、時折立ち止まっては祭壇を築き、血の犠牲を神にささげた。かつてアベルがそうしたように。信仰によって、アブラハムも自分が死の報いを受けるべき罪人であることを認識していたのだ。

ほふられた子羊が彼の罪を取り除くことはできないが、神はアブラハムの信仰をご覧になられ、彼の罪をお赦しになられた。

10年後



アブラハム、10年前に神様は私が子供を産むとお告げになったのよね。でも私はもう75歳でああなたは85歳よ。年をとるばかりで子供は生まれません。あなたもも子供をつくることなど出来ない歳になってしまいます。本当にあなたは神様からお告げを受けたのかしら？



確かに神様はそうおっしゃったのだよ。どうしてこれほど長く待たなければならないのかは分からないが、神様は私を大なる国民の父とする、とおっしゃられたのだ。しかし、今の私にあるものと言え、この老いぼれた身体と年老いて子供の産めない妻、そして羊の大群のみだ。

アブラハムよ、恐れてはならない。わたしはあなたを守り、あなたに豊かな報いを与える。

私には子供がありませんのに、どのような報いをお与えになるとおっしゃるのでしょうか？



あなたとサラは子供を授かるのだよ。



あなたの仰せの通りになると私は信じます。

アブラハム、来るが良い、星が見えるであろう。数え切れない星か...あの星のように、数え切れないくらいの子孫に恵まれるであろう。

あなたはわたしを信じたので、わたしはあなたを義と認める。やがてあなたの子孫は、見知らぬ土地において寄留者となり、400年の間奴隷としてその国に仕えることになる。しかし、わたしがその国を罰し、必ず彼らを救い出そう。彼らは多くの富を携えて、この約束の地に戻って来るのだ。



約束の子はどこなの？
私は日に日に年老いていくわ。
あなたもやがて種を残すこと
ができなくなる。アブラハム、
私はあなたに子供を与えて
あげられないのよ。



この土地の習慣
として、召し使いに
子供を産ませる手が
ありますよ。



アブラハム、分からない
のですか？こんな機会は一
度もありません。手遅れに
なる前に彼女に子を産ませ
るのです。あなたの子孫な
のですよ。神も望んでおら
れるはず。あなたが偉大な
国の父となるにはそれしか
ありません。



そう、そうする
しかないのです。

その時アブラハムは、神に
祈らなかった。神の約束を
忘れ、妻の言葉のみに聞き
従ってしまったのだ。

数ヶ月後

私は
アブラハム様
の子を産む
のだわ。

ハガルは、自分がアブラハムの子を宿したことを知ると、得意げになり、サラを見下すようになった。サラは妬みを覚え、気持ちが悪くなっていった。

サラはハガルを冷たくあしらい、きつい仕事をさせた。神は一人の男が複数の妻を持つことや、側室に子供を産ませることは意図しておられなかった。

水汲みが終わったら、次は薪割りよ！

ハガルは逃げる決心をした。

ハガルはサラのもとから逃げ去り、荒野へ向かった。歩き疲れてもうこれ以上前へ進めなくなったハガルは、とうとうその場に倒れ込んでしまった。そんなハガルの苦悩をご覧になられた神は、彼女に語りかけられた。

ハガルよ、サラのもとに帰りなさい。そして、彼女のもとで身を低くしなさい。あなたはみごもり、男の子を産もうとしている。その子をイシュマエルと名づけなさい。主があなたの苦しみを聞き入れられたから。

あなたの子孫は、わたしが大いにふやすので、数えきれないほどになる。彼は野生のろばのような人となり、その手は、すべての人に逆らい、すべての人の手も、彼に逆らう。彼はすべての兄弟の近くに敵対して住もう。

ハガルは家に戻り、やがて子供が生まれた。

神は、アブラハムの子である以上、この子は多くの国の父となるとおっしゃいました。

イシュマエルは後に、アラブ諸国の父となる。

アブラハムが86歳の時にイシュマエルが生まれた。イシュマエルの誕生から間もなくして、アブラハムはもはやこれ以上子供を作ることができないほどに年老いてしまった。神がアブラハムに約束した子供とは、イシュマエルのことだったのだろうか？しかし神は、アブラハムとサラの間に子供が生まれるとおっしゃはずなのだが。。

イシュマエルが13歳、アブラハムが99歳の時、神は再びアブラハムに語りかけられた。

アブラハム、わたしは全知全能の神である。わたしの言うことに耳を傾け、罪を犯してはならない。わたしが以前あなたに伝えたように、わたしはあなたの子孫をおびたたくふやし、あなたは多くの国民の父となる。わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に立てる。

アブラハムとサラが、子供をもうけることが出来ない年齢まで年老いてしまった今、神はどのようにしてご自身の約束を成就されるのであろうか。

わたしは、カナンの全土を、あなたと、あなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。私が約束した通り、サラはみごもり、あなたに男の子を産む。わたしは彼を大いなる国民としよう。

いや、わたしが初めからそう言っておいたように、あなたとサラが、自身の身体を通して子供をもつのだ。イシュマエルではなく、その子を通して祝福の契約が受け継がれていく。来年の今ごろ、サラはあなたに男の子を産むであろう。

はっはっは。。
99歳の私と89歳のサラの間に子供が生まれましょうか。私の身体はもう死んでも同然です。子供などもてるはずもない。どうかイシュマエルが、約束の子としてあなたの御前で生きながらえますように。

そんなことが可能なのだろうか。。。いや、主に不可能なことがあるか！人間をお造りになられた神様は、この老いたふりに子供を与えることもおできになるのだ！

アブラハムは、彼らが近づいて来るのを目にし、少し様子が違う人たちだとは思ったものの、彼らがこの地上に属する者達ではない、ということにまだ気がついていなかった。

数日たって、砂漠の向こうから、3人の人がアブラハムの所にやってきた。彼らは遠くから旅してきたように見えなかったが、近郊に住む者のようでもなかった。彼らは強く、自信に満ちた様子で、老いと無縁のようにも見えた。

彼らのうちのふたりは、義なる天の使いで、もうひとり、アブラハムと話をするために、高潔な天の使いのような姿を身にまとして下ってこられた。神ご自身であった。アブラハムはかけよって彼らを出迎えた。



アブラハム、お前の妻サラは息子を授かるであろう。

あはははは。。

老いぼれてしまったこの私に、何の楽しみがあるろう。それにアブラハムも年寄りで。



神が、サラは子供を授かると申しておるのに、なぜサラは笑うのか？

私は笑ってなどおりません。

いや、確かにあなたは笑った。なぜあなたは信じないのか。神に不可能なことがあるうか。わたしは、定めた時に、あなたのところに戻ってくる。その時、あなたには男の子ができています。



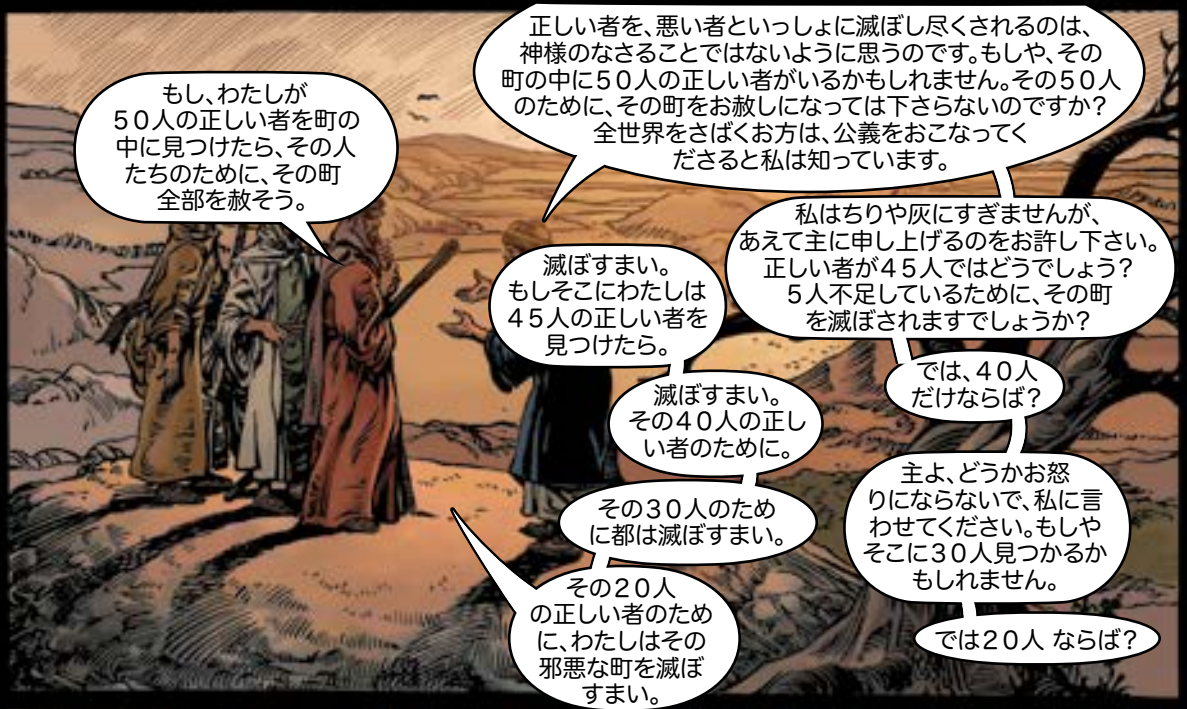
はい、彼は知っておく必要があります。

わたしがしようとしていることを、アブラハムに隠しておくべきだろうか。アブラハムは必ず大なる国民の父となり、彼はその子供達や子孫に、神に従うことを教えていくのだ。



ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、また彼らの罪はきわめて重い。わたしはすべてそこに住む者、男も女も子供も、すべて滅ぼそう。

しかし、私の甥のロトとその家族は、そこに住んでいるのです。



もし、わたしが
50人の正しい者を町の中
に見つけたら、その人
たちのために、その町
全部を赦そう。

正しい者を、悪い者といっしょに滅ぼし尽くされるのは、
神様のなさることではないと思うのです。もしや、その
町の中に50人の正しい者がいるかもしれません。その50人
のために、その町をお赦しになっては下さらないのですか？
全世界をさばくお方は、公義をおこなってくだ
さると私は知っています。

滅ぼすまい。
もしそこにわたしは
45人の正しい者を見
つけたら。

私はちりや灰にすぎませんが、
あえて主に申し上げるのをお許し下さい。
正しい者が45人ではどうでしょう？
5人不足しているために、その町
を滅ぼされますでしょうか？

滅ぼすまい。
その40人の正し
い者のために。

では、40人
だけならば？

その30人のため
に都は滅ぼすまい。

主よ、どうかお怒
りにならないで、私に言
わせてください。もしや
そこに30人見つかるか
もしれません。

その20人
の正しい者のため
に、わたしはその
邪悪な町を滅ぼ
すまい。

では20人 ならば？



主よ、どうかお怒りにならないで、今一度だ
け私に言わせてください。もしやそこに、10人の
正しい者が見つかるとしたらどうでしょう？
その町を滅ぼされますか？

滅ぼすまい。
その10人の正し
い者のために。

もし、10人
も善良な者たちが見つからない
としても、どうかお願いします、
私の甥の口には警告してい
ただけないでしょうか？

今夜、わたしたち
は彼を訪ねる予定だ。



夕方、二人の天の使い
はその町を訪れ、ロト
の家の近くを歩いた。

これは異常としか
言いようがない。想像
した以上にひどい。

子供や動物で
さえ、神が滅ぼさ
れようとする事が、
これで理解できる。



旅のお方よ、
夜の通りは危険ですよ。
一晩、我が家で過ごされ
てはいかがかな。

おい、なかな
か魅力的な奴
らだぜ。町の
奴らに知らせ
てやるか。



ロト、そいつらを
外へ出せよ!俺たち
は、そいつらと、いい
ことをしたいんだ。

あいつは自分
を何様だと思っ
てるんだ?

あっちへ行け!
お前たちの好きに
はさせんぞ!

ドアをぶち
破るぞ!よそ者め、
ひどい目にあわ
せてやる!

あいつはお
れたちのことを
心底嫌って
やがる!

おい、お前の娘な
ど用はないんだ!そ
この、かわいい男達
が欲しいんだよ!



主なる神が、
あなたがたの光
を奪われます。

奴らほど
こだ?

み、みえ
ない!何が起
ったんだ?

なんで、
こんなに暗
いんだ?

あの力は一
体全体、何
なんだ?




あなたがたは、この町
を去らなければならない。
警告したい人には伝えなさい。
義なる神は、もうこれ以上こ
の町の罪を黙認されること
はありません。

明日、神はこの
町に火の雨を降らせる
おつもりだ。ソドムと
ゴモラに住む人間は、
すべて死ぬ。




急ぐのだ、
火はすぐに降って
くる。誰も助から
ないぞ。

神は、町が火に
包まれようとも、決し
て後ろを振り向くな
とおっしゃった。



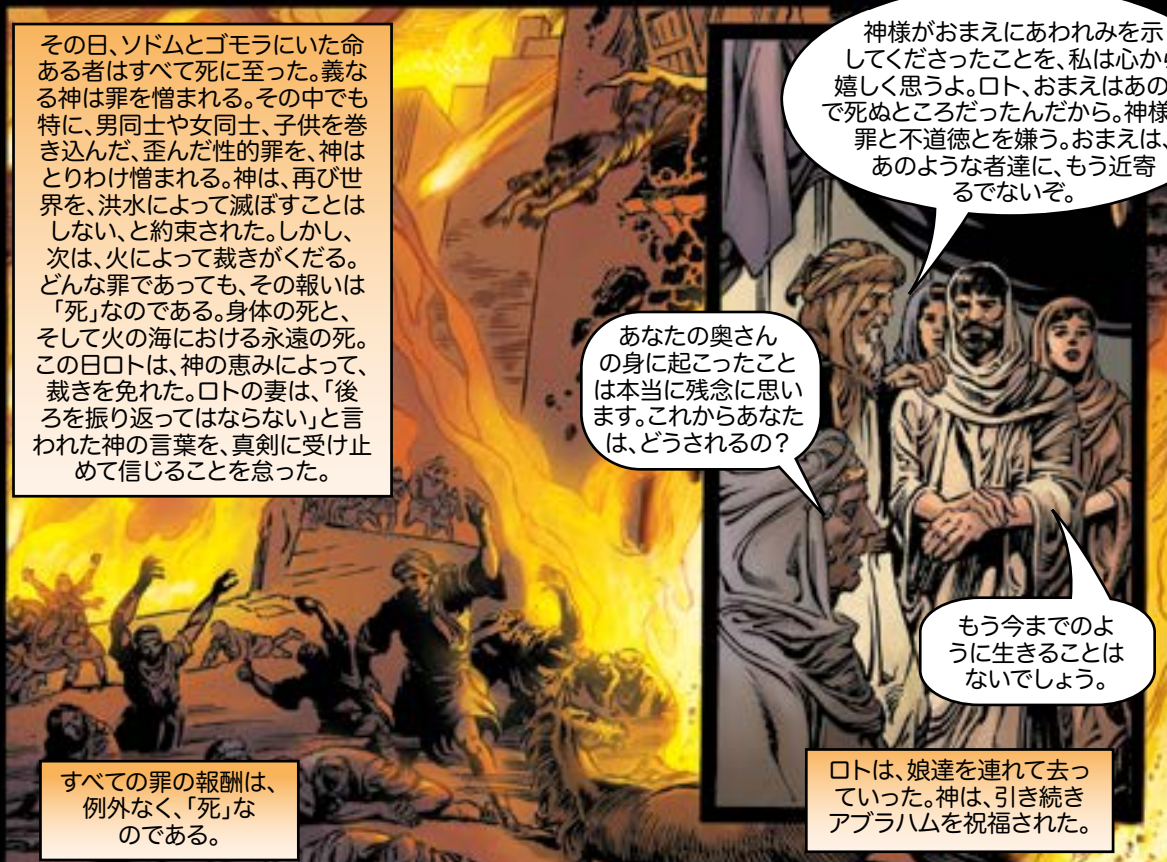
振り向くん
じゃない!

ひいひい〜っ!



大変!お父さん、
お母さんが神様に背いて
後ろを振り返ってしまった
わ!そして塩の柱にな
ってしまった!

見るんじ
ゃない!前へ
進むんだ!



その日、ソドムとゴモラにいた命ある者はすべて死に至った。義なる神は罪を憎まれる。その中でも特に、男同士や女同士、子供を巻き込んだ、歪んだ性的罪を、神はとりわけ憎まれる。神は、再び世界を、洪水によって滅ぼすことはしない、と約束された。しかし、次は、火によって裁きがくだる。どんな罪であっても、その報いは「死」なのである。身体の死と、そして火の海における永遠の死。この日ロトは、神の恵みによって、裁きを免れた。ロトの妻は、「後ろを振り返ってはならない」と言われた神の言葉を、真剣に受け止めて信じることを怠った。

神様がおまえにあわれみを示してくださったことを、私は心から嬉しく思うよ。ロト、おまえはあの町で死ぬところだったんだから。神様は、罪と不道徳とを嫌う。おまえは、あのような者達に、もう近寄るでないぞ。

あなたの奥さんの身に起こったことは本当に残念に思います。これからあなたは、どうされるの?

もう今までのように生きることはないでしょう。

ロトは、娘達を連れて去っていった。神は、引き続きアブラハムを祝福された。

すべての罪の報酬は、例外なく、「死」なのである。

神は、サラが子供を授かる、と約束された。アブラハムとサラは、長いこと忘れていたお互いへの熱い思いが、よみがえってくるように感じた。



アブラハム、どうなさったの？そのような目で私を見つめて下さることは久しくなかったことですね。



それはまさに奇跡だった！やがて人々は、サラが身ごもったことを知った。

神様が言われた通り、この子をイサク*と名付けよう。この子はやがて、大いなる国民の父となるのだ。



はい。。。私が子を産むと神様がおっしゃった時、私は笑いました。この歳になって自分の子供に乳を飲ませることになるだなんて、誰が信じましょう？

神は約束を守られた。神は常にそうされるお方なのだ。

ハガルが生んだアブラハムの子、イシュマエルは14歳となっていたが、この新しく生まれた赤ん坊を嫌っていた。




この愚かな少年は、私をバカにしているわ。私の大切なイサクを、エジプト人のいる家の中で、育てられるわけがないのよ。

このはしためを、その子と一緒に追い出してください。このはしための子は、約束の子である私の子、イサクと一緒に跡取りになるべきではありません。




神はアブラハムに語りかけられた。「サラの言う通りにしなさい。ハガルとイシュマエルを去らせなさい。イシュマエルはイサクとともに相続人となるべきではない。そして、そのことについて悲しんではならない。わたしが彼らを養おう。イシュマエルもあなたの息子であるため、わたしは彼も、ひとつの国民としよう。しかし、サタンを打ち負かす約束の救い主は、イシュマエルではなくイサクの子孫から現れる。

イシュマエルは成長しアラブ諸国の父となり、イサクはユダヤの人々の長となった。アラブとユダヤの人々は異母兄弟というわけである。



アブラハムは息子のイサクを可愛がり、お互いになくってはならない存在となっていた。

奇跡の子よ。お前がこの世界を罪から救ってくれるのかい？




お父さん、どうして可愛い子羊を殺して、岩の上なんかで焼くの？

天と地の神様は、とても清く聖なるお方なんだよ。お父さんのような罪人とは比べものにならないくらい、聖なるお方なんだ。この地に生まれた最初の人、アダムは、神様に逆らってしまった。


お父さんが子羊をほふるのは、神様におささげするためなのだよ。それはね、この私の罪を認めます、罪のない子羊を私の身代わりとしてほふり、おささげします、という信仰告白の儀式なんだ。

その時から人間は、罪を背負っているんだよ。神様はアダムに、罪を犯したら死んでしまうとおっしゃっていたのに、アダムは罪を犯してしまった。そんなアダムに神様は、身代わりとして動物をほふり、その皮を用いて、彼らの恥じる心をおおってくださったんだよ。




アブラハムよ。あなたの愛している、ひとり子イサクを連れて、彼を全焼のいけにえとして、わたしにささげなさい。

イサクは強く丈夫な子に成長し、父親が礼拝する神を信頼することを学んでいった。アブラハムは息子を心から愛した。彼らはしばしば共に礼拝へ向き、子羊の全焼のいけにえを神にささげた。



神様、なぜそのようなことをおっしゃるのですか？あなた様らしからぬことではありませんか。人間のいけにえなんて、それは異端者のすることです！私の息子イサクを、大いなる国民とする、と約束されたではありませんか。もし私が息子の命を奪ってしまったら、あなた様の約束が成就しなくなってしまいます。。



しかしあなた様は神であられます。私には理解できませんが、私はあなた様に従います。



片道3日の旅になる。1週間ほど留守にするよ。

どうぞ、お気をつけて。あなた方、二人の為に祈りをささげましょう。



3日後

お父さん、山が見えてきましたよ。日暮れまでには、たどり着けますね。

ああ、そうだね。あそこで礼拝をささげたら家に帰ろう。



お父さん、木々はこうして運んできましたし、祭壇も築きました。でも、いけにえはどこですか？

イサク、覚えているかい？以前神様が、年老いた私達に子供を授ける、とお語りになったという話を。神様は再び私にお語りになったんだ。



今回神様は、イサク、お前を全焼のいけにえとしてささげなさい、とおっしゃったんだ。

私を？お父さん、それは確かなことなの？




神様は私を、大いなる国民の父とし、空に浮かぶ星の数ほどの多くの子孫を生み出すようにする、とおっしゃったのではないのですか？神様の約束はどうになってしまうのでしょうか？

でも、私が死んでしまったら、いったいどうやって？

お父さん、何が起ころうとも、私達は神様に従うべきですね。


私は、神様は約束されたことを必ず成し遂げられる、ということを知ってきた。だから、もし神様が私を大いなる国民の父とする、と仰せられるのなら、必ず神様はそうなさるはずだ。例えお前が死んだとしても。

分からない。。。おまえを死からよみがえらせてくださるのかもしれない。




アブラハムは、神に従い、全焼のいけにえを捧げる手順にとりかかった。しかし、彼の心は悲しみにあふれ、その手はふるえていたに違いない。


彼は、息子の手足を縛りつけ、祭壇の上に横たえた。次の行程は息子の喉にナイフをあてがいきり裂くことだった。




神への信仰とともに祈りをささげながら、アブラハムはナイフを振りかざした。その手をイサクに向けて振り下ろそうとした、まさにその時、天から声が響いた。



アブラハム！
アブラハム！
その子を傷つけてはならない。



今、わたしは、あなたが神を信頼していることがよく分かった。あなたは、あなたのひとり子でさえ、惜しまないでわたしにささげようとした。



アブラハムが目を上げてみると、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。

アブラハムよ、あなたが、このことをなし、あなたの子、あなたのひとり子を惜しまなかったから、わたしは確かにあなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星のように数多く増し加えよう。そしてあなたの子孫は、その敵を滅ぼすであろう。まだ見ぬあなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。

お父さん、見て、神様は私の代わりに雄羊を与えてくださいました！

お父さん、お父さんの言う通り、神様は本当にあわれみ深いお方です！



アブラハムは、イシュマエルとイサクという二人の息子を持った。神は、アブラハムと結んだ約束を受け継ぐ子供として、イサクを選ばれた。イサクは後に、イスラエルと呼ばれるヤコブをもうけた。やがてヤコブには、12人の息子が授かった。ヤコブとその12人の息子達は、それぞれの家族を連れてエジプトへと移住することになる。そしてその地で、彼らの子孫は奴隷民族となっていた。(紀元前1706年)

ヤコブの12人の息子から、12の部族が誕生した。

イシュマエルは、12人の息子を持ち、それぞれが族長となった。そして後に彼らは、アラブ人と呼ばれるようになった。

イシュマエル

アブラハム

イサク

ヤコブ



第3章

モ一セ



紀元前1706年

ききんが起こった頃、アブラハムの孫にあたるヤコブは、彼の12人の息子とその家族や召し使いと共に、エジプトへ移り住んだ。その地で、彼らは地のちりのごとく子孫を増やしていった。

やがて、イスラエルと呼ばれるヤコブの子孫達は、エジプト人の数より増していった。

エジプトの支配者であるファラオは、ヤコブの子孫達に、辛いレンガ作りの労働を強いた。そこでの300年以上もの年月は、神がアブラハムを通してその父達と結んだ約束を、彼らから忘れさせてしまった。

神はかつてアブラハムにこう語られていた。彼の子孫は見知らぬ国へ移り行き、その地で奴隷となる。と。しかし、400年のち、神はその国を裁き、神の民を救い出して約束の地へと導かれる、と。

本当なのよ！ファラオは、私達の民族の赤ちゃんを殺しているの。私達が増えすぎたからって。男性陣達は重労働を課せられているから、強くたくましくなっているし、王は私達を恐れているのよ。

やめてー！私の赤ちゃんよ！あなたにそんなことをする権利はないわ！

彼らに私の赤ちゃんは殺させないわ。神様がこの子をお守り下さるはずよ。

でもさ、ファラオの権力を前にして、神様にいったい何が出来るって言うの？

ファラオは、ユダヤ人の増加を恐れ、生まれたばかりの男の赤ちゃんを殺すことにしたのだった。

でも、お母さん、もし兵士や近所の人たちに、赤ん坊はどうしたのかと聞かれたら何と答えればいいの？

ただ真実を言えればいいのよ。赤ちゃんは、兵士が来る前に母親が川に投げ入れたってね。

紀元前 約1525年

お母さん、浸水しない？

タールを塗ってあるから、ちゃんと浮くわよ。

かわいい弟にまた会えるかな？ ああ...なんてひどいことになったの！

神様が守ってください。目を離さずに見守っていてちょうだい。

捨てられたヘブル人の赤ちゃんに違いありませんわ。

まあ！かわいらしいこと！

ファラオの娘が水浴びをしに川にやって来た。

ねえちょっと聞いて！あのかごから泣き声が聞こえるわ！

きっとお腹が空いているのね。

誰か乳母になってくれる者はいないかしら...私がこの子の面倒をみましょう。

あそこにヘブル人の子供がいます。彼女なら、誰かこの子にお乳を飲ませてあげられる人を、知っているかも知れません。

私が探してまいります。川に赤ちゃんを捨てられてしまった女性がおりますので、彼女なら十分にお乳を飲ませてあげられると思います。



私は何
というこ
とをしたんでし
う…坊やに会
いたい! 神様、ど
うか…。

ファラオのお嬢さんが川で弟を
拾ってくれたの。お嬢さんは、
自分の子供として面倒をみたい
んだって! それに、彼女は乳母
をさがしてらっしゃるわ。もう
すぐ、ここに來られるの!

こうするしか
なかったのだから仕方がないわ。
この先ずっと坊やを
隠しておくことは
できなかったのだし。
遅かれ早かれ、兵士
に見つかって殺され
てしまっていたわ。
神様を信頼し続け
なければダメよ。

お母
さん! お母
さん!

永遠なる神様、
あなたの御名が
ほめたたえられ
ますように!



あなたの子
供はいなくなっ
てしまったと聞
きました。お悔
やみ申します。
私はこの子を
川で拾いました。
この子の乳母に
なっていただけ
ないかしら?

もちろんただで
は言いません。
この子が乳離
れしたら、エジ
プトの次期、フ
アラオとして、
宮殿に連れて
行きます。私達
はこの子をモー
セと名付ける
ことにします。

モーセを育てながら、母親は息子に
真実真実の神について伝え教えた。
神は、この幼子に特別なご計画を
持っておられた。



お乗りく
ださい、小
さな王子よ。
宮殿にまい
りますよ。

ねえ、この
馬さんたち
は、どれく
らい早く走
れるの?

モーセを育てて
くれてありがとう。とても健康
そうだわ。この子は立派に成長
し、権力と富を持つようになる
でしょう。



ファラオの娘の養子として、モーセはエジプトにおいて立派な男に成長した。彼には富と権力が約束されていたが、同時に彼は、自身のルーツを忘れてはいなかった。



モーセ、よく聞いてくれ、我々の先祖であるアブラハム、イサク、ヤコブの神は、かつてアブラハムにこう仰せられたんだ。彼の子孫は増え広がり、見知らぬ土地で寄留者となる、ってね。それは我々のことなんだよ！

そうさ！神様はこうもおっしゃった。我々は400年もの間、苦しめられるとね。我々が根付いてから359年経った。ということは、預言の成就まであと41年だ。

スケールの大きい話だね。ファラオは奴隷を逃がしたりしないんじゃないかな。富を持って、だなんて考えられないよ。でも、何か方法はあるかもしれない。だけど、どうしてあと41年も辛抱して待たなければならぬんだい？

その上、神様は、アブラハムにこう伝えたんだ。我々に悪を働いた国を裁かれる、とね。我々は多くの富を受けてこの地を離れる。神様がかつて我々の父祖達に約束してくださった土地へ、帰還することができる、と。



ヘブル人として生まれた者達は、支配者のもとで多くの苦しみを受けた。粘土やレンガ作りの、過酷な作業を強いられた。モーセは、彼らの苦しむ姿を見るのが耐えられなかった。そして彼は行動を起こした。

むちで殺されちゃう前に、立つんだ！

立て！汚いブタやろう！

頑張って立つんだ。



ある日、モーセは、自分の
同胞を、激しく痛めつけて
いるエジプト人を目にした。

救い出す時が来
たのかもしれない。
止めなくては。



バシッ!

いいかげん
にしろ!

モーセは、そのエジプト人
を殺し、地に埋めた。しか
しその光景を見ていた者が
いて、ファラオに密告した。



ああ、
神よ!私
はなん
という
事を!

止まれ!殺
人の罪
で裁き
を受け
ろ!

あれは
モー
セよ!



紀元前 約1491年

モーセはエジプトを去り、荒
野へ逃げた。友人や家族から
も離れ、ひとりぼっちになっ
てしまった。自分の同胞を助
け出すことができなかつただ
けでなく、自分自身を救うこ
とさえ、できないままに。

モーセは何日も歩き続けた。これ以上もう前に進めない、というところまで来た時、彼は羊飼いの宿営場にたどり着いた。

見て！
男の人が
いる！

今にも死に
そうだわ。
早く水を！

エジプト人
みたいね。

モーセは、ミディアン人との生活の中に、新しい人生を見いだした。荒野で生きるすべを習得し、結婚もして、羊飼いとなった。40年もの月日が流れ、エジプトでの日々は、はるか遠い記憶となっていった。彼は、もう二度と自分の同胞達に会うことはないだろう、と思っていた。

奇妙だな。柴が燃えだした。しかも燃え尽きることなく、ずっと燃え続けている。

モーセ、あなたのくつを脱ぎなさい。あなたの立っている場所は、聖なる地である。わたしは、あなたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。

わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを確かに見、追い使う者の前の彼らの叫びを聞いた。

今こそ、彼らを救い出し、わたしが約束した土地に彼らを導くのだ。



しかし、私が神の
使いなどと誰が信
じましょう？笑わ
れるのがおちです。



あなたの
杖を地に
投げよ。



な、なん
と！杖が！



凶暴
な蛇に
なったぞ！



手を伸ばし
て、その尾
をつかめ。



杖に戻っ
たぞ。



さあエジプトへ向か
いなさい。わたしが
あなたの口とともに
あって、あなたの言
うべきことを教え、
あなたの成すべきこ
とを教えよう。また、
あなたの兄、アロン
があなたの手助けを
してくれるであろう。

紀元前1445年

もう40年も経ったんだ。私の過去を知る者は、すでに死んでいるよ。誰も私を覚えていないだろう。

ファラオが人々を解放するまでだ。

エジプトへ戻られるのですか！あなたを殺そうと探し回っている人間がいたら、どうなさるんですか？

どの位、かかりますの？

すべての長老達を集めよ！救いの時が来た！

彼らは何者だ？

あれはレビ族のアロンだ。もうひとり是我々と同じような顔立ちだが、奴隷ではなさそうだな。

ここに
いるモーセは、
今から80年ほど前、
男の赤ちゃんに対する大量虐殺の時代に生まれた。
彼の母親は彼を隠し、
かごの中に入れて川へ流したのだが、神のご介入によって、
ファラオの娘が彼を拾い、
彼をエジプト人として育て上げたのだ。

イスラエルの長老たちよ、集まれ。

そして40年ほど前、モーセは、
エジプト人として生きるよりも、
苦しむ同胞達とともに苦境を共にすることを望んだ。
そして彼は、
自分の力で人々を救おうとしたのだが、
そのことを達成することはできなかったのだ。
その後40年ほど、
彼は、
神が我々の父祖達に約束された土地に面した荒野に住んでいたのだが、
そんなモーセのもとに神ご自身が現れ、
我々をファラオのもとから救い出すよう、
語られたのだ！
ファラオを説き伏せるための手腕を、
モーセに今、
披露してもらおうではないか。



アブラハムの神が、燃え上がる柴の中から私にお語りになり、あなた方を我々の父祖の土地へと連れ帰るように、仰せられました。さあ、これが、神様が告げられたという、証です。



ひい〜っ、杖が蛇に!

恐れなくてもよい。



見ていなさい。



神様は救い主を送ってくださった!

ファラオは驚くぞ!

奇跡だ!

さあ、ファラオのもとへ参ろうではないか!

アブラハムの神よ!



40年前と少しも変わっていない。私が言う通りに話してくれるね？



イスラエルの神がモーセにお語りになりました。イスラエルの民が、神への祈りとささげものをすることができるように、3日間の荒野への旅を彼らに許可してください。

なに！イスラエルの神だと？はっはっはっ、お前たちの神なんて知るか！そんな神の言うことに私が従うとでも？全くバカげている。3日間の荒野への外出だなんて、私が奴隷達に許すはずがなからう。

お前達の言葉を聞いた私の奴隷達が、最近仕事をすっぽかしているそうじゃないか。私の知らぬ神に礼拝するために、3日間の休暇をくれだなんて。彼らには更なる仕事を課してやろう。

今後、レンガ作りに必要なわらの収集も、奴隷達にやらせる！さっさと消えうせる！二度と戻ってくるな！

あつかましいにもほどがある!

お前たちが成した事といえば、我々に二重の重荷を負わせたことではないか!これが我々を救出することなのか?それで神の使いと言えるのか?

何様のつもりだ?

偽救世主に違いない!

こっけいですな。まるで自分たちが神であるかのように、この宮殿に踏み込んで来ようとは。

まんまと引っかかってしまった!

わたしは主なる神、あなたの父祖の神である。わたしは、わたしの民の苦しみを目にし、彼らの嘆きを聞いた。

わたしがアブラハムと結んだ契約を成す時が来た。わたしは彼らを約束の地、カナンへと導き出す。モーセ、あなたが彼らを導くのだ。

もっと働け!神へ祈りを捧げたいだと?怠けていると、どうなるか教えてやろう!

主なる神様、あなた様の御名によって語り始めてから、状況は悪化する一方です。なぜ私のような者をお遣わしになられたのですか?

しかし、私には上手く説得できません。ファラオも耳を傾けることはないでしょう。

アロンがあなたの代わりに語る。あなたはわたしの言葉に耳を傾けよ。そしてそれをアロンに伝えるだけでよい。王はすぐには耳をかさないであろう。しかしわたしは、大いなる不思議を行う。エジプトは、わたしが唯一の真の神であることを知るようになる。

はははは、なんだってまた戻ってきたんだ?

これは、主なる神が語られた、というしるしです。

主なる神は、民を去らせよ、と仰せられている。

はっはっはっ!ただの手品ではないか!そんなもので私を脅そうとしても無駄だ!呪術師どもを呼べ!

慣れた手つきじゃないか。本物みたいだな。

どこで覚えてきたんだろ?



王の命令だ、
直ちに来るように！
杖を蛇に変える手
品をせよ！



我らの蛇神、ネザト
が、お前達に、もっと
レンガを作れと言っ
ているぞ。わっはっは！



モーセ、どうす
ればいいのか？これ
ではまるで我々が愚
か者のようだ。



見てみる！
奴の蛇が戦い
を挑んでいるぞ。



一匹、食わ
れてしまっ
た！



我々の蛇を
まる飲みしや
がった！

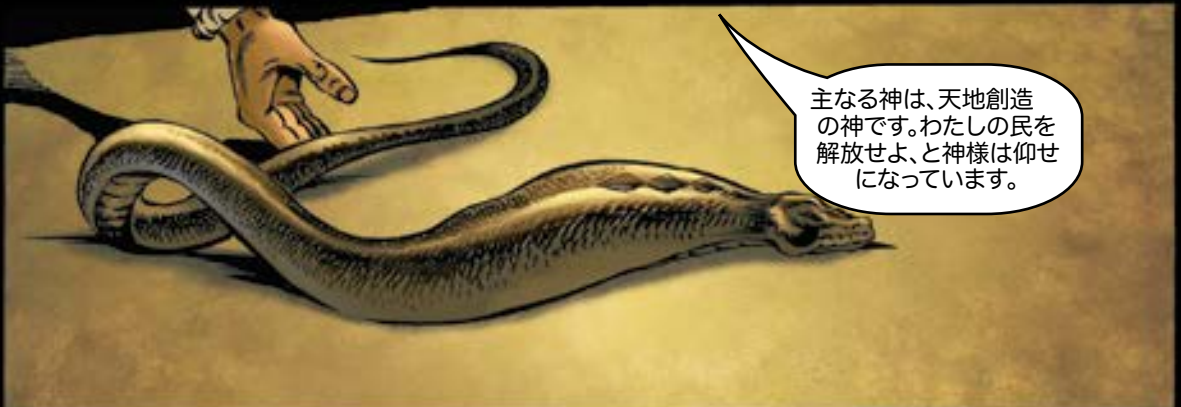


これ以上、食う
と我々の蛇神、ネ
ザート様がお怒り
になられるぞ！




信じられ
ん！全部、
まる飲みし
てしまっ
た！


どうなっ
てるんだ？



主なる神は、天地創造
の神です。わたしの民を
解放せよ、と神様は仰せ
になっています。



どのような手を使ったか知らんが、こんな見世物のために奴隷達を解放せんぞ！とっとと消えうせろ！




主なる神様はなぜ、王の呪法師達に真似できるようなしるしを我々にさせたのだらう？一時は我々はまるで愚か者のように見えていたはずだ。

出エジプト記7:13
『それでもファラオの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞き入れなかった。主が言われたとおりであった。』

私にも分からない。でも、神様は、王の心をかたくなにする、と仰せられ、実際その通りになった。私の杖が、王の蛇達を飲み込んだ時の、王の怒り狂う様子を見ただらう？

主なる神と話さなければならぬ。次はどうすればよいのか、私には分からないのだから。

神はモーセに語りかけ、次に成すべきことを伝えられた。エジプト人達はモーセをあざ笑い、モーセの同胞達は彼を拒絶した。彼らの苦役は、王によって増すばかりであったからである。しかしモーセは、例えすべてを理解していなくとも、ただ神を信じた。



主なる神はこう仰せられました。『あなたはわたしの民を去らせなかった。よって、わたしは、わたしが真なる神であることを示すために、エジプトのすべての水を血に変える。』と。

見事だ。一体どうやって？

奇術師共を呼べ！ナイルの神が止めてくれよう。



見てみる、奇術師達には、いとも簡単なことよ!お前の手品などで私を説き伏せることなど不可能だ。



こんなのは今まで見たことがない。泉や小さな池まで血になってしまうなんて。奴の言う神はなんという名の神なんだ?

知るもんか。それがどうしたっていうんだ?我々には何千という数の神がいるじゃないか。ナイル川の神はきつとお怒りになっているよ。

唯一の神?なんだそりゃ。

モーセとかいう奴は、彼の信じる神は唯一の神

エジプトの水が血に変えられてから7日後、モーセは再び、神の裁きをエジプトにもたらした。



多くのカエルよ。はい上がってきなさい。



悪臭を放つ血の水の中から、何百万という数のカエルが、突然、大量発生した。

家中が
カエルだ
らけだ!

エジプト中がカエル
で一杯だ! 神々
がお怒りだ!

呪法師達は
どこだ? なんとか
ならんのか?

陛下、ご覧の通り、蛙を作る
ことなど簡単なことです。

なぜ彼らは、さらにカエル
を造って増やそうとするんだ?
すでに、モーセの連れてきたカエル
でいっぱいだというのに。もう十分
じゃないか? それなのにファラオ
は、もっと造らせる気だ。

ひいひいひい!

彼らの望み通り、
荒野へ行かせては
いかがですか? もう、カエル
はこりごりです。

主なる神に頼んで、カエルを
追い払ってくれ。そうしたら、
奴隷達を荒野に行かせ、彼らの
神に対して、いけにえの捧げ
ものをさせてやろう。

モーセを呼
べ! 彼と話が
したい。

カエルに生き
絶えてほしい時間を
指示してください。
その通りになる
でしょう。

明日の
朝だ!

はい、陛下。
仰せの通りに
いたします。

あなたのおっしゃると
おりになるでしょう。主なる
神の他に神々は存在しない、
ということ、すべての人は知
るようになるのです。



ファラオが指定した時間にカエルは死に絶えた。それを見た王は、再び心をかたくなにし、ヘブル人たちの解放を拒んだ。

エジプト中をカエルだらけにしてしまう主なる神とは、いったいどんな神なんだ？

神がやったと本気で思ってるのか？きっと単なる自然現象だよ。

ならば、モーセはどうやってこのカエルの大発生を言い当てたんだ？おまけに、死滅する時間まで知っていたんだぞ？

無駄口たたかないで、さっさとかき集めろ！じゃないと、いつまでたっても終わらんぞ！

そして、主なる神は、モーセに仰せられた。「アロンに言え。あなたの杖を差し伸ばして、地のちりを打て。そうすれば、それはエジプトの全土で、ブヨとなるう。」

すると、エジプト中の地面のちりからブヨが湧き出てきた。



ブヨを作れないだと？国民が我々の神は無力だと思うではないか。いいか、奇術で対抗だ！

しかし、陛下、これこそ神の業です。モーセ達していることは、誰にも真似できません。私どもには、これ以上の力がないのです。

自然の力に決まっておる。しかし、もうブヨには耐えられん。モーセを呼べ。奴の神がブヨを追い払うことが出来たら、ヘブル人達が神に仕えることが出来るよう、彼らを解放する、と伝えよ。



ブヨはいなくな
った。しかし、奴隷
達を自由にはさせん
ぞ。もう、奴らの神
に出来ることはな
いだろう。



神はモーセに仰せ
られた。「エジプトに、
アブの群れを放つ。あなた
の家々も、アブの群れで満
ちる。しかし、わたしは、
エジプト人とヘブル人の
間を区別する。」

わたしの民がとどまっ
ている地には、アブの群れ
がないようにする。それは、
わたしが、全世界において唯
一の神であることを、あなた
がたが知るためである。



父さん、なぜ僕
らの呪法師たちは、
あの人を止めること
が出来ないの？

宗教に関し
てはよく分らん。
私には関係ない
ことだ。



彼の言った通りでござ
います。ヘブル人のいる地域に、
アブは一匹もいないのです。これ
こそ、神の業に違いありません。

モーセを
探して連れ
てまいれ。



行って、神にいけ
にえを捧げるがよい。
しかし、このエジプ
トの地から離れて
はならぬ。

私達は少なく
とも3日の道の
りを行かなけれ
ばなりません。


行ってよい。
しかし、決して遠くへ
行ってはならない。さあ、
お前の神と話して、このい
まいましいアブを追い
払ってくれ。



エジプトから、
アブは一匹もい
なくなりました。もはや、
奇跡としか言いようが
ありません。

だまれ！まるで、あいつ
を信じているかのよう
な口のききかただぞ。

再び、王は心をかたくし、神の民を解放
することを拒んだ。




神は、エジプトに疫病を送られた。すべての家畜、すなわち、牛や羊、馬やらくだなどの動物達が、疫病に冒された。しかし、ヘブル人の動物達は、病に倒れることがなかった。

我々の家畜はすべて死に、お前達の家畜は皆ピンピンしている。これはいったいどういうことなんだ？

我々の呪法師たちは、我らの神々にいけにえを捧げて願いを乞っている。神聖なる雄牛様がお怒りになり、すべてを止めてくださるはずだ。

エジプトのひどい束縛から私達を解放すると、我らの父祖の神様がそう仰せられた、とモーセは言っています。でも、私はただの凡人に過ぎません。このような不思議についてはよく分かりません。



王に、もう遅すぎる、とお伝え下さい。我らの神聖なる雄牛様たちはすべて死に絶えました。我らの神々が、ヘブル人の見知らぬ神の手から我らを守ることが出来なかった、という事実を、我が国民が知ったら、皆怒りだすに違いありません。

エジプトの神々はどこに行ってしまったんだ？彼らには力がないというのか？

しかし、王はますます強情になるばかりであった。



再び神はモーセに語りかけ、エジプトに向かって、かまどのすすを撒くように命じた。それによって、エジプト人に、ウミの出る腫れ物ができた。

神様はおっしゃっている。我が民を解放しなければ、恐ろしい腫れ物が、人間はもちろん、家畜にまで襲いかかるであろう、と。

もう、やめてくれええ～！



呪法師たちを呼べ。彼らの力を集結し、神々にいけにえを捧げろ。なんとしてでも止めるんだ。

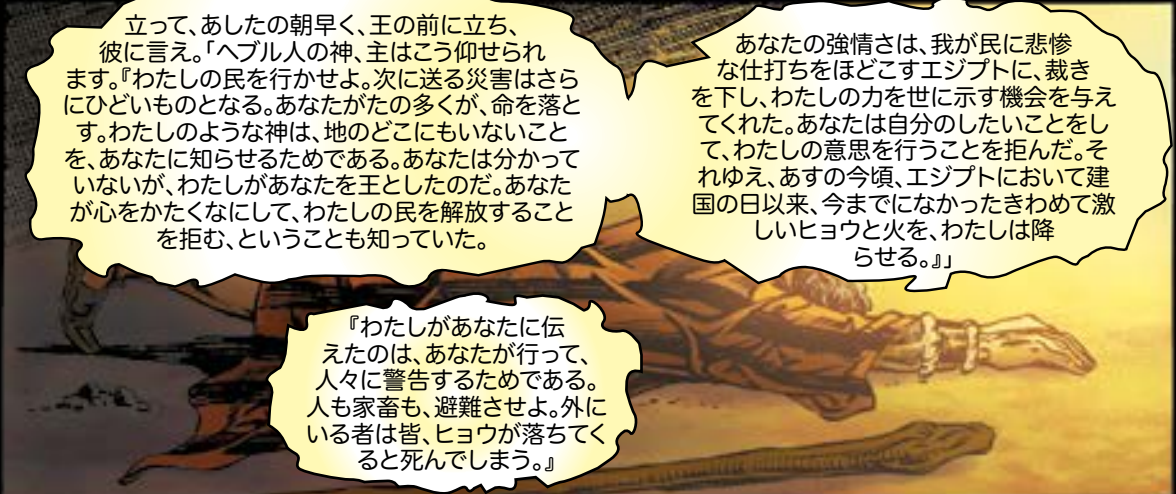


お呼びでございますか、陛下。

呪法師のお前にも腫れ物が？モーセの神に対抗する術はないのか？



消えろ！脳なしのペテン師めが！安っぽいトリックなんぞで人を騙しやがって。神々はどこにいるんだ！



立って、あしたの朝早く、王の前に立ち、彼に言え。「ヘブル人の神、主はこう仰せられます。『わたしの民を行かせよ。次に送る災害はさらにひどいものとなる。あなたがたの多くが、命を落とす。わたしのような神は、地のどこにもいないことを、あなたに知らせるためである。あなたは分かっているが、わたしがあなたを王としたのだ。あなたが心をかたくなにして、わたしの民を解放することを拒む、ということも知っていた。』

あなたの強情さは、我が民に悲惨な仕打ちをほどこすエジプトに、裁きを下し、わたしの力を世に示す機会を与えてくれた。あなたは自分のしたいことをして、わたしの意思を行うことを拒んだ。それゆえ、あすの今頃、エジプトにおいて建国の日以来、今までになかったきわめて激しいヒョウと火を、わたしは降らせる。』

『わたしがあなたに伝えたのは、あなたが行って、人々に警告するためである。人も家畜も、避難させよ。外にいる者は皆、ヒョウが落ちてくと死んでしまう。』



主なる神の
仰せられた
通りになる
ように。



警告に耳を貸さず、外に
いた者はすべて死んだ。

なぜ、
火とヒヨウが
一緒に
降ってくるんだ！

偉大なるセト
神よ、お助け
ください。

あああ〜。




お父さん、モーセと
いう人は、どうして
こんなことができる
の？モーセの神様は、
混沌と嵐の神セトよ
りも強いの？

モーセは、神と呼
べるのは、ただお一人だ
けだと言っている。そし
てヘブル人は神の子
供だと。

だが、誰も彼の神を見たこ
とがないんだ。ヘブル人でさえもな。
その神は、モーセ曰く霊であり、我らの王
に、ヘブル人を解放して荒野へ行かせ、
彼らの神を礼拝させるよう、求めておられ
るんだそうだ。



混沌と嵐の偉大な
セト神よ。お願いござい
ます、この恐ろしい嵐をしずめて
ください。モーセの、見知らぬ神
よりも、あなた様は偉大なお方
であるはずで。




火とヒョウの嵐は、私たちに降らずエジプト人だけを襲っている。

お父さん、怖いよ！火とヒョウは僕らにも降ってくるの？

いいや、息子よ、主なる神は、神様に従わないエジプト人たちを罰しておられるんだよ。彼らの信じる嵐の神、セトは、無力なんだということ、神様は示しておられるんだ。


恐ろしいことだわ。



私はあなたの神に対して罪を犯した。主は正しいお方で、私と私の民は悪者だ。主に祈ってくれ。火とヒョウは、もうたくさんだ。私はおまえたちを行かせよう。

私が町を出たら、すぐに主に向かって手を伸べ広げましょう。そうすれば火とヒョウはやみます。この地が主のものであることをあなたが知るためです。しかし、あなたが、まだ、神である主を畏れていないことを、私は知っています。あなたは約束を守らないでしょう。

嵐がやんだのを見た王は、再びかたくなになり、罪を犯した。彼はヘブル人を行かせなかった。



神は、また別の災いを送られた。いなごの大群がやってきて、前回の嵐を乗り越えた緑の作物のすべてを食べつくした。そして、大群は家々にも襲ってきた。



ママ〜、
たすけて!

あああ〜っ!

これでも
くらえ!



植物の神、ゲブ神よ、
ヘブル人の神が我々の作
物にしたことをご覧に
なられましたか?

オシリス様、今、
この時に、あなたの
力をお示し下さい。

王はモーセを呼び、民の解放を約束した。しかし、神がいなごの大群を取り去ると、とたんに王は心をかたくなにし、奴隷の解放を拒んだ。

そこで神は、エジプト全土に暗闇をもたらされた。3日の間、月のない、雲に覆われた夜以上に暗かった。しかし、ヘブル人の家の中には、暗闇はなかった。

私のところから出て行け。私の顔を二度と見ないように気をつけろ。おまえが私の顔を見たら、その日に、おまえは死ななければならない。

お前たちを殺しておくのだった！しかし、そうすれば我々の神々が無力だと示すことになる。

本音を言われましたな。もう、二度と会うことはないでしょう。



太陽神、ラーよ。聞こえておいでですか？この3日間、お見受けしておりません。ヘブル人の神を追い払ってくださいののですか？

これが最後の災いだ！この災いの後、王は、私達がエジプトを去ることを、喜ぶであろう。今夜、真夜中頃、滅ぼすお方がエジプトの全土を巡る。すべての家の長男が打たれて死ぬだろう。今夜、神は、罪を裁かれるのだ。

私たちの長男はどうなるんですか？死ぬんですか？

神様は、信じるすべての者に、救いの手をのべてくださる。それは、エジプト人も例外ではない。さあ行って、若い羊かヤギをほぶり、その血を自分の家の門柱と、かもいに、塗りなさい。

神は仰せられる。『今夜、わたしはエジプトの地を巡り、すべての初子を打つ。しかし、あなたがたの家の戸口の血を見て、その所を通り過すので、あなたがたの初子は守られる。あなたがたは家中にとどまっていなさい。そして、ほふられた羊を料理し、食べるのです。』



行って、エジプトの民から、金、銀、宝石といった価値ある物を受け取りなさい。神が、彼らの心に触れてくださった。彼らは喜んで多くを差し出してくれるだろう。

明日の朝、出発することができるよう、荷物をまとめなさい。あなたがたはもう二度とこの地には戻ってこない。エジプトとの永久の別れだ。これは、あなたがたにとって新しい始まりとなる。



お父さん、僕たちには、子羊はその一匹しかいません。代わりに何か、赤い塗料を戸口の周りに塗るとかは、ダメですか？

息子よ、神様は、ほふった子羊の血で、戸口の周りにしるしをつけるようにおっしゃったんだ。言われた通りにしなければならぬ。従わない者たちに対する神様の裁きを、おまえも見たらろう？この子羊の血によって、おまえの命は救われるんだ。




じゃあ、この子羊は僕の身代わりなんだね？

そして、お父さんの身代わりでもあるのだよ。私も長男だからね。



神様がドアについた血の印を見つけれたら、そこは信者の家だから、家の中にいる人は誰も殺さないとおっしゃったよ。

ママ、どうしてお父さんはドアに血を塗っているの？




子羊をほふって戸口にしろしをつけないとダメじゃないか。

はっ? あんな迷信を信じているのか? ドアにつけた血なんぞで、どうやって死から免れるんだ? 俺の息子は、ちっとも恐れてないぞ。なあ、ジョイキム。

もちろんだよ。僕は意気地なしじゃないんだ。宗教なんて弱者のすることだよ。


良い神なら、ドアに血がついてなくなっただって殺すことなんてしないさ。それを知らなかった人はどうなるんだい?



お父さん、どうして今日はいつもと違うの?


それはね、神様は今夜、神様を信じない人たちの家の長男の命をとるために、滅ぼす者を送られるんだ。しかし、戸口の血のしるしをご覧になられたら、その家は通り越される。

今日は、私たちにとっての、新しい始まりなんだ。これからは毎年、この日を記念して、過ぎ越しの祭りを祝い、神様が私達を、ファラオのもとから救い出してくださったことを、心にとめるんだ。



お父さん、悲鳴が聞こえるわ! 破壊する者が来たんだわ!

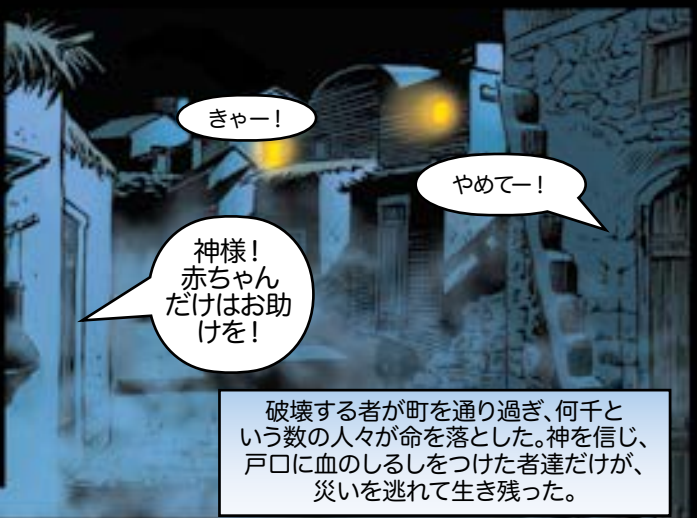
恐がらなくてもいいんだよ。私達は神様に従っている。戸口には血のしるしがついているし、こうしてほふられた子羊を食べているんだから。



息子が死んだ! 助けてくれ! モーセを呼んでくれ!



残念だが、遅すぎた
ようだ。警告を受けても、
あなたは信じることを拒ん
だ。今夜、多くの人々が
命を落とすだろう。



きゃー!

やめてー!

神様!
赤ちゃん
だけはお助
けを!

破壊する者が町を通り過ぎ、何千と
いう数の人々が命を落とした。神を信じ、
戸口に血のしるしをつけた者達だけが、
災いを逃れて生き残った。



あなた、
息子がー!

すぐにモーセを
連れてまいれ!



どうしたんだ?

彼も長男
だったの
です!

うわああああ!



王は再び、モーセを呼びつけた。



しかし、王は、モーセの顔をまともに見ることはしなかった。

私は罪を犯した。どうか、ヘブル人を連れてエジプトから立ち去ってくれ。あなたの神、主なる神は、私の手におえない。出て行く前に、私のためにも、祝福を祈ってくれ。



神が、かつてヘブル人の父祖に約束された通り、およそ400年がたった後、彼らはエジプトを去ることになった。エジプトの民は、彼らに持てる限りの多くの金、銀、宝石、食料を持たせた。それは、ヘブル人の子供達にとりて、喜びの日となった。新時代の幕開けである。

女、子供を連れた、60万もの数の男達が、この日、約束の地へ向けてエジプトから立ち去った。

神は、昼間は、途上の彼らを導くため、雲の柱の中に、夜は、彼らを照らすため、火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。



第4章

出エジプト記



ヘブル人は、山々を抜けて、紅海に行き当たるところまで道を進んだ。目の前に広がる、広大な海を、どのようにして渡れば良いのか話し合いながら、その場に宿営した。



息子を失った悲しみから我に返った王は、怒りを覚えるようになり、なぜ自分は奴隷達を解放してしまったのか、と後悔した。

戦闘用の馬車を用意せよ！ヘブル人の後を追うのだ！全員連れ戻すか、さもなければ皆殺しにしまえ！

陛下、仰せの通りに。



見る!エジプトの軍勢だ!荒野で追いつめられるとは!

モーセは我々がここで死ぬために連れ出したのか。神から見捨てられたような、こんなところで死ぬくらいなら、奴隷として生きるほうがまだましだ!



エジプトの軍勢は、無力のヘブル人たちを見つけると、モーセがエジプトに対して行った数々の災いを思い起こし、彼らを皆殺しにしようとした。



山々に囲まれ、目の前は海だ。我々は行く手を阻まれ、囲まれてしまった。

もう神にも我々を救うことは出来ない。



その場を動くな。神様は、必ず大いなる御業をもって私達を救ってください。

王の心は再び強情になった。しかし、今日を境に、あなたがたはもう二度と、エジプトの軍勢を見ることはないだろう。



エジプトの軍勢が、今にもヘブル人たちに突進してきそうに見えたが、まさにその時、天から巨大な炎が降りてきて、軍勢の行く手を阻んだ。その夜、ヘブル人たちは光に守られ、エジプト人たちは深い暗闇におおわれた。



モーセは、海に向かって杖を差し伸ばした。すると、天から強い風がふき起り、水が分かれて海底の陸地部分が現れた。



これは、まさしく壮大な奇跡であった。イスラエルの子孫たちは、乾いた海底を歩いて渡ることが出来たのだ。

長い年月が経った後も、彼らは、海に道を造られた神のことを詩にあてて歌い続けた。多くの人々が、神が唯一の、主なるお方である、と認識することができるように。



今までエジプトの地で見たものの中で、これに勝る驚きはないわ!

うわあ! やっぱり僕たちの神様が一番すごいね! 海の真ん中にあるなんて信じられないよ。



ヨシヤ! なんてことを! そこから離れなさい! あなたは泳げないでしょ?



きれいな魚に触りたいだけだよ。



ヘブル人達が、ほぼ海底を渡り終えようとした頃、神は、エジプト軍を食い止めていた火の柱を取り去られた。海が分かれるところを見ていなかったエジプトの軍勢は、そのままヘブル人達の後を追いかけた。



突撃前進!
ヘブル人は皆殺しにせよ!




今日、あなたがたは全能の神の御力を見るのだ!

見る!海水が元に戻っていく。奴らは溺れ死ぬぞ。



エジプトの兵士達は、皆、海水にのまれて溺れてしまった。木や石でできた、彼らの信じる神々は、彼らを救うことができなかったのだ。



エジプト軍の死体だ。海は兵士の死体で一杯になってしまった。


確かに我らの神は全能なるお方だ。このようなことができる神は他にいない。この日のことを、我々は永久に覚えておこう。

エジプトにいたほうがまだましだったぞ。奴隷でも食べるものはあったからな。でもここには何も無いじゃないか。

そうだ、あんたは我々をこんな場所ですべて死にさせる気か？

モーセは何と言っていたの？どのようにして食料を見つけるって？子供達はとてもひどい思いをしているわ。

彼は、全能なる神が、朝ごとに天からパンを降らせると言っているんだ。



海とエジプトの軍勢を後にし、ヘブル人達は雲の柱とモーセに従って、荒野を前進した。道中、エジプトから持参した飲み物と食料を口にして必要を満たした。

数日間の旅の後、雲の柱が導くままに彼らは水源に行き当たった。ヘブル人達はそこで野営したが、やがて食料が底をつきはじめた。周りには食料源となるものは何もなく、望みが尽きたように思えた。

よく聞きなさい。あなたがたは、私に不平を述べているようだが、実際は、我らが従ってきた神に対して文句を言っているのだぞ。

全能なる神は、天からパンを降らせよう、と仰せられている。毎朝、あなたがたは、地の上を覆うパンを見つけるだろう。ただ行ってそれらを集め、食べれば良いのだ。

もうすぐ日が昇るわ。モーセの言う通り、地の上にパンが積もっていると思う？

そうでなければ、餓え死にだ。

でもさ、パンが空から降ってくるなんて、あなた、聞いたことある？

そりゃあもちろんないさ。でも、海が開けて道ができた、なんて話も聞いたことがなかったからねえ。モーセの神は、天地創造の神に違いねえ。天からパンを降らせることもきっとおできになるよ。さあ、日の出の時間だ。外に行ってみよう。



モーセの言った通り、天からのパンだわ。

何だって我々はまた疑ったりしちゃったんだ？



見て！いたる所にパンがあるわ。

とてもおいしいわ！ハチミツの味がする！

まことに神は全能なるお方であり、モーセはその預言者だ。



荒野を進み行く間、神は天からのパン、すなわち「マナ」と呼ばれる食べ物を、彼らに与え続けた。「マナ」とは、ヘブル語で「これは何？」という意味を表す言葉である。

雲の柱が水源のそばで止まると、ヘブル人達はその地で野営し、天からのパンを食べて生活した。しかしひとたび雲の柱が動き出すと、彼らはすぐさまテントをたたみ、見知らぬ荒野へと続く道のりを従っていった。



しかしある時、水が不足してしまうという事態となった。

神様はパンを下さったが、もはや我々を脱水症状で死なせる気だ。

水がなければ、この子は喉の渇きで死んでしまうわ。



我々はエジプトに留まるべきだったんだ。動物達が死んで、やがては子供達が息絶える。我々はあんたを石打ちにして殺すべきだ。

神様は我々と一緒にいてくださるんじゃないか？

全能なる神と話してみる。


神はモーセに、
どうすればよい
のか示された。

ここへ来て、
神のお力を見るが
よい。あなたがたは
不平不満を言うばかりで、
神をちっとも
信じていない。


神はあなたがた
にパンを与えられた。
今度はこの何の変哲も
ない岩から、水をお
与えになるのだ。

バシツッ!

ひひひひ~!



岩から流れ出た水は、まるで川のように地を潤した。




モーセが神に祈ると、神はまたお語りになった。

わたしがエジプトに下した裁きや、わたしが民をエジプトからどのように救い出したのか、また、食料を与え、岩から水を流れさせたことなどを、すべて民に思い出させよ。

もしあなたがたが、わたしの掟に従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。

モーセ、わたしは濃い雲の中であなたに臨む。わたしがあなたと語るのを民が聞き、いつまでもあなたを信じるためである。


再び雲の柱が動き出したため、ヘブル人達は荷物をまとめると、シナイ山と呼ばれる山へ向かって荒野の旅を再開した。



モーセは山を下りてきて神が話されたことを人々に伝えた。


我々は神に従う。神が言われること、全てに従おう。

行って、あなたがたの衣服と身体を清め、神への礼拝に備えよ。三日目に神はシナイ山に降りてこられる。




神が命じた通りに三日目、彼らは山の目前にて、神が語りかけられるのを待った。不思議な雲が山の上に降りてきて、そして…

モーセ、山の頂に来なさい。



モーセ、わたしはあなたがたをエジプトの地よりあがなした、全知全能なる神である。山をおりて、山の周りに境を設けなさい。

この山に触れる者は、誰であれ死ぬことになる。わたしはあなたに十の戒めを与えよう。あなたはそれを民に告げなければならぬ。



あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。

あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。

あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。

安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。七日目は、あなたの神、主の安息である

あなたの父と母を敬え。

殺してはならない。

姦淫してはならない。

盗んではならない。

あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない。

すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。

山をおりてきたモーセは、イスラエルの70人の長老たちを集め、神の十戒を伝えた。

私達は従います。

良い戒律だ。

70人の先導者達よ、私と共に山に戻るのだ。神はあなた方にも、お会いになられるだろう。あなた方自身の目で確かめるがよい。しかし、まず私は神の十の戒律を書き留めなくてはならない。

モーセは慎重に神が言われたことを書き留めた。神の御霊が、彼に間違い一つなく書くことを助けてくださったのだ。

モーセは戒律を書き留めると、人々を集めて神の言葉を読んで聞かせた。


神のおっしゃることは全て正しい。私達は従うぞ。

神は、イスラエルの民と契約を結び、彼らを祝福して命を与え、彼らを敵から救うことを約束された。そして民は、神の掟に従い、義なる歩みをすることを約束した。


神はモーセに、ほふりの捧げものを求め、その犠牲の血を人々にふりかけるようお命じになった。

アロンやモーセを含めたすべての人間は罪人であり、死の報いを受けるべき存在であった。しかし神はあわれみに満ちたお方であり、死の報いを免れる救いの道をご用意された。純真無垢な子羊をほふり、民にその血をふりかけることによって、神は民を生かしてくださった。死ぬべき多くの罪人達の身代わりとして、罪のない子羊が命を落としたのである。

あなたがたの罪は覆われた。あなたがた70人は、私とともに山へ登り、神のご栄光を仰ぎ見るのだ。




70人の長老達は、
モーセの後に従い、
神がモーセに語られた
山へと入っていった。



そこに突然、神の
御座が現れた。

神のご
栄光だ！




70人の長老達は、
山の頂で光り輝く神の
ご栄光の中に消えてい
くモーセを見つめた。

なんと
いう美し
さだ！


栄光に満ち
ている！

神と向かい合っ
て話せる者は、
モーセ以外に誰
もいないぞ！



モーセ、わたしに礼拝を捧げる場所となる幕屋を、民に作らせなさい。そこには、ほふりの捧げものを置く祭壇と、あなたがたの世代の続く間、わたしが年に一回大祭司と会う聖所を設けなさい。

幕屋の作り方は、わたしが詳しく教えよう。レビ族をわたしの祭司とし、アロンとその息子達、そしてその子孫達を大祭司として任命しなさい。彼らは民に、義の道を歩むことを教え、民が罪を犯した時には、贖罪の捧げものを捧げる働きをするのだ。




モーセがああ山の火の中に消えてから、もう数週間経っているぞ。彼はもう死んでしまったにちがいない。

ああ、こんな荒野にいつまでも、ぐずぐずしてはいられない。

我々には、モーセのように、導いてくれる神が必要だ。


金を溶かして神となるものを作りましょうよ。

モーセは死んだ。アロンが我々をエジプトに連れ戻してくれる。金色に輝く神を作ってくれるよ。




愚か者達は、自分の手によって子牛の鋳物を作り、それを神と呼んだ。罪を犯して墮落する前のサタン姿は、牛のような存在として記されている。民はそのことに気づいていなかったが、サタンは民に自分を崇拜させるために、彼らを欺いてそう促していたのだ。

あなたの、その金もちょうだい。



アロンは、民の望む通り、金の偶像を作る手助けをした。




これが、あなたがた
をエジプトの地から救い
出して下さった神の姿だ。
明日、この神にほぶりの
いけにえと礼拝を捧げ
ようではないか。

アロンは愚かであった。
この偶像は神の姿ではない
と知っていたが、彼は民を
恐れてしまったのだった。

いかなる偶像も神として
崇めてはならないと、神
が戒律として命じていた
にも関わらず、彼らは自
分達が作り上げた想像上
の神を崇拜した。


民は酒に溺れ、裸体で踊り、
姦淫の罪を犯した。神は、悪魔
とその使い達を滅ぼすために用
意した火の中へ、民を送り込も
うとお考えになっていた。

神はモーセに言われた。「さあ、下りて行け。…
あなたの民は堕落してしまった。彼らは自分たち
のために鑄物の子牛を造り、それを伏し拝み
わたしの怒りが彼らに向かっても上がり、わたし
が彼らを立ち滅ぼす…。」




モーセは、神との契約を忘れて、
偶像礼拝をする民に怒りを覚えた。

あなたがたは
神との契約をや
ぶってしまった
のだ!



モーセは、神の十
戒の書かれた石の
板を砕き壊した。



神は、ご自身のほかに
神々があってはならない、
と仰せられたのではなかつた
のか?!あなたがたが自分の手
で作った像が、天地創造の
神などと言うのか?

モーセは像を打ち砕
き粉々に破壊した。



全知全能なる神に従う者は私の側へ、エジプトの神々を信じた者はその場に留まりなさい。

我々はアブラハムとイサクとヤコブの神に従う。

お姿は見えなくとも、紅海をまっぶたつに分けられた神に、我々は従う。



罪の報酬は死だ。全能の神は、彼らは死ななければならないと仰せられている。さあ、剣を取れ。そして、偶像礼拝の罪を犯し続けている者達を一人残らず殺すのだ。



3000人あまりの偶像崇拜者と姦淫をする者達が、その日、すべて殺された。

グサツ!

やめてくれ~!

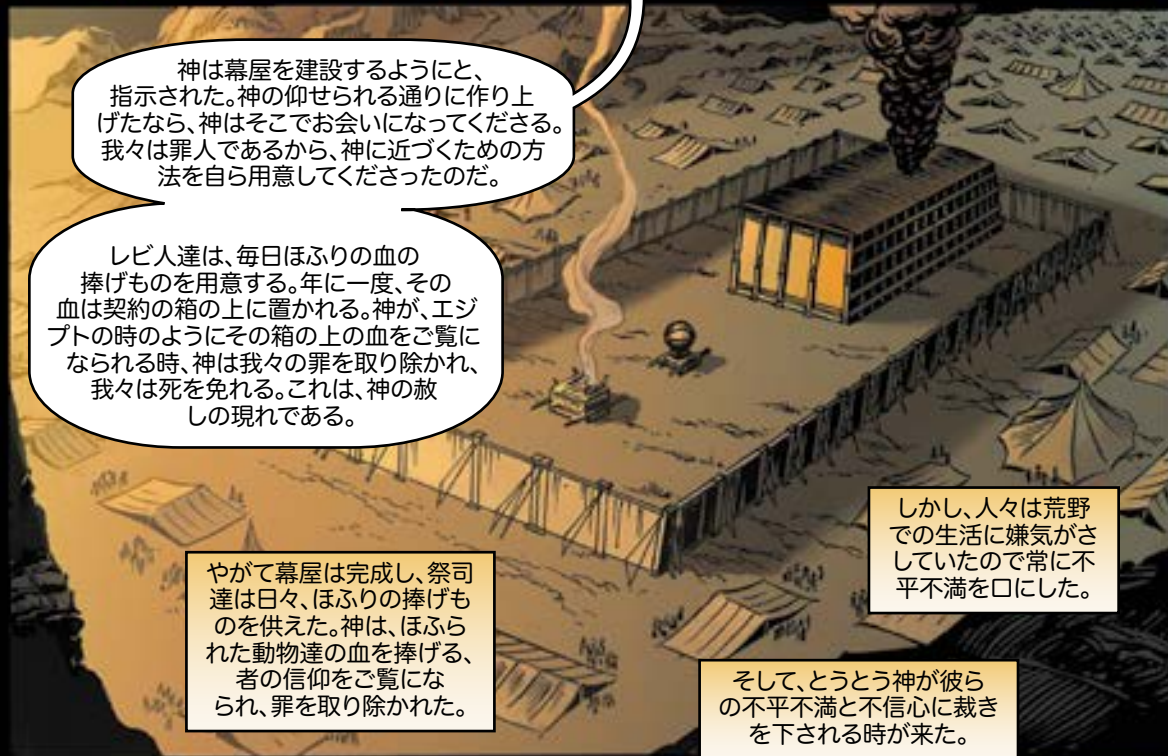
助けてくれ~!



モーセは山に登り、神は再び二つの石の板に十戒を記された。モーセは民のもとに戻ると、神の戒めを提示した。民はその戒めに従うことに同意した。



神は、あなたがたの心がかたくなになり、反抗的であることをご覧になられた。あなたがたが罪を犯したとき、神はすべての民を滅ぼすと仰せられた。しかし私が神に祈り求めた時、神はあなたがたの罪を取り除かれると約束して下さった。全能なる神は、まことにあわれみ深く、赦しに満ちておられる。



神は幕屋を建設するようにと、指示された。神の仰せられる通りに作り上げたなら、神はそこでお会いになってくださる。我々は罪人であるから、神に近づくための方法を自ら用意して下さったのだ。

レビ人達は、毎日ほふりの血の捧げものを用意する。年に一度、その血は契約の箱の上に置かれる。神が、エジプトの時のようにその箱の上の血をご覧になられる時、神は我々の罪を取り除かれ、我々は死を免れる。これは、神の赦しの現れである。

やがて幕屋は完成し、祭司達は日々、ほふりの捧げものを供えた。神は、ほふられた動物達の血を捧げる、者の信仰をご覧になられ、罪を取り除かれた。

しかし、人々は荒野での生活に嫌気がさしていたので常に不平不満を口にした。

そして、とうとう神が彼らの不平不満と不信心に裁きを下される時が来た。



きゃー！見て！へびよ！しかもたくさん！

神は多くの毒へびを彼らの宿営地に送られた。へびは、生きた暖かい肉体を求めて這いまわった。神はあわれみに満ちたお方である。しかし、罪が繰り返されることをお許しにならないのだ。



やがて宿営地は毒へび
でいっぱいになった。



神よ、
お助けを!



夜になると、へびは民の天
幕の中にまで侵入してきた。



助けてくれ!
噛まれてしまった!



いやあああ〜!



危ない、
ヨアブ!

お母さん!

子供でさえも、
その両親の罪のゆ
えに裁きを受けた。

野営地のあちこちから苦痛と悲観にくれた叫びが聞かれた。罪に対しての報いは恐ろしいものだ。

ますますひどくなっていく。すでに多くの者は毒により死んでしまった。

モーセを呼んでこよう。これはまさに神のなされる業だ。神が、民の罪に対してお怒りになられているのだ。

グシヤ!

神様、どうか、あなたの民にあわれみをお示し下さい。彼らの罪をお赦しください。

神と話をしてくれないか。我々はこの報いを受けるだけの罪を犯した。だが、神にあわれみを示してください。求めてもらいたいのだ。

神は罪に対して真面目に対処なさる、ということ、民はいつになったら理解するのだろうか？ 掟に従い、聖別された国民にならねばいけない。

行って、民に噛みついているへびと同じような姿のへびを青銅で作り、それを旗ざおの上につけよ。民がそれを仰ぎ見れば、噛まれた者も癒され、生きる。



神様は解決の道を示してくださったぞ!あの青銅のへびを見上げれば、噛まれた傷もいやされるそうだ。



死にそうなんです。

いや!大丈夫だ。神様は解決の道を示してくださったんだ。目を開けて見上げなさい。見て、そして生きるんだ!



奇跡だわ!

他の者にも話さなくては!

私にも効いたぞ!みんなに伝えよう!



見上げろ、そして生きるんだ!



なぜ、そんな偽りの希望をもたせるようなことを言って、からかうの？

みんな見上げて治ったんだよ！

分からないのか、もう私はダメだ。そんな戯言を言うために来たのか？



死んでしまったわ。

残念です。彼は信じなかったんだ。

プライドがあったのでしょ。




民は、またしても神の力を目の当たりにした。へびのいるところから宿営地を移し、普段通りの生活が戻ってきた。

しかし、民は引き続き自分たちの思うよう行動し、しょっちゅう神の掟に逆らった。



イスラエルの子孫達は、雲の柱に従った。神は、彼らに天からの恵みであるマナを送り、飲み水も与えた。


神は、民を約束の地へ招き入れることもおできになられたが、彼らが不従順で神の掟に従おうとしないため、あえて40年もの間、彼らに荒野をさまよわせた。



モーセ、お前は自分だけが神に近いと思っているんだろう。我々も同じくらい聖なる存在で、事実、ここにいる群衆も皆同じだ。我々の中に、もはや罪人はいない。神のご臨在があるからな。だから、もうこれ以上お前とアロンに指図されたくないし、裁きを言い渡されるのもごめんだ。我々にもお前と同じように、判断力が備わっているんだ。

そうだ、俺は、ささいなことでも我々を殺すと言う神と一緒に、こんな砂漠をさまよいつけることに疲れ果てたよ。

そうだ、モーセの責任だ。だいたい、我々に期待し過ぎて、厳しすぎるんだよ！



モーセは幕屋へ行くと、神に、どうするべきかお伺いを立てた。

神は仰せられた。「レビの子達よ。あなたがたは多くの責任と力を自分たちの上にもたらせようとしている。わたしがあなたを指名したわけでもないのに、祭司の職まで要求するというのはか。」

明日、神は我々の間に裁きを下される。その時、神の祭司となるべき者は誰なのか明らかにになり、聖なる者とそうでない者が示される。明日の朝、おのおの自分の火血を取り、幕屋に集まりなさい。

翌日



自らを聖なる者と呼び、祭司となって民を裁く者になる、と語る者達よ、近くへ来なさい。

今日、神はこの場で、我々にお会いになられ、選んでくださる。我々は神の力とご栄光を見る。




あなたがたはこの会衆から離れよ。わたしはこの者どもをたごころに絶滅してしまうから。



彼らの天幕から離れ、そこに近づいてはならない。あなたがたが滅ぼし尽くされることのないように。





これは試みでもある。
もしこの者たちが、自然に死ぬの
なら、私を遣わされたの
は主なる神ではなく、神は
私の口を通して語られ
ることはない。

しかし、もし主がこ
れまでにないことを行わ
れて、地がその口を開き、
彼らと彼らに属する者たちとを、
ことごとくのみこみ、彼らが生
きながらよみに下るなら、あな
たがたは、これらの者たちが罪
を犯し、主を侮ったことを知
るでしょう。そして私が神の
預言者である、ということも。

助けてくれ～！

わ——！

やめてくれー！

祭司になるべきだと自負していた者
たちは、生きたまま地にのまれ、悪魔
とその使いのために用意されていた、
よみの火の中へと落ちていった。



彼らの火皿
をとり、祭壇
のための被い
とせよ。

その被金を見るたびに、
神の戒めを破って自らを祭
司としようとした者がいた、
という今日の事を、あなた
は思い出すのだ。

この日はイスラエルにとって忘れ
られない日となった。神は、モーセ
こそが預言者であり、神の命じた者
のみが祭司になりうることを、明確に
お示しになられたのである。



神様のご栄光は
常に我らと共にあり、
天からの恵みのパン
を備えてください。

神様のご栄光は
常に我らと共にあり、
天からの恵みのパン
を備えてください。

神は彼らに、引き続き、天からの恵みのパン
と岩からの水を備えられた。夜は火の柱が、
日中は雲の柱が彼らを導き、民は、荒野にあ
って、神の教えを守ることを学んでいった。




祭司達は、幕屋に集い、モーセが命じた通りに日々、ほふりの捧げものを神に捧げた。



荒野において40年の歳月が流れた後、民が約束の地へ入る時が来た。神はモーセを山の頂きに招かれた。地においての最後の言葉を神と交わしたモーセは、横になると静かに息を引き取った。



直ちに彼の霊は神の御前に先導されていった。世の終わりが来て、神がアブラムに約束された、真の約束の地において、再び彼の同胞と出会うその日まで、彼は神の御元に留まるのだ。




全能なる神が、アブラハムに対し、祖国を離れ、神の示される土地へと旅立ちなさい、と仰せられてから、実に500年あまりもの月日が経っていた。

神が、アブラハムとサラに、息子のイサクを通して大いなる国民が生まれる、と仰せられた約束は、成就した。後にイスラエルと名前を変えたヤコブの、12人の息子達は、やがて12部族へと成長し、人口は増え広がっていった。


彼らは奴隷から解放され、モーセに従って荒野をさまよい、神のおきてを授けられ、そしてついに、神の約束された地に入ることとなった。荒野を旅している間、常にモーセの傍らに付き添っていたヨシュアという少年は、モーセの言動を見て学ぶことにより、イスラエルの民を導くために必要な知識を備えた。

少年ヨシュアは、成長し、強き勇者となっていた。



モーセが神の御元に旅立った後、彼に代わって民を約束の地へ導く指導者として、今度はヨシュアが神に選ばれた。

見知らぬ土地で寄留者となり、400年もの間、苦役を強いられた後、やがて彼らは父祖の土地へ帰ってくる、という預言の言葉を、民は覚えていた。神は約束を成就してくださったのだ。



民がヨルダンを越えると、天からの恵みである、マナと呼ばれる食物は途絶えた。そしてその代わりに、民はその土地の産物である新鮮な食べ物を口にするようになった。

あなた、神様は私たちに素晴らしい土地を与えてくださったわね。

ああ、ここは、子供達を育て、この子達に聖さと平安の中に生きることの大切さを教えるのに最適な場所だ。



第5章

王国

イスラエルの子孫達がたどり着いた、パレスチナの地に住む者達の間には、悪がびこっていた。彼らはカナン人と呼ばれており、イスラエルとは異なった言語を使用していた。彼らは、金や銀、真ちゆう、そして木々等で作られた神々を崇拜し、人間をいけにえとして捧げていた。

バル様、我々はこの無垢な子供を捧げます。この子の血が、あなた様のお怒りを鎮めてくれますように。。

私は、私の靈的な罪の贖罪のいけにえとして、この赤ん坊を捧げます。

いつの日か、我々もいけにえを捧げられるくらい立派な大祭司になろうな。

不愉快な思いをさせられるが、やらねばならんことじゃ。善には福を、悪には罰を。

神は、彼らとその罪を悔い改めるように、預言者と祭司を送った。しかし、彼らは聞く耳をもたなかった。そこで神は、ノアの時代やソドムとゴモラの時同様に、カナン人たちを滅ぼそうとお考えになられた。



約束の地、カナンに住んでいた偶像礼拝者達は、イスラエルの子孫達の存在を認めず、自分たちの土地を守るために戦いを挑んできた。しかし神は、彼らを打ち負かすため、イスラエルの子孫達に必要な力を備えられた。



よくも、神聖な
神殿へ来られた
ものだな！

あなたは、
最後に残った
自分の子供を
殺してしまった
のだ。




今こそ、この地に広がり、落ち着こうではないか。しかし、この地に未だ残っている罪人達に惑わされてはならない。神様は、彼らを裁くのと同じように、あなたがたを裁かれるのだから。




血塗られた戦いに幕が
下ろされ、ヘブル人たちは
敵を征服し、土地を得た。
そこでヨシュアは、人々に
向かって言葉を発した。

我々の父祖、
アブラハムは、偶像礼
拝のはびこる土地から
出てこられた。神様
は、彼を偉大なる国
民とする、と約束
された。


また、神様は、アブラハム
の民がエジプトへ下ること、
そこに400年もの間とどまること、
そしてその後、今あなたがたが立
っている約束の地へと連れ戻す、
ということ、語っておられた。
500年以上もの年月が経った今、
その昔アブラハムと交わした約
束を、神様ご自身が成就
してくださったのだ。




新しい土地で、彼らは平安を得た。誰もが自分の畑を持ち、食べる物も十分にあった。神は、民全体を豊かに祝福された。




食事ができましたよ。




この岩をどけたらすぐに行くよ。



神が約束された通り、ヘブルの民はカナンの地で増え広がった。彼らの住む町はどこも、善意と正義と活気に満ちていた。この新しい国は、イスラエルと呼ばれた。



姉妹よ、あなたに平安があるように。今日の魚はどうだい？



いつも通り、新鮮よ。

全能なる神は、我々の敵を滅ぼされたが、この地には未だに偶像礼拝の罪が残っている。この地にいた者達が仕えていた神々か、アブラハムの神か、どちらでも、あなたは今日選ぶがよい。私と私の家とは、全能なる主に仕える。

私達が主を捨てて他の神々に仕えるなど、絶対にそんなことはありません。全能なる神様は、偉大なる力をもって私達をエジプトから救い出し、荒野においても養って下さいました。

主は我らのために、アモリ人を含むすべての敵を追い払ってくださった。我々も主に従う。主こそ我らの神なのだから。

神は聖なる神であり、ねたむ神である。もしあなたがたが主を捨てて、偶像の神々に仕えるなら、主はあなたがたにわざわいを下し、あなたがたを滅ぼし尽くす。

私達は全能なる神に仕えます。

あなたがたは、主を選んで、主に仕えるという、自分自身の証人である。

私たちは証人です。

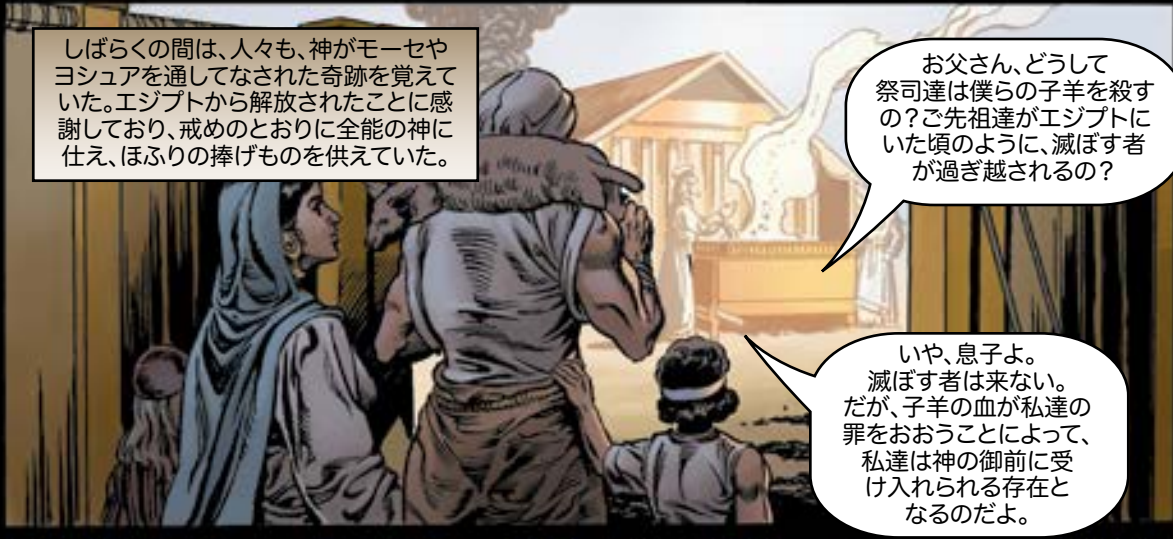
私は、あなたがたが今日、神と結んだ契約を書き記そう。

我々は、モーセに従ったように、あなたに従う。主なる神が、モーセと共に歩まれたように、あなたと共におられますように。誰でも神の戒めに背く者は、死の裁きを受けますように。

人々は、モーセの掟を読み、神と語る士師達によって統治された。彼らは人々に神の教えを説き、神に従うよう日々導いた。

雄牛が誰かを角で傷つけた場合、神の掟ではどうなりますか？


モーセは言っている。飼い主は危害に対する責任があり雄牛は殺さねばならぬ。



しばらくの間は、人々も、神がモーセや
ヨシュアを通してなされた奇跡を覚えて
いた。エジプトから解放されたことに感
謝しており、戒めのとおり全能の神に
仕え、ほぶりの捧げものを供えていた。


お父さん、どうして
祭司達は僕らの子羊を殺す
の？ご先祖達がエジプトに
いた頃のように、滅ぼす者
が過ぎ越されるの？

いや、息子よ。
滅ぼす者は来ない。
だが、子羊の血が私達の
罪をおおうことによって、
私達は神の御前に受
け入れられる存在と
なるのだよ。



民は、神を礼拝し、その教え
に従う、とヨシュアに約束し
たのだが、すべての者が継続
して、全能なる神を礼拝し続
けたわけではなかった。

奇跡を見ることがなくなると、
次の世代の者達は生ける神を
忘れ、命のない偶像を拝むよう
になった。また、自分たちの先
祖を礼拝することもあった。



ヨシュアが警告して
いた通り、神はイスラ
エルを滅ぼすために、
異教徒達を送った。

やめてくれー！
バアルの神よ、
お助け下さい！

うおー！



神の民の上に裁きもたらされると、彼らはその教えを思い出し、自分たちの罪を告白して悔い改めた。

全能なる神様、私達の罪をお赦し下さい。私達に再び平安をお与え下さい。

民が自分たちの罪を認め悔い改めると、神は彼らを赦し、その地をもとのように回復させた。



しかし民は、神を求め、神の教えの書かれた書物から人々を支配する士師達に嫌気がさしてきた。そこで、彼らは、自分たちを治めてくれる王を選ぶことにした。

預言者であり、祭司でもあるサムエルが、民に対し、もし王を置くのなら、神を拒絶することにつながる、と警告した。しかし民は、信仰をもって歩むことなど、もはやしたくはなかったのである。王になったサウル王は、人々に辛くあたり、彼らの土地や金を取り上げた。また、彼らの息子達を奴隷にし、娘達を虐げた。

お前の土地は国に没収される。娘はここに置いてゆけ、我々が面倒を見てやろう。



年を重ねたサウル王は、やがて邪悪な霊に支配されるようになり、制御不能なかんしゃく持ちになった。

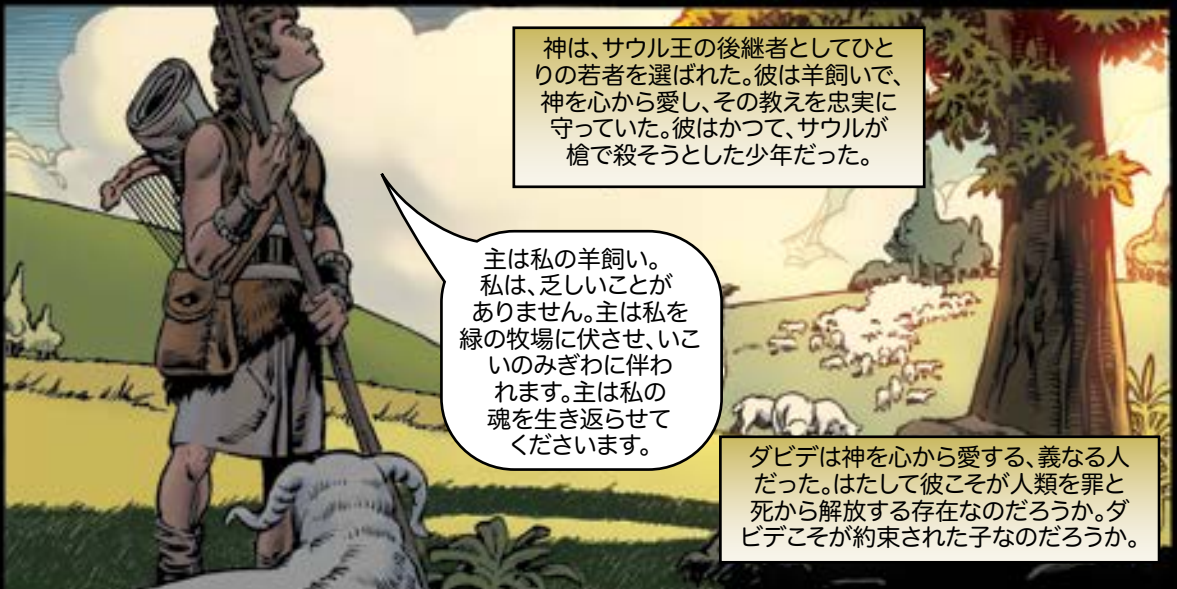
ある日、王は彼の為に豎琴を奏でていた、ダビデという少年を槍で突き刺そうとした。

サウル王は罪を重ね、周りの者をねたみ、常に何かにおびえていた。悪霊は彼に富と権力を約束したが、結局それらは彼の精神に苦痛と惨めさをもたらしたただけだった。

サウル王は生ける神を捨て、魔女達に助言を求めた。

闇が見えます。良い兆候ではございません。あなた様は戦で命を落とし、他の者があなたの後を継ぐでしょう。

サウルは戦で死に、彼の魂は地獄に追いやられた。



神は、サウル王の後継者としてひとりの若者を選ばれた。彼は羊飼いで、神を心から愛し、その教えを忠実に守っていた。彼はかつて、サウルが槍で殺そうとした少年だった。

主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させ、いこのみぎわに伴われます。主は私の魂を生き返らせてくださいます。

ダビデは神を心から愛する、義なる人だった。はたして彼こそが人類を罪と死から解放する存在なのだろうか。ダビデこそが約束された子なのだろうか。



ダビデの詩

幸いなことよ。悪しき者のはかりごと
に歩まず、罪人の道に立たず、あ
ざける者の座に着かない人。主のお
しえを喜びとし、昼も夜もおし
えを口ずさむ人。

その人は、流れのほとりに植えられ
た木。時が来ると実を結び、その葉
は枯れず、そのなすことはすべて
栄える。

悪しき者は、そうではない。まさし
く、風が吹き飛ばすもみがらだ。
それゆえ、悪しき者は、さばきに、罪
人は正しい者のつどいに立ち得ない。
まことに、正しい者の道は主が知っ
ておられ、悪しき者の道は

滅び去る。
(詩篇 第1篇)

サウル王の死後、ダビデはイスラ
エルの王となり、神を礼拝しその
教えに従うよう、民を導いた。

彼女に土地を返還
しなさい。また、これ
以上税が課せられない
ようにせよ。

ダビデの統治下で
国は栄え、人々は
正直に生きた。

神はダビデに語りかけられ、将来起ころうとしている事柄について、多くを明らかにされた。ダビデはそれらの預言を詩篇に書き記した。その多くは、実際すでに成就されている。

ダビデは義なる人であったが、罪を犯すことがなかったわけではない。したがって、彼は、約束された救い主ではなかった。彼は、救い主について、こう書き記した。

彼が義をもって、あなたの民をさばきますように。公正をもって、あなたの苦しむ民を。王が、民の苦しむ者たちを弁護し、貧しい者の子らを救い、虐げる者どもを打ち砕きますように。彼の代に、正しい者が栄え、月がなくなるときまでも豊かな平和がありますように。海から海に至るまで、川から地の果てに至るまで王が 続べ治めますように。こうして、すべての王が彼にひれ伏し、すべての国々が彼に仕えるでしょう。虐げと暴虐から王は彼らのいのちをあがげない。王のためにいつも彼らが祈り、絶えず王をほめたたえますように。王の名がとこしえに続き、その名が、日の照るかぎり増え広がりますように。人々が彼によって祝福され、すべての国々が彼をほめたたえますように。(詩篇第72篇より)

神はダビデに言われた。「あなたが死んだ後、わたしはあなたの息子のもとに王国を設けよう。彼はわたしのために神殿を築き、わたしはそこで礼拝される。わたしは彼の王国を堅固なものとする。」

ダビデの死後、彼の息子であるソロモンが即位した(紀元前971)。神がダビデに与えていた指示通りに、ソロモンは神殿を建て(紀元前966)、荒野で遣われていた、老朽化していた幕屋を建て直した。イスラエルの人々は、かつてないほどに栄えていった。真に神は、約束された土地において彼らを祝福する、という約束を成就してくださったのだ。

しかしまだ、成就していない約束もあった。悪を打ち破る救い主の到来についての、約束だ。人々は未だに罪を繰り返し、そのために動物の血が、あがないのために捧げられていたが、彼らは、いつか、救い主が永遠に彼らの罪を取り除いてくださる日まで、自分たちの罪をおおうために必要な道を、備えてくださっている神に感謝した。

人々は神殿にやってくると、聖なる書巻からの教えに耳を傾けた。彼らは特に、来たる救い主についての預言を聞くことに、喜びを感じた。

主はダビデに誓われた。それは、主が取り消すことのない真実。「あなたの身から出る子を、あなたの位に就かせる。」あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ。子に口づけせよ。主が怒り、おまえたちが道で滅びないために。

ダビデは、来るべき救い主について、多く書き記した。主は、わたしの主に言われた。「あなたは、わたしの右の座についていなさい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。

(詩篇110:1)

神よ、あなたの王座は世々限りなく、あなたの王国の杖は公平の杖。あなたは義を愛し、悪を憎む。それゆえ、神よ、あなたの神は喜びの油をあなたに注がれた。あなたに並ぶだれにもまして。(詩篇45:6-7)

来るべき救い主についての更なる預言

わたしもまた、彼をわたしの長子、地の王たちのうちの最も高い者とする。(詩篇89:27)

わが神よ、私はあなたのみこころを行うことを喜びとします。あなたのみおしえは私の心のうちにあります。(詩篇40:8)

わたしは口を開いてたとえ話を、昔からの謎を語ろう。(詩篇78:2、マタイ13:34-35)

ダビデは、来るべき救い主について、こんな不思議なことも記している。水のように私は注ぎ出され、骨はみな外れました。心はろうのように私のうちで溶けました。私の力は、土器のかげらのように乾ききり、舌は上あごに張り付いています。死のちりの上に、あなたは私を置かれます。

犬どもが私を取り囲み、悪者どもの群れが私を取り巻いて、私の手足にかみついたからです。私は自分を凝らし、私を見ています。彼らは私の衣服を分け合い、私の衣をくじ引きにします。(詩篇22:14-18)


ソロモン王の統治は、永く繁栄をもたらした。しかし、彼の死後、王国の北半分が分裂し、ヤロブアムという邪悪な男が王となった(紀元前975年)。北王国は、エルサレムにある神殿から遠く離れていたため、彼らは、自分たちの手で金の子牛を作り、独自に偶像礼拝の場を建設した。

これこそが、あなたがたをエジプトの地から連れ出してくださった神である。そして、ここにいるのがその祭司達だ。

しかし、モーセの教えと、神がお建てになられたエルサレムの神殿はどうなるのですか？

神といっても様々な形がある。ある者達はエホバと呼び、ある者はアラヤケモシュと呼ぶ。我々はバアルと呼ぶことにしよう。

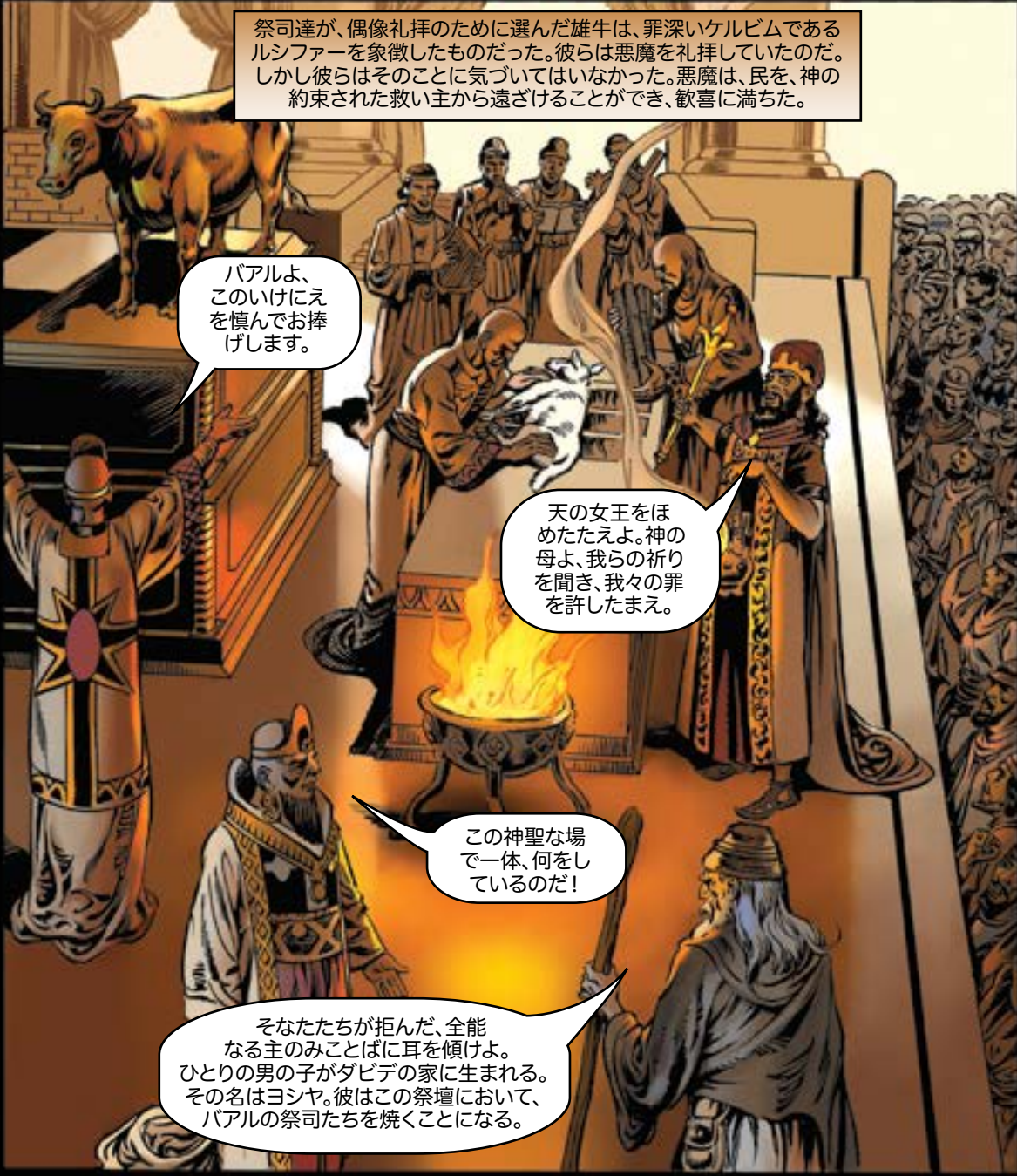
しかし、神様がその預言者達にお与え下さった聖なる書物は、どうなりますか？そこには、神様以外の神々を求めてはならないと記されています。神様は唯一のおかたであり、神様への道はたったひとつである、と。



お前は神が心の狭い方だと思っているのか？

そんなへりくつは聞きたくない！これからはバアル信教を国教とする。逆らう者は、死刑だ！

祭司達が、偶像礼拝のために選んだ雄牛は、罪深いケルビムであるルシファーを象徴したものだ。彼らは悪魔を礼拝していたのだ。しかし彼らはそのことに気づいてはいなかった。悪魔は、民を、神の約束された救い主から遠ざけることができ、歓喜に満ちた。




バアルよ、このいけにえを慎んでお捧げします。

天の女王をほめたたえよ。神の母よ、我らの祈りを聞き、我々の罪を許したまえ。

この神聖な場で一体、何をしているのだ！

そなたたちが拒んだ、全能なる主のみことばに耳を傾けよ。ひとりの男の子がダビデの家に生まれる。その名はヨシヤ。彼はこの祭壇において、バアルの祭司たちを焼くことになる。




なぜそんなことが言える？未来のことは、神々にしか分からないのだぞ。

主なる神のみことばだと申しておるのだ。ここにいる祭司たちの骨は、この祭壇の上で焼かれるのだ。




これが、主の告げられたしるしである。見よ、あなたがたが築き上げた、愚かな偶像の祭壇は、裂けて、その上の灰はこぼれ出る。



はっはっは、ロバのいななきのような、こやつをやかまわしたわごとを聞いたか？自分は正しくて、周りには皆、間違っていると思っているようだ！


こいつを捕らえて殺してしまえ！他人の宗教に難癖つけることは許さん！



腕が萎えていく！全能の神が罰しておられるんだ！腕をもとに戻すよう、神に祈ってくれ！



主なる神よ、あなたのお力を、お示してください。王の腕を癒したまえ。



奇跡だ！神が癒してくださった！

ガシヤーン! ドスーン!

ひいっ!

やめてくれー!

全能の神がお語り
になられておる!

全能の神が私の宗
教を壊してしまった。
もう何も残っていない。

まことにあなたは、
神に遣わされた者だ。バアルの
預言者たちは誰も、このようなし
しを行えない。私と一緒に来てくだ
さい。共に飲み、食べて、身を休
めましょう。そして、この日、あ
なたがおこなった神への大なる働
きに対して、富と名誉を贈らせて
ください。

しかしあなたは、
祭司たちの骨が祭壇で
焼かれると言われましたが、
その祭壇はなくなり、誰も死
ぬことはありませんでした。

わたしはあなたと一緒にまいり
ません。主の言葉によってわたしは、
「イスラエル滞在中、パンを食
べてはならない、水も飲んで
はならない。また、もと来た道
を通して帰ってはならない。」
と命じられているからです。

わたしにも分かりません。
ただ言えるのは、私ではなく、
神が語られた言葉なのだ、
ということです。



神がお命じになられたように、予言者は別の道を通って帰った。彼は2日間、飲まず食わずだった。非常に空腹を覚え、喉も渴いていた。金色の牡牛の偶像を拝んでいた二人が、予言者の後をついていった。

お父さん、もし自分のこの目で見ていなかったら、僕はとうてい信じられなかったよ。まるで古代の、イスラエルの預言者たちの様だった!

お父さん、彼の言っていることは本当なの? 全能の神だけが、唯一の神様なの? 僕たちの偶像は、単なる木材と金であって、それ以上の存在ではないってこと?

急げ! ロバに鞍をつけよ! 彼を見つけに行こう!



彼は、木の下で休んでいる、全能なる神の予言者を見つけた。それほど力を持っている男に、近づいてみたくなったのだ。彼も、以前は神の予言者であったが、王国が分裂した際、国民とともに偶像礼拝の道に進んでしまっていた。宗教はどれもみな、同じなんじゃないか、と結論づけたのだ。

ユダから来られたという神の予言者とはあなたのことですか。さぞ、お疲れでしょう。私の家においでください。何か、食べ物と飲み物を用意しましょう。

いいえ、この場所では飲食は出来ないのです。神が命じられましたので。

実は私もあなたと同じ、預言者なのです。今朝、神の御使いが現れ、あなたを私の家に迎えてあなたに食べ物と飲み物を差し上げるように、とおっしゃられたのです。私は喉が渴いていたのです。

ありがたい!

素晴らしい食事でした。さて、私はユダへ戻らなくては...

全能なる神がお語りになりました。「この地において飲食をしてはならない、という神の言葉に、あなたは従わなかった。あなたの死体はユダに戻ることは出来ず、家族と一緒に墓に葬られることはないであろう。」

父さん、それって預言ですね。神様は父さんにもお語りになられたの?

そうだよ、息子よ。この何年かで初めてのことだ。

彼は死ぬって言うことですか?

残念ながら、そうなる。私が悪いんだ。



あれはユダの預言者だ!

もっと奇妙なことに、ライオンとロバが、一緒に傍らに座って、預言者の身体を守っているかのように見える。

こんな光景は今まで見たことがない。ライオンが彼の命を奪ったようだが、そのライオンは側にただ座っている。彼を食べようもしない。

神が、ご自身のおことばに対して常に誠実であられる、ということを知っていた預言者は、重い心のままその家を後にした。彼はいつか自分は死ぬ、ということを知っていた。ただ、その時がこんな形で、こんなにも早く訪れるとは、予期していなかったのである。

300年の後、ユダ王国ではヨシヤ王が王位についた(紀元前640年)。王は、神殿に赴いた際、聖書の写しを見つけた。国民が、生ける神の存在を忘れて、偶像礼拝を犯している現実、心かき乱される思いだった。そこで王は、すべての長老、預言者、祭司を含む、すべての住民を招集し、聖なる書物を読み聞かせた。



偽預言者は、ユダの預言者を抱え上げ、神が滅ぼしたバアル神の祭壇近くに位置する、バアルの預言者達に与えられた墓地の、自分の所有地に、彼を埋葬した。

神は、命令に背いた彼に裁きを下された。確かに神の預言は現実となる。

神の預言者は葬られ、やがて、一部の者をのぞいて、その存在は忘れられていった。バアルのための祭壇は再建され、300年経った後もまだ、礼拝用に使用されていた。しかし神が仰せられたように、そこで再び人間のいけにえが捧げられることはなかった。



民は、これまでの罪を恥じ、書物に書かれている言葉に従うことに同意した。



聖母よ、お助けください。

民は神の教えに従い、地にはびこる全ての偶像を破壊した。そして、太陽や月、惑星、または天の女王を拝み、それらに対して香をたく祭司達を滅ぼした。



モーセを通して与えられた神の戒めは、同性愛を禁じているため、すべての男性愛好者たちは、その地から追放された。

許せないわ。



彼らはまた、霊使いや霊媒師、魔女達を一掃した。

その水晶玉を砕き家を焼け!

ヨシヤは、300年前に預言者が、当時初代の王であったヤロブアムに対面した、祭壇の高き所にやってきた。

彼らは祭壇と、偶像全てを破壊し木々を切り倒し、それらを全て粉々にした。

神は唯一の神であり、偶像を通して礼拝されるべきお方ではない。偽の祭司達は、民を惑わし、全能なる神から人々を遠ざけてしまったのだ！

お前は死刑だ。

再び祭壇は裂かれ、灰はこぼれ落ちた。

全ての偽祭司達は殺され、廃墟と化した祭壇の上で焼かれた。

近くには、偽祭司達のための墓があった。民がその墓を拝むことがないように、ヨシヤは彼らの骨を掘りおこし、その祭壇で焼いた。



すべての骨を焼き尽くすのだ。

しかし、陛下、この墓は300年ほど前にユダから来た、まさに今日を預言した神の使いの者の墓でございます。彼はまさしく、ヨシア王、あなた様が今日、ここへ来て行われた事を預言しました。

それなら彼の骨はそのままに。他の骨は焼くのだ。神の祝福のもと、偶像崇拜は終わりを迎えねばならぬ。

かくして、300年も前に、神の使いによって預言されたことが成就した。

偶像礼拝がなくなった後、ヨシア王は、かつて父祖達をエジプトから救い出してくださった全能なる神を覚えるために、過ぎ越しの祭りを再開することを命じた。

主なる神をほめたたえよ、全宇宙をつかさどり、恵みの産物を地より生み出してくださるお方を。

お父さん、どうして今日はいつもと違うの？

そこで父親は、どのようにして神が父祖達をエジプトの苦役から救われたのか、また、幕屋に関することや神の教えについて、彼らに話して聞かせた。そして、死の使いからその家の長男を守るために、門の柱に塗られた血のしるしのことも。その夜起きた出来事は、かつてない過ぎ越しの体験だったのである。



第6章

エリヤ



分裂した北王国に、イスラエルの王となったアハブという無力な男がいた(紀元前918年)。彼はサマリヤでシドン人たちと共に暮らしていた。シドンの人たちは、バアル神を礼拝する民族だった。アハブは、シドンの王、エデバアルの娘イゼベルを妻にめとった。



イゼベルは、大変熱心なバアル信者であった。彼女はイスラエルの神を見下し、バアル信仰を国中に広めていた。



全能なる神の預言者という者をすべて見つけ出し、殺してしまいなさい。バアルこそ我らの神です。

王には、オバデヤという、全能なる神を信仰する召し使いがいた。

神の預言者を見つけ警告せねば...



オバデヤは、100人の神の預言者を洞穴の中にかくまい、彼らに水や食料を運んだ。



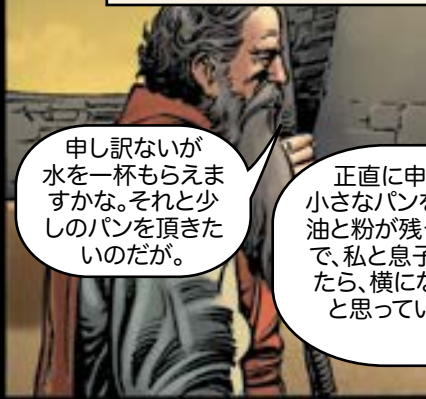
しかし、神の預言者でただ一人、隠れることを拒んだ者がいた。エリヤである。



アハブ王よ、あなたは、父祖の神を捨て、奥方イゼベルの邪悪な神に従っておいでです。全能なる神は、この私が命ずるまでイスラエルの地に、雨どころか一滴のしずくさえ降らないであろう、と仰せられている。

ハッハッハ、お前は預言者か！この国には1000人ももの預言者がいるが、彼らは干ばつなど起こらぬと言っておる。現に過去何年もの間、十分に雨には恵まれておるではないか。見せ掛けだけのベテン師め！そこをどけ！

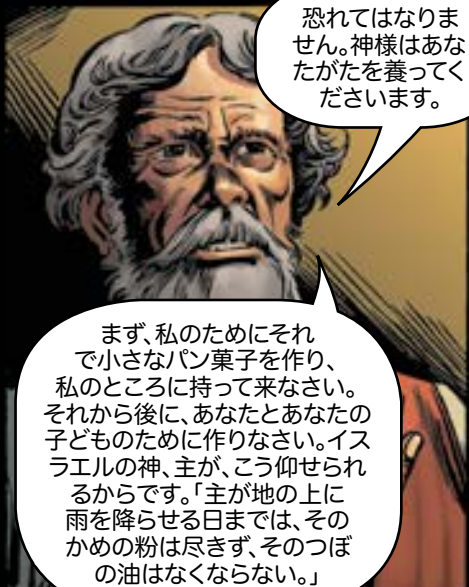
ききんがひどくなるにつれ、人々は飢えて命を落としていった。偽の預言者達は、バアルに助けを求めたが、バアルは応えてくれなかった。雨どころかしずくさえ降らず、干ばつは続いた。その頃、神はエリヤを一人の未亡人の家に使わした。干ばつが終わるまで、その未亡人がエリヤに住む家と食事を提供してくれる、と神は仰せられた。



申し訳ないが水を一杯もらえますか。それと少しのパンを頂きたいのだが。

正直に申し上げますと、小さなパンを二つ焼くだけの油と粉が残っているだけなので、私と息子でそれらを食べたら、横になって死を待とうと思っていたところです。

もう、希望は残っておりません。神様は私達の罪に、裁きをお下しになっているのです。



恐れてはなりません。神様はあなたがたを養ってくださいます。

まず、私のためにそれで小さなパン菓子を作り、私のところに持って来なさい。それから後に、あなたとあなたの子どものために作りなさい。イスラエルの神、主が、こう仰せられるからです。「主が地の上に雨を降らせる日までは、そのかめの粉は尽きず、そのつぼの油はなくならない。」



本当だわ！かめには粉が、つぼにも油がまだちゃんと残っている！



使っても使っても、ちっとも減らないよ!

奇跡だわ! 神様は素晴らしいお方です!

その後2年間に渡って、3人は、かめの中の粉を用いてパンを焼き、食べ続けることが出来た。



ある日、未亡人の家にもいつも通り帰ってきたエリヤは、彼女の息子が亡くなったことを聞かされた。

熱病におかされ死んでしまったんです。



私が何か、あなたを傷つけるようなことをしたでしょうか。あなたは私の罪を思い知らせ、私の息子を死なせるために来られたのですか。

イスラエルの神を信じるのです。



私の神、主よ。どうか、この子のいのちをこの子のうちに返してください。



神はエリヤの願いを聞かれたので、子どものいのちはその子のうちに返し、その子は生き返った。



アブラハム、イサク、ヤコブの神、主よ、感謝いたします。あなたこそ真実の神であられます。

イスラエルの神は生きておられる。

私の息子!

ききんは3年にわたって続いていた。民は飢えていたが、それでも偽りの神に対するバアル信仰を止めなかった。

なぜバアルは、我らの祈りを聞いて、雨を降らせてくれないんだ。

もしかするとバアルは口がきけないのかもな。きっと耳がないだろう。

イゼベルとアハブはききんをエリヤのせいにした。彼らは国中はもちろんのこと、隣接する国々まで兵を送り、エリヤを探した。エリヤを見つけ次第、殺せというのが彼らの命令であった。

アハブ王よ、私を探しておるのかね？

このイスラエルをききんで苦しめているのはお前だな。

エリヤを渡せ！彼をかくまうとお前も死ぬことになるぞ！

偶像礼拝をしているあなたこそが、イスラエルを苦しみに追いやっているのです。全能なる神と、バアル、どちらがまことの神か、勝負してみようではないか。あなたがたの預言者850人を集め、カルメル山まで連れてきなさい。


勝負だと？面白そうだが、受けて立つのではないか。

数日後カルメル山にて

あなたがたは、いつまでどっちつかずによろめいているのか。もし、主が神であれば、それに従い、もし、バアルが神であれば、それに従え。

バアルの預言者たちよ。私はあなたがたに挑む。どちらがまことの神であるか、真実をつぎとめようではないか。


どっちが本当の神か調べるってわけか。で、どうやって見極めるんだ？




あなたが、バアルの祭壇を作れ。私は全能の神のために祭壇を作ろう。祭壇の上にたきぎを置き、その上には、ほぶりの捧げものを供える。しかし、火はつけなくておくれだ。

あなたがたはバアルに祈り、私は全能の神に祈る。


そのとき、火をもって答える神、その方が、まことの神である。我々は、ただそのお方を礼拝するべきである。あなたがたのほうが人数が多い。先に始めていいぞ。




おおバアル、すぐれた偉大な我が神よ。




天の女王よ。バアル神を助けたまえ。




バアルよ。今こそ我らの祈りに答えたまえ。偉大なる名のもとに、このいけにえを捧げます。



もしバアルが神なのなら、きっと何かに没頭しているか、席をはずしているか、旅に出ているのだろう。




もしかすると、寝ているのかもしれないから、大声で呼んで起こしたらよかろう。



このうす汚れた布だもめ！もっとうまくやれんのか！

あきらめるのはまだ早い。我々自身を傷つけてみよう。きっとバアルもお喜びになるはずだ。



バアルの預言者達は、絶望的になりながら、バアルのもとに声が届くようにと、自らの身体を傷つけ、地面に倒れ込み、叫び声をあげながら祈り続けた。

ぎゃあ〜っ!!

うお〜っ!

バアルよ、私の血を捧げます。どうか祈りを聞きたまえ! 火を送りたまえ! 真実の神であると示したまえ!

ひいん〜!

はっはっは、なんという姿だ。答えもしない神に向かって、9時間も叫び続けるとは。もしバアルがまことの神であるならば、彼はこの機会を逃さずにそのことを証明したであろうに。

さあ、今度は私の番だ。近づいて、私のすることを見ろのだ。

バアルよ、なぜ答えてくださらないのか。



なぜ、あんな深い穴を掘っているんだ？

暗くなるまで時間稼ぎしているだけだろうよ。

いつ祈り始めるんだ？穴掘りの勝負ではないんだぞ。

四つのかめに水を満たし、この全焼のいけにえと、このたきぎの上に注げ。

水だと？濡れてしまつては火はつかぬぞ。



気でも狂つたのか。日暮れまでもたないな。

まだ完全にぬれていない。あと4杯分の水を注ぎなさい。

血迷つたか。王はよく勝負を引き受けたものだ。



はっはっは。生ける神にとって、不可能なことなどありえようか。さらに4杯分の水を注ぎなさい。あなたがたはイスラエルの神を知るようになるだろう。そしてその名は、バアルではない、ということ。

王の怒りは相当なものになるだろう。



さがりなさい。

もっと。

後ろにさがっているのだぞ。



アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。あなたがイスラエルにおいて神であり、私があなたのしもべであること、そしてこの民が、あなたこそ、主よ、神であり、あなたが彼らの心を翻してくださることを知るようにしてください。



ゴォー！

うわああ

パキツ

ひいー！



アブラハムの神よ!

焼けてしま
いそうだ!

天から
の火だ!

助けてく
れー!



アブラハム、イサ
クの神は火をもっ
て証明されたのだ。

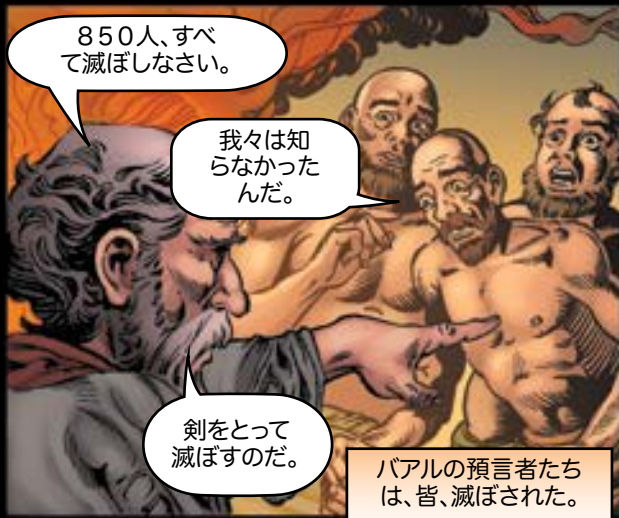
岩や土ま
でも焼き尽く
している。

形のない神が
なぜ、この様なこ
とができるんだ?



モーセは我々に、
全能の神こそが唯一の神
であり、ただそのお方だ
けを礼拝せよ、と命じている。
イスラエルの子孫たちが、
他の神々を礼拝すれば、その
者たちは死をもって罰せら
れる、と言われたのだ。

許してくれー!
どうか情けを!



850人、すべて滅ぼしなさい。

我々は知らなかったんだ。

剣をとって滅ぼすのだ。

バアルの預言者たちは、皆、滅ぼされた。



王よ、あなたは食事をされたなら、すぐに家路を急がれよ。豪雨になりますぞ。



3年半ほど前、エリヤはアハブ王に、彼がそう命じるまで、イスラエルに雨は降らなくなる、と預言した。バアルの預言者たちが葬られ、民が再びまことの神を礼拝するようになったため、エリヤは雨が降るように命じた。

大雨によって川がはんらんすれば、家路を急ぐ彼らの行く手をはばむことになるため、彼らは、洪水に飲み込まれないように、大急ぎで帰路に着いた。


エリヤは、神の力を受け、宮殿までの30キロメートル以上の道のりを急ぎ、馬車の先頭を走り抜いた。




あなた、エリヤを殺してくれたのね。バアル様が雨を降らせてくださってる。

違うんだよ。エリヤは外にいる。彼は、我々の戦闘馬車の前を、カルメル山からここまで、ずっと走ってきたんだ。


ばかばかしい。どこの誰が戦闘馬車よりも早く走れると言うのよ。バアルの預言者たちはどこ？雨が降り出したお祝いの席をもうけなければ。




しかし、彼の神は火をも
って答えられたんだ。まさに
奇跡としか言いようがない。
我々の祭司達は手も足も出せ
なかった。民は皆、全能なる
神に立ち返ったのだ。




彼らはすべて
滅ぼしたよ。皆、
偽物の大嘘つきだ
ったからね。



なんですか？
あなたはなんという愚
か者なの！エリヤを殺
すべきだったのに！



私に何が出
来たと言うんだ？
怖かったんだよ。



私の祭司達
を滅ぼしただ
なんて！


あなたは愚か者よ！




あなた
は愚
か者よ！

どんな奇跡も、
エリヤをバアルの
怒りから守っては
くれないわ。

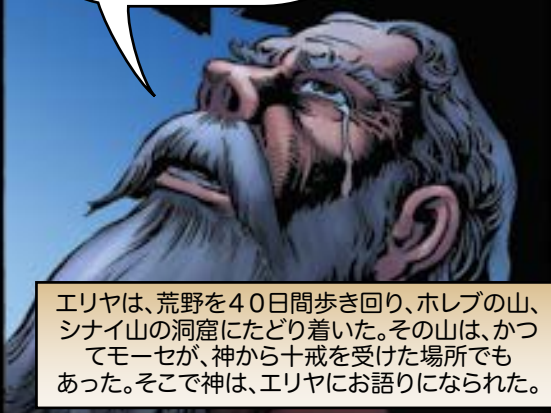
私はここ
を離れて逃げ
なければ。




エリヤは、神を信
頼する代わりに、
自分の命を守ろう
と、逃げ出した。



主よ。もう十分です。
私は全力を尽くしました。
どうか、イゼベルが私を見
つける前に、私のいのちを
取ってください。



お恥ずかしい限り
でございます。私はあ
なたを信頼せずに逃げ出し
ました。私は先祖たちにま
さらず、罪深い者です。
どうか私のいのちをお
取りください。




エリヤよ。
ここで何をし
ているのか。

イスラエ
ルの
人々はあなたの契
約を捨て、あなたの
祭壇をこわし、あな
たの預言者たちを剣
で殺しました。ただ
私だけが残りまし
た。彼らは私のい
のちを取ろうとね
らっています。

エリヤは、荒野を40日間歩き回り、ホレブの山、
シナイ山の洞窟にたどり着いた。その山は、かつ
てモーセが、神から十戒を受けた場所でも
あった。そこで神は、エリヤにお語りになられた。

外に出て、
山の上で主の
前に立て。



エリヤはその場に
立った。そのとき、
主が通り過ぎられ、
主の前で、激しい
大風が山々を裂き、
岩々を砕いた。し
かし、風の中に主
はおられなかった。

風のあとに地震が起
こったが、地震の中
にも主はおられなかった。

地震のあとに火があっ
たが、火の中にも主は
おられなかった。

神は、エリヤに、ご自身が
イゼベルよりもはるかに畏
れ多き存在であることを、
お示しになられたのである。

風が止み、地震や火が過ぎ去った後、エリヤは、かすかな細い声でお語りになられる神の声を耳にした。神はエリヤに、同じ質問をくりかえした。

エリヤよ。
ここで何を
しているのか。

エリヤはまだ学んでいなかった。彼は再び、自分の境遇を嘆きながら神に答えた。

イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。

さあ、行って、エリヤをあなたに代わる預言者とせよ。

あなたはまだ知らないかもしれないが、イスラエルには、バアルにひざをかがめず、バアルに口づけしなかった者が7千人残っている。アハブの一族はみな滅ぼされなければならない。

エリヤは、牛を引いて畑を耕しているエリヤを見つけると、油を注いで彼を預言者とした。

預言者になるように、と主が仰せられたのだ。

私は牛を主に捧げ、今すぐあなたに付いて行きましょう。

ナボテという男が、ぶどう畑を所有していた。それは、アハブ王の宮殿のそばにあった。アハブは時折、窓からそのぶどう畑を見下ろし、その美しさに魅了されていた。そして、それが自分のものであったらよいのに、と思い始めた。考えれば考えるほど、その隣人の所有物がほしくてたまらなくなっていく。神の戒めには、「隣人のものを欲してはならない」という教えがあったが、アハブは全能の神をあまり気に留めなくなっていた。



この土地は、500年も前から先祖代々受け継がれてきた所有地です。法律では、親族以外のかたへ売ることは、禁じられています。

アハブ王は裕福であったので、そのぶどう畑を買い取ることにした。

ぶどう畑を私に売ってくれ。私の宮殿のすぐそばにあるのだし、そなたにはどこか別の、もっとよいぶどう畑をあてがおう。

神がそのようなことを、お許しにならないわけがありません。



あなた、どうなさったの？お食事もされず、なぜそんなに悲しんでおられるの？

ナボテが私にぶどう畑を売ってくれないんだ。

あなたは王よ。望むものは、何でも手に入れる力をお持ちのはずでしょ。貧しい百姓にふりまわされるなんて、とんでもない。私があなたに、そのぶどう畑を手に入れてさしあげますわ。



仕事が終われば
残りは支払うわ。
何も言わず早く仕事
にかかりなさい。

モーセの十戒の中には、「あなたの隣人に対して、誤った証言をしてはならない」という教えがある。



チャリン



あそこにいる
奴だ。

そうだ、
あいつが王は
死ぬべきだと
言っていた。

ああ、奴は
神が悪魔を送り、
王に取り付かせた
と言っていたぞ。

奴は死刑だ。

彼らはナボテを連
れ出し、殺した。



ほうら、あなた、
ぶどう畑はこれであな
たのものよ。冷酷非道でな
いと、この世は渡ってい
けません。強く生き残っ
ていかなきゃね。

素晴らしいと
思わんかね！私
に似合いのぶどう
畑だ。な、そう
だろう？

イゼベルは、バアル神
に悪事は見えていない
と思っていた。しかし、
天の神はすべてをくら
んになられていた。



エリヤ、アハブに会いに
下って行け。今、彼はナボテ
のぶどう畑を取り上げようと、
そこに下って来ている。わたし
の言葉を彼に伝えるのだ。

あなたは、神から逃げ
ることは出来ないのだ。
あなたは所有物のために、
自分の魂を投げうったも
同然なのです。神は、あな
たの一族すべてに災いを
もたらされる。あなたの子
孫や縁者は、子供とい
えどもすべて打ち滅ぼ
されるのだ。



アハブよ、主はこ
う仰せられる。「あなた
はよくも人殺しをして、
罪のないものから彼の所
有地を取り上げたものだ。
犬どもがナボテの血をな
めたその場所で、同じ犬
どもがまた、あなたの
血をなめる。」

あなたはまた、
私を見つけたのか。
わが敵よ。



あなたは神の怒りをひき
おこした。あなたの家の前で、
犬がイゼベルを食らうこと
になるだろう。アハブに属する者で、
町で死ぬ者は犬どもがこれを食
らい、野で死ぬ者は空の鳥がこ
れを食らう。あなたの一族は、
誰も名誉ある葬りをされ
ないのだ。



これは主のお言
葉である。すべて
そのお言葉通り
になるのだ。

お願いだ！
全能の神のために、
全焼のいけにえを
ささげるから。

エリヤの言ったことは全て本当に起こっているぞ。

アハブは神に全焼のいけにえを捧げたが、心から神に立ち返ったわけではなかった。

しばらくして、偽の預言者たちが、アハブ王に、軍に関することを助言しにきた。

ギルアデのラモテに行き、戦うのです。神はあなたに勝利をもたらすでしょう。

預言者は皆、そう申しているのか？

アハブ王、神は私に申されました。ギルアデのラモテに行けば戦いで命を落とされるでしょう。

ミカヤの言うことに耳をお貸しになってはいけません。神の預言者は彼だけではないのです。他に400人も預言者たちは、ギルアデのラモテに行けば、大きな勝利と成功を収める、と言っているのです。

ミカヤは不吉なことばかり申すのだな。

アハブ王、あなたは神の御前で悪を働かれました。あなたは金の亡者である預言者達に助言を求めておいですが、彼らは嘘ばかり並べております。

私は、主が御座にすわり、天の万軍がその左右に立っているのを見ました。そのとき、主は仰せられました。「だれか、アハブを惑わして、攻め上らせ、ギルアデのラモテで倒させる者はいないか。」

すると、あれこれと答えがありました。それからひとりの霊が進み出て、主の前に立ち、「この私が彼を惑わします」と言いました。

私が出て行き、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります。

それはいい案だ。彼らは、その戦いで勝利を得る、と預言するが、王はその戦場でいのちを落とすのだ。出て行って、そのとおりにせよ。



主の霊が私を離れて行き、おまえに語ったというのか？

バンッ



いまに、あなたが奥の間に入って身を隠すときに、思い知るであろう。

なんだと、それも預言か？



この男を獄屋に入れ、私が無事に帰って来るまで、わずかなパンと、わずかな水をあてがっておけ。私が戦から戻ったら殺すのだ。

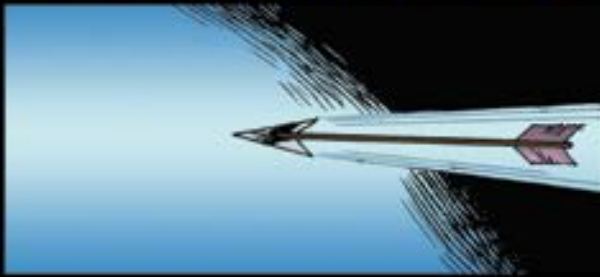
万が一、あなたが無事に生きて戻ってこられたとしたら、私は偽預言者となりますから、喜んで死の裁きを受けましょう。



一般の兵士に変装するとは良い考えですね。敵はあなたが王だとは気付きませんよ。我々の兵士達がうまくやってくれます。あなたが無事にお戻りになられた時の、あの預言者の顔を早く見てみたいものです。

まさしく、このかっちゅうを着けておれば、我に敵なしだ。

特に誰を狙ったわけでもないが、敵のひとりにあたってくれれば、と願って放たれた、とある兵士の矢が、空中を高く飛んだ。





残念
だが王は
亡くなられた。

鎧の隙間を矢
が射抜いたんだ。
亡くなる定めだ
ったのだろう。

まさか！
神様！



王の遺体は、
後できちんと埋葬
できるまで、ナボテ
のぶどう畑に安置
しておけ。

エリヤの言ったとおり、イゼベルの部屋
の窓の下で、犬がアハブの血をなめた。
彼が一族の中で最初にいのちを落とし、
他の者もその後続いていった。



馬車に残ったアハブ
の血を洗い流した兵
士は宮殿へ戻った。



王はどこです
かな？勝利を祝う
はずでしょう？

愚か者めが！お前は神の預言者ではない。ただの嘘つきだ！全能なる神の預言者であるミカヤの言った通り、アハブ王は死んだのだ。

そんなはずはない！敬虔な信者達は皆、アハブ王に勝利がある、と賛同していたのだ。

皆ではないぞ。お前が殴って牢獄へ閉じ込めたミカヤは、そう言っていなかった。民がこのことを知ったら、おまえのいのちはないものと思え。

王が死んだからには、あなたは自由の身です。

私には分かっておりました。犬が王の血をなめることは神がおっしゃったのですから。次はイゼベルの番で、王の系統は次々に死ぬことも神のお告げなのです。



逃げなくては...



まてよ、なんてこった！ミカヤは確か、私が奥の間に入って身を隠す時に、誰が神の御霊を受けているのか思い知る、と言っておった。

アハブの息子が即位した後も、イゼベルは女王として君臨し、12年の月日が流れていた。イスラエルの民は偽の神々を礼拝し、まことの神の掟に背き続けた。

12年後



神はアハブの一族に対して仰せられた。「時は満ちた。アハブの一族は、子供でさえもみな滅ばされなければならない。誰も生き残ることはない。イゼベルは犬に食われ、誰も彼女を葬らず、誰も彼女のために嘆き悲しむことはないだろう。」



エフー将軍が戦から戻ってくるから、化粧してきれいにしておかなければ。



私が支配者だということを知らせるためにも、ここに立って出迎えましょう。



誰か、私の側につくものはいないか？




將軍、我々が！

ならば、イゼベルを突き落せ！


なんてことを！私は女王よ！



きゃあー！




神の仰せられた通り、かつて犬が、自分の夫の血をなめた同じ場所で、イゼベルはいのちを落とした。そして同じように犬がやってきて、彼女の遺体を食べ、その血をなめた。



遺体はそのままにしておけ!


ガル〜ツ



しかし犬達は、悪に染まったイゼベルの両手だけは食べなかった。

預言者が言ったように、アハブの家系の子孫は誰一人残らず、町の人々によって殺された。


町で死んだ者は犬がこれを食らい、野で死んだ者は空の鳥がこれを食した。埋葬された者は誰ひとりいなかった。まさに、罪の報酬は死であった。



エリヤが祈っていると、若い預言者たちがエリヤのもとにやってきて、神の言葉を伝えた。


神は、若い預言者の幾人かに語られました。きょう、あなたの主人であるエリヤが、天に取り上げられることを知っていますか？

はい、神様は私にもそうお語りになりました。でも、何も言わずに黙っててください。




エリヤ、お前はここにいなさい。私はエリコに行くつもりだ。

神かけて、私はあなたを行かせたくありません。あなたの行く所、私も参ります。




きょう、主があなたの主人をあなたから取り上げられることを知っていますか。

私も知っているが、黙っててください。主人から目を離すわけにはいかないんだ。



エリコに留まっていなさい。ヨルダン川に行かなくてはならないのだ。

主は生きておられ、あなたのためにも生きています。私は決してあなたから離れません。



若い預言者達がまた、付いてきておる。

どうやって川を渡るかが問題ですね。今日は流れが速い。

乾いた地面を行くのだよ。



おおお〜!

見たか?水が割れて道が出来た!



ああ、まるでモーセを見ているようだ。



こんな光景を見られるとは…。

バアルの預言者達に見せてやりたかったな。



私はあなたのために何をしようか。私があなたのところから取り去られる前に、求めなさい。

では、あなたの霊の二つ分け前が私のものになりますように。

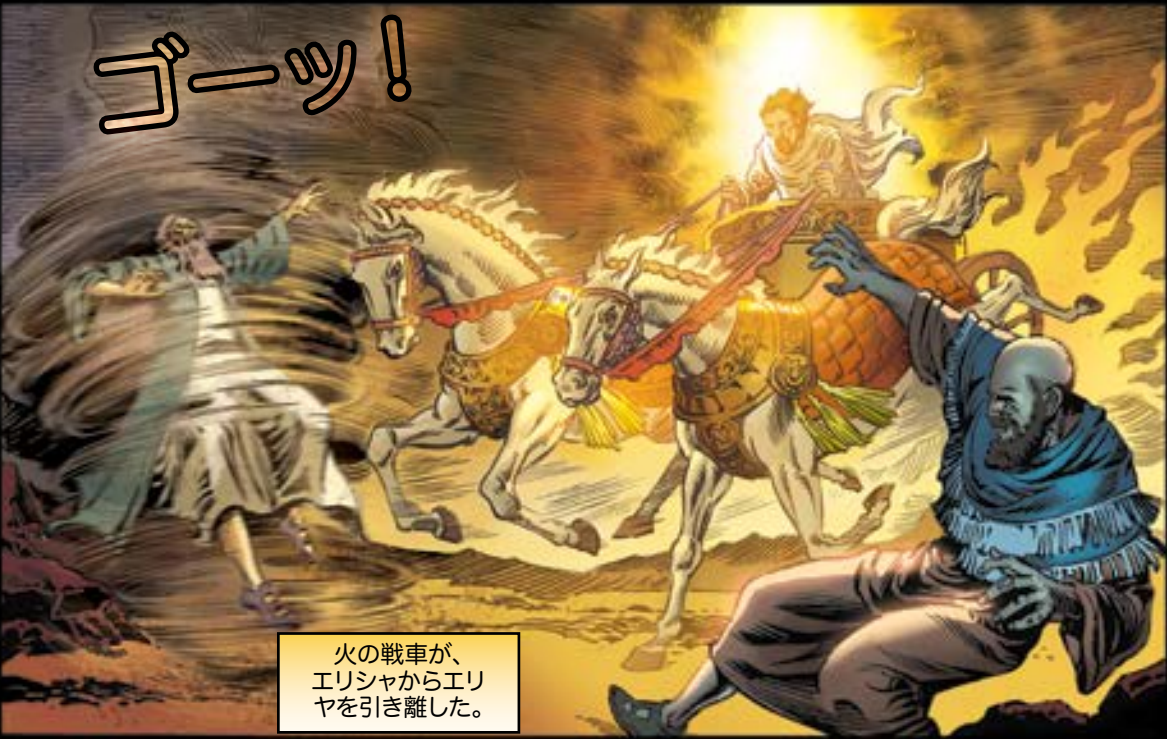
あなたはむずかしい注文をする。しかし、もし、私があなたのところから取り去られるとき、あなたが私を見ることができれば、そのことがあなたにかなえられよう。




神の戦車だ!

たつまぎだ!


ゴーツ!



火の戦車が、
エリシャからエリ
ヤを引き離した。



エリヤは、たつ
まきに乗って天
へ上って行った。



そして静けさが
戻った。エリヤは
神のご臨在の中へ
と入ったのだ。

残さ
れたものは
この外套だけだ。これ
を使ってエリヤは水を
分けられた。



エリヤの神、
主は、どこに
おられるの
ですか。



エリヤの霊
がエリシャの
上にとどまっ
ている。

パシヤ!

なんという日だ!



エリシャは出て行って、エリヤの2倍近い奇跡をなした。彼は神に忠実に従ったが、民は依然として、完全には偶像から離れられずにいた。

エリヤは
どこへ行っ
たんだ?

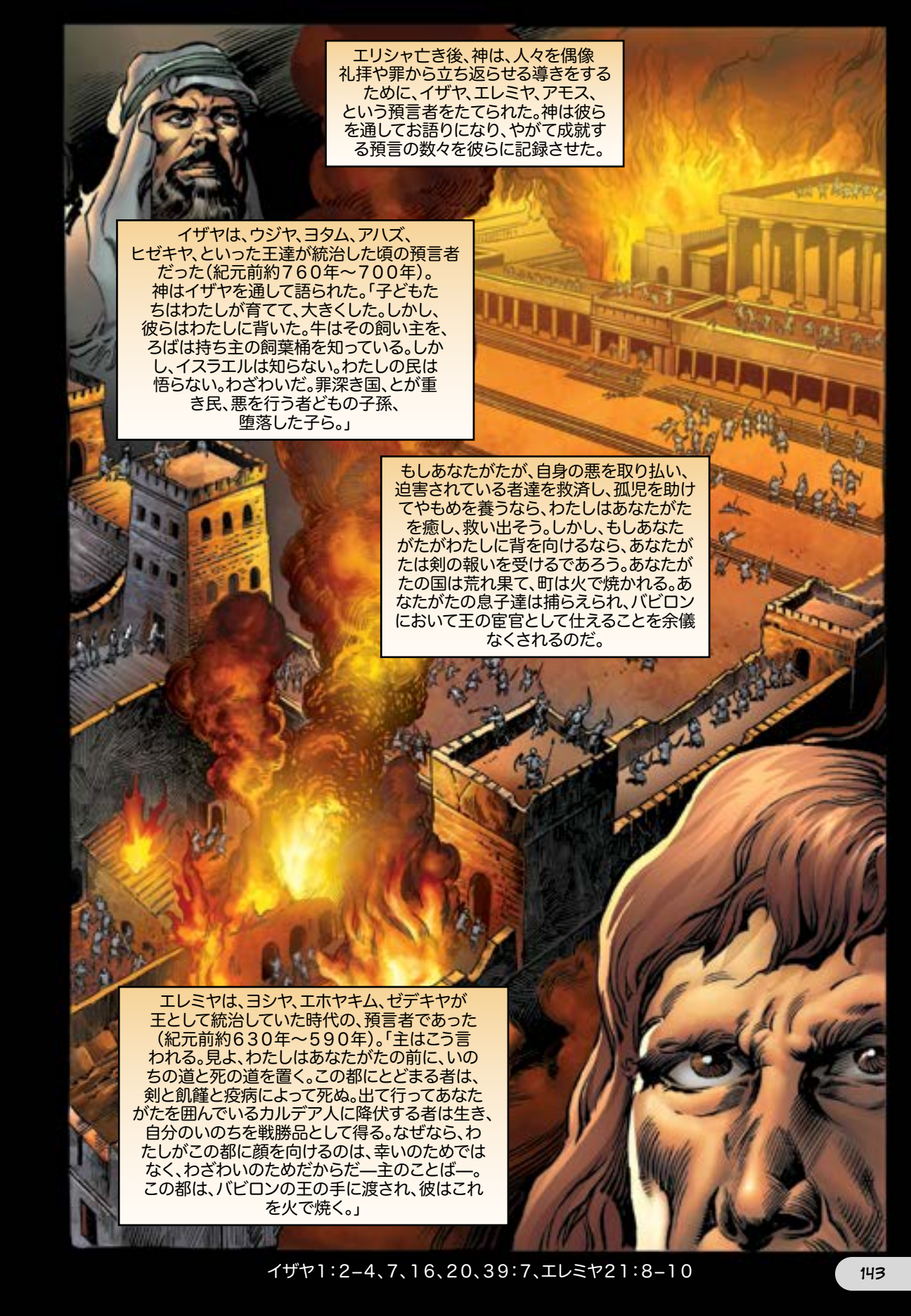
エリヤ様
を捜さ
なければ!

無駄だよ、エリヤ様は天に召されたのだから。



第7章

キリストに
関する預言




エリシャ亡き後、神は、人々を偶像
礼拝や罪から立ち返らせる導きをする
ために、イザヤ、エレミヤ、アモス、
という預言者をたてられた。神は彼ら
を通してお語りになり、やがて成就す
る預言の数々を彼らに記録させた。

イザヤは、ウジヤ、ヨタム、アハズ、
ヒゼキヤ、といった王達が統治した頃の預言者
だった(紀元前約760年~700年)。
神はイザヤを通して語られた。「子どもた
ちはわたしが育てて、大きくした。しかし、
彼らはわたしに背いた。牛はその飼い主を、
ろばは持ち主の飼葉桶を知っている。しか
し、イスラエルは知らない。わたしの民は
悟らない。わざわいた。罪深き国、とが重
き民、悪を行う者どもの子孫、
墮落した子ら。」

もしあなたがたが、自身の悪を取り払い、
迫害されている者達を救済し、孤児を助け
てやもめを養うなら、わたしはあなたがた
を癒し、救い出そう。しかし、もしあなた
がたがわたしに背を向けるなら、あなたが
たは剣の報いを受けるであろう。あなたが
たの国は荒れ果て、町は火で焼かれる。あ
なたがたの息子達は捕らえられ、バビロン
において王の宦官として仕えることを余儀
なくされるのだ。

エレミヤは、ヨシヤ、エホヤキム、ゼデキヤが
王として統治していた時代の、預言者であった
(紀元前約630年~590年)。「主はこう言
われる。見よ、わたしはあなたがたの前に、いの
ちの道と死の道を置く。この都にとどまる者は、
剣と飢饉と疫病によって死ぬ。出て行ってあなた
がたを囲んでいるカルデア人に降伏する者は生き、
自分のいのちを戦勝品として得る。なぜなら、わ
たしがこの都に顔を向けるのは、幸いのためでは
なく、わざわいのためだからだ—主のことば—。
この都は、バビロンの王の手に渡され、彼はこれ
を火で焼く。」



神は、エレミヤを通して仰せられた。
「わたし自身が、伸ばされた手と力強い
腕をもって、怒り、憤り、大いなる激怒をもって、あな
たがたと戦う。この都に

住むものは、人も家畜もわたしは打つ。
彼らは激しい疫病で死ぬ。その後で一主
のことは—わたしはユダの王ゼデキヤと
その家来、また、その民と、この都で疫
病や剣やきざんから逃れて生き残った者
たちを、バビロンの王ネブカドネツアル
の手、敵の手、いのちを狙う者たちの手
に渡す。彼は彼らを剣の刃で討ち、彼ら
を惜しまず容赦せず、あわれみをかけな
い。」

この都はバビロンの王の手に渡され、
火で焼き払われる
彼は彼らを囚人としてバビロンに連れ去
り、また剣にかけて殺す
バビロンに行って死に、そこで
葬られる。



アモスは、ウジヤとヤロブアム二世が統治していた頃の預言者である(紀元前約765年~750年)。神はアモスに仰せられた。「あなたがたの女達は、自分の主人に水を飲ませてくれとせがむ牛のようだ。あなたがたは、もうこれ以上夫を牛耳ることはできない。あなたがたは捕らえられ、バビロンの地において奴隷となる。」

あなたがたは、高価な寝台に横たわり、脂肪のしたたる高級食材を堪能し、多量のワインを飲みながら音楽に酔いしれている。そして、正義をないがしろにし、貧しい者を踏みじり、さらには賄賂を受け取って、恵まれない者達を押し除けている。それゆえ、あなたがたがぶどう畑を作っても、その実からできるワインは敵のものとなる。あなたがたの軍隊は破壊され、人々は皆、よその国の奴隷として連れ去られるであろう。



神は仰せられた。「わたしはベテルの祭壇を打ち壊し、冬の家も夏の家も破壊する。あなたがたは、貧しい者を虐げ、賄賂を受け取り、助けを必要としている者を破滅させてきた。わたしは雨を降らせず、飢饉と疫病をもたらしたが、あなたがたはそれでも悔い改めなかった。あなたがたはぶどう畑を作ったが、ワインを飲むことはもはやできないのである。」

お母さん、
お腹すいた。

紀元前753年

ホセアは、ウジヤ、ヒゼキヤ、ヨタム、アハズが王として統治していた頃の預言者である(紀元前約785年~725年)。彼はこう預言した。「彼らは剣に倒され、幼子たちは八つ裂きにされ、妊婦たちは切り裂かれる。」

「わたしは彼らの背信を癒し、喜びをもって彼らを愛する。わたしの怒りが彼らから離れ去ったからだ。わたしはイスラエルにとって露ようになる。彼はゆりのように咲き、レバノン杉のように根を張る。」

しかしバビロンの後、民は四方に散らされ、そこで迫害されるであろう。土地や財産も奪われ、心休まる場所を見つけることができなくなる。

何もかも奪われてしまったわ。なぜ私達がこんな目に？

お母さん、これからどこに住むの？


ユダヤ人はすべて、三日の内に国外退去だと？

これは、いい値で売れるぞ。金をもたらしてくれるユダヤ人を行かせるのは、まことに惜しい。


この書類によると、ユダヤ人は全て国外追放され財産も残して行くらしい。

この牛ずっと欲しかったんだ。

神のことばを拒んだイスラエルの民は、それゆえ、国々へ散らされていった。父祖の地へと神が彼らを連れ戻されるまで、彼らが安らぎを得ることはなかった。




「この地はすべて廃墟となり荒れ果てて、これらの国々はバビロンの王に七十年仕える。七十年の終わりに、わたしはバビロンの王とその民を一主のことは—またカルデア人の地を、彼らの咎のゆえに罰し、これを永遠に荒れ果てた地とする。」




それゆえ、シオンは、あなたがたのために、畑のように耕され、エルサレムは廃墟となり、この宮の山は森の丘となる。

この預言は成就した。敵の手によってエルサレムは荒廃した。しかし、終わりの時に、神殿は再建され、人々は集められる。

紀元前750年から686年頃に生きた予言者ミカは、こう予言している。




多くの異邦の民が来て言う。「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてください。私たちはその道を歩もう。」それは、シオンからおしえが出、エルサレムから主のことが出るからだ。



主は多くの国々の民の間をさばき、遠く離れた強い国々に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。彼らはみな、おのおの自分のぶどうの木の下や、いちじくの木の下にすわり、彼らを脅かす者はいない。まことに、万軍の主の御口が告げられる。

まことに、すべての国々の民は、おのおの自分の神の名によって歩む。しかし、私たちは、世々限りなく、私たちの神、主の御名によって歩もう。その日、一主の御告げ。—わたしは足のなえた者を集め、追いやられた者、また、わたしが苦しめた者を寄せ集める。わたしは足なえを、残りの者とし、遠くへ移された者を、強い国民とする。主はシオンの山で、今よりとこしえまで、彼らの王となる。



エレミヤは預言した。

ゼデキヤ王は、主の御前に悪を行ったが、命を落とすことはない。彼はバビロンへ捕われ、自身の民と共に住む。だが、彼はバビロンを見ることができない。彼の視力は奪われる。彼はバビロンにおいて70年の間、捕われの身となるのだ。

70年の終わりが近づいた頃、バビロンは北方からの敵に征服され、イスラエルの残存者達は、町と神殿の再建の為に戻ってくるであろう。


裁きの後、神は彼らの罪を赦し、エルサレムの至る所に多くの民を住まわせる。

バビロンに行く時、この巻物を携えていき、民に読んで聞かせなさい。この地に再び戻る日まで、彼らは耐え忍ばなければならないのだ。

わたしはダビデの王座を再建し、あなたがたは、その地を所有するようになる。

エゼキエルは預言した。「イスラエルの民は多くの国々に散らされるが、神はやがて、彼らをこの地に連れ戻される。」

「神は、アブラハムにかつて約束された。彼の子孫がこの地を永遠に受け継いでいくことを。神は約束を守るおかたである。しかし、民が罪に深く陥るのなら、神は彼らを国々に散らされ、見知らぬ神々に仕えることをあえてお赦しになるのだ。だが、終わりの時に、神は彼らを再び連れ戻されるであろう。」




エジプトもまた、バビロンを通して裁きを受ける。そして40年の間、荒廃が続く。彼らがバビロンの地から戻ってこようとも、エジプトのかつての栄華は失われている。しかし終わりの時まで残るだろう。その後、エジプトとアッシリヤは、我が民イスラエルと平和を結び、私は彼らを祝福する。

ペリシテ人は破壊され、いなくなる。アシュドデ、エクロン、そしてアンモンも同様に、またエドムも荒れ果てる。ツロも崩壊し、全ての石材や木材も海に投げ捨てられる。町が再建されることもなく、その地は岩肌ようになり、ただ漁師が網を広げるだけの場所となるのだ。

しかし、ペルシャ(イラン)、トルコ、エチオピア、リビアは終わりの時まで存続する。彼らはイスラエルへの侵略を試みるが、彼らは山々で命を落とす。


聖書には多くの預言が記されているが、それらは常に成就している。荒廃するであろう、と言われた国家はその預言通りに消滅し、終わりの時まで存続する、と言われた国家は、今日私達が目に見ているのだ。



紀元前605年、イスラエルはバビロンに征服された。まさに預言の通りである。


5000人を超えるユダヤ人たちが捕虜としてバビロンへ連行された。若くて有能な者を選抜し、王国に仕えさせるために。その中に、ダニエルという男がいた。彼は、アブラハムの神に仕え、その掟を忠実に守っていた。

ああ神様、私達は父祖の罪の故に罰を受けています。見知らぬ土地においても、あなたの教えに従うことが出来ますように。どうか助けてください。



ダニエルは捕虜として異国に連れて来られたが、彼は神に対して忠実でいようと心に誓っていた。彼を捕らえた者は、ダニエルが素晴らしい気質を持っているのに注目して、彼をバビロンの賢者の一員として特別な地位に置いた。

天と地、そして全宇宙の全知全能なる主よ、大地の恵みを与えてくださり感謝いたします。



バビロンのネブカドネツアル王は、不思議な夢に起こされた。

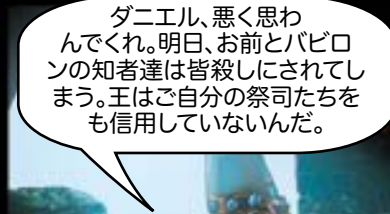
なんという夢なのだ。このような夢を見るとは、神々が未来をお示しになられたに違いない。

お前達には知恵がある。神がお前達に何かを語るというのなら、この私が見た夢が何であるか、そして、その夢が意味することは何か答えよ。

しかし、王がどのような夢をご覧になられたか、私共には分かりません。ゆえに、その夢の意味を答えると申されましても、神々以外に誰が答えられましょう？



ペテン師どもめが！
神々がお前達に語るんじゃない
なかったのか！おまえたちの
家族もろとも処罰してくれ
よう。おまえたちの家はゴ
ミ溜めとなるのだ！



ダニエル、悪く思わ
んでくれ。明日、お前とバビロ
ンの知者達は皆殺しにされてし
まう。王はご自分の祭司たちを
も信用していないんだ。



でも全能なる神様なら、
王の夢の解き明かしもおでき
になります。どうか一人で祈
らせてください。そして、あ
と一日待ってくださるよう、
王にお伝えください。



主よ、あなたこ
そ神であられ、全宇
宙をご支配しておら
れます。どうか、あ
なたのしもべにお示
し下さい。あなた以
外に神は存在い
たしません。

ダニエルよ、
聞きなさい。



早く！私を
王の元へ！


王の夢を話すこと
も解き明かすこともでき
なければ、王はあなたを、
その場で処刑される
のですよ。



王の王であ
られる王様。天の
神があなたに現在
の地位をお与えにな
られました。そして、
その神であられるおか
たが、これから起ころ
うとしていることをあ
なたに知らせるため
に幻をお示しにな
られたのです。


早く先を続ける！
夢を解明出来るのか、
出来ぬのか！

全宇宙の創造
主なる真実の神が、
あなたのしもべにあな
たの夢の解き明かし
を示されました。




王様。あなたは一つの大きな像をご覧になりました。大きな像はあなたの王国と、その後続く三つの国を示しています。


そうだ! その通りだ! 私は誰にも話しておらぬのに、お前の神は真実の神に違いない。




あなたはその像の金の頭の部分です。あなたがユダを征服する前、我が国の預言者たちは、神が、私達をその罪の故に罰せられる、と語りました。そしてまさに、神は私達をあなたの手に明け渡されたのです。あなたの王国は堅固なものとなるでしょう。




胸の部分の銀は別の国、メディアとペルシヤを示しています。あなたの亡き後、彼らがバビロンを征服し、あなたがそうしたように彼らが世を統治するでしょう。




金の頭部、銀の胸、そしてあなたは腹の青銅をご覧になられました。その青銅は第三の国、ギリシヤを示しています。その国はペルシヤの後に続き、早さと強さを兼ね備えた国となるでしょう。



四番目は、他の国々とは少し異なっております。足は鉄で出来ており、その鉄の足で踏みつけられると多くの国は粉々に碎けるでしょう。しかし、王は夢の中で、そのつま先が鉄と粘土で出来ていたことを、ご覧になったはずで。ついには、国は分裂し弱まっていくでしょう。




そして、王よ、あなたは山から石が切り出されたのをご覧になられたはずですが。しかし、その石は人の手によって切り出されたのではなく、山から転がり落ちてきて、その像の足にぶつかり一瞬の内に、それぞれの国を表わす像が砕かれましたね？




その石は、神の御子を示しています。御子は、栄光に満ちた神の王国を建て上げるために来られるのです。


終わりのとき、死んだ者も目覚め、全ての人が裁きを受けます。悪の人々は永遠に恥とそしりを受ける場所へ移され、善の人々は永遠の命を受け取るのです。




そなたの話したことは、まちがいでなく神の言葉だ。そうでなければ、どのようにして私の夢を細かく解き明かすことができようか。私はあなたを、知者たちをつかさどる長官としよう。



ダニエルは、68年間バビロンにとどまって生きた。彼は、多くの夢を解き明かし、この先起こりえる事柄を世に伝えた。時が経ち、ネブカドネツアル王が亡くなると、息子のベルシャツアルが王位を引き継いだ。



ある夜、ベルシャツアル王は大宴会を催した。すると突然、人間の手の指が現れ、王の宮殿の壁に何かを書き記した。ダニエルが呼ばれて、その解き明かしを求められた。神は、この見知らぬ言葉の意味をダニエルに示された。



王様、あなたは神に対して罪を犯しました。よって、今夜、あなたの王国はメディヤとベルシヤの手に渡ります。

かつての預言では、町に入り込む水門から敵が侵入し、バビロンは征服される、と言われていた。バビロンの人々は泥酔していて侵略に気がつかない。歴史書に記されているバビロン崩壊の経緯にも、同じような記述がなされている。

メディヤとペルシャがバビロンを征服した後、ダニエルは、聖書の箇所にもなっている。預言者エレミヤが記した古い書物を発見した。その書物を読み進める中で、バビロンに服従するのは70年だけである、という預言があらかじめ記されたことに気がつき、愕然とした。



その後、散らされていた者達がエルサレムに戻り、城壁と神殿を再建する、とも記されていた。さらに読み進めると、200年前に預言者イザヤが、彼らにエルサレムへ戻るよう命令を下す、ペルシャ王の名前も預言していたことを知った。

もう69年が過ぎた。あと残すは1年だ。書物によると、神のみこころを行うしもべとして、キュロス王が用いられるようだ。彼は、私達に故郷へ帰るよう、命じられるのだ！全宇宙をつかさどる主なる神よ、あなたの御名がほめたたえられますように。

バビロンがユダヤ人を拘束してから70年後、預言の書に書いてあった通りに、5万2千人のユダヤ人はキュロス王の命により町を再建する為に故郷へと戻された。

かつてアブラハムに約束されたように、神は我々にこの地をお与え下さった。神は、我々がもし他の偽りの神を拝むなら、我らを敵の手に渡す、と警告された。しかし同時に、我らのことを決して忘れない、とお約束になった。神は約束をお守りになるおかた。故郷に帰った今、神に従おうではないか。

きちんと計画を立てて進めよう。まず城壁を再建して、そして神殿にとりかかるのだ。

アブラハムの主なる神様、あなたは約束通りに私達を連れ戻してくださいました。あなたのみこころの道を歩むことが出来ますように。助けてください。

水を運んできたぞ。さあ、仕事に取り掛かるうじゃないか。

ダニエルは非常に年老いていたため、他の者達のようにエルサレムへ帰ることはしなかった。バビロンの都市部にある、メディアとペルシャの中で、彼は王の相談役として重要な任務についていたのである。神は、もういくつかの預言、すなわち終わりの時についての揭示を、彼にお示しになった。示された夢の中で、ダニエルは青銅のようなものでできた大きな獣の存在を目にした。そして天使が現れ、その解き明かしをした。



神は、終わりの時についてお示し下さっています。ネブカドネツァル王に神が示されたように、やがて4つの王国が建てられます。今はまだ2国のみですが、メディアとペルシャの後、早急にギリシャが建てられますが、すみやかに終わりを迎え、4つの国に分裂するのです。彼らは互いに戦い、それは2国になるまで続けられるでしょう。彼らはくりかえし戦争をし、やがて第4の国に征服されます。この獣は、第4国を象徴しているのです。

第4の国は、他の国より力があり強靱で、すべてを征服するが、終わりの時には10の国に分裂します。そして、ひとりの人が現れ、平和を唱えるでしょう。彼は、獣の頭部に生えてくる最後の角として例えられています。終わりの時に、彼はもっともらしいことを豪語し、平和を約束しますが、彼の目的は破壊と征服です。彼は、ユダヤ人の神殿の聖所を冒瀆し、汚します。聖なるほふりの捧げものを出来ないようにするためです。そして、地上に大かん難が訪れます。しかし、義なる人は救われます。

ダニエル、神様は、この先いつ何が起こるのかあなたに知っ
ていてほしい、とお思いです。神殿を建て直せ、との命令がくだ
されてから、483年後に、人々の罪のあがないとして救い主が
命を捧げます。そしてその後、神殿は再び破壊されるでしょう。

この預言は必ず成就し、救い主は聖別されます。この時、罪が赦され、
和解もたらされます。そして、人は永遠の義へと招かれるのです。

ダニエルが記した通り、救い主は、ちょうど483年後のその
日に、目的を持ってエルサレムに勝利の入城をはたされました。



神は、かつてアダムとエバにこう仰せられた。女の子孫が、
やがて悪に打ち勝つ、と。また、神はかつてノアにこう言われた。
救い主は、ヤフェテやハムではなく、セムの家系から生まれる、と。
また神はかつてアブラハムにこうお語りになられた。彼の息子、
イサクを通して、その子孫から救い主が生まれでる、と。また神
はイサクにこうお話しになられた。息子であるヤコブの家系から約
束の御子がお生まれになる、と。また神はヤコブにこうお伝えに
なられた。キリストはユダの家系から生まれる、と。

約束されたあがないの主に関する多くの預言が、神から預言者達に
与えられた。彼らは皆、救い主のご臨在は永遠に続く、と語っ
ている。主は、ユダのベツレヘムにおいて処女から生まれ、へり
くだり、高慢にならず、ロバに乗っている。主には神の霊が宿っ
ており、異邦人達にとっての光となるであろう。そして、地上に住
む全ての人たちに救いをもたらすのだ。主は苦難の人であられ、
人から裏切られ、拒絶され、手足に釘を打たれて命を落とされる。
服もともに着ていない状態で十字架にかけられ、喉が渇いても
酸い葡萄酒を飲まされるのみである。盗人とともに十字架にかけ
られ、金持ちの所有する墓に葬られる。

4つの国に関するダニエルの預言は全て正確に成就した。

紀元前330年、ギリシャのアレクサンドロス大王は、7年にも及ぶ戦闘を開始し、その戦いによってメディア、ペルシャを含む国々を征服した。ギリシャは、紀元前約167年頃までその勢力を発揮していたが、第4の国、ローマ帝国によって征服されていった。

ローマ帝国は、ネブカドネツアル王の夢で、鉄の足に例えられていた。また、ダニエルの預言では、青銅のような獣として例えられ、預言の通り、その勢力を強めていった。そして紀元前5年頃には、鉄の手をもってイスラエルを統治した。



500年後

ダニエルの預言から500年以上が経過した。時は紀元前6年、ローマ帝国がユダヤ人に宗教の自由を許し、一方で重税を課した時、ユダヤ人の生活の中心地に神殿が建て直された。来るべき救世主についての預言も、人々にほとんど忘れ去られていた中で、わずかながらも神の教えに従い、キリストの到来について模索していた者もいた。その中にシメオンと呼ばれた年老いた男がいた。彼はとても清らかな男で、預言者達の言う救世主に、会いたいと切望していた。

長年、彼は預言の書を読んでいたので、来るべき日は近いと知っていた。

しかし彼は年老いていて、そう永くは生きられないと思っていた。神が、エバに彼女の子孫が邪悪な者を打ち負かす救世主となると約束された時から4000年という年月が流れていた。

時は来たれり、350を超える預言が現実となろうとしていた。

第8章

新しい契約

アブラハム、イサクそしてヤコブの神よ、私は救世主の到来を、長年待ち続けましたが、私の寿命はもう長くありません。

いかにも、お前の命は長くない。しかし、死ぬ前に救世主と会うことが出来るだろう。

ミカ書5:2では、御子の出現は永遠の昔からあったとあります。詩篇45:6では、神は御子を神と呼びますが…

あなたの言うことも一理あるでしょうが、そんなことを公衆の面前で言うものではありませんよ。石を投げられ死ぬはめになりますぞ。

その内、わかるでしょう。私が死ぬ前には必ずや、救世主はこの神殿に来られ、お目にかかれるのです。

あなた方の会話を耳にして、いてもたっても居られなくなりました。私も聖書を勉強しました。500年前にダニエルは、救世主の到来について不思議なことを言っております。

律法学者でもないのに、なぜそんなことが分るのだ？

シメオン、あなたは毎日のように、ここに足を運んで来られる。司祭者達がみんな、あなたのように熱心だといいますが…

イザヤのキリストに関するこの預言のことですが、あなたのお考えは？この預言によると、処女が身ごもり男の子を産むと書いてある。エバの子孫に違いないと思わぬか？

その通りです。イザヤは、その方は全能の神と呼ばれるとも書き記しています。しかし、預言の多くは理解に苦しみます。

彼の言う通りですよ。

そちらは、どなたかな。何ゆえにそんなことが分るのだ？

父が律法学者でした。父は予言の書を見せてくれたのです。神はダニエルに、この様に告げました。エルサレムを建て直すように命じられてから、救世主が亡くなられるまで483年だとおっしゃった。

命が出てから、すでに449年です。ということは救世主はすでに存在しているのでは？

いや、未だだ。神の聖なる御霊が私に伝えられたことは、私が死ぬまでに、この神殿のこの場で赤ん坊の救世主に会えるとのことだったのです。

何故、そのようなことが…ますよ。

今にわかります。

シメオンは聖書の中から、キリストに関する預言を探し出した。

シメオンは益々年老いて、神殿で約束されたキリストを待っていた時、ザカリヤという司祭が祈りを捧げるために神殿にやって来た。彼と彼の妻は年を取っていたが子供には恵まれていなかった。

突然、一人の天使が祭壇の右に現れた。

それが本当のことだと私はどうやって知ればよいのでしょうか？ 私達は二人とも年を取り、子供などもう望めません。彼女はずっと不妊なのです。それなのに何故？

恐れなくてもよろしい。あなた方の祈りは神に届いておりますよ。あなたと妻のエリザベスは息子に恵まれるでしょう。名はヨハネとしなさい。

彼の誕生は誰からも喜ばれることでしょう。彼は救世主の到来の為に、神に従順な人々を集めます。彼は決してワインや強い酒も飲まず、神の御霊を受けエリヤの力を授かるでしょう。

私はガブリエルといい、神の御前におります。そのことを伝える為に使わされたのです。しるしが必要なら与えましょう。私の言うことが現実になるまで、あなたは口が利けなくなります。

救世主の到来が預言されてから4000年、700年前に預言者イザヤが言った。「見なさい、処女が身ごもり男児を産む。彼女はインマヌエル(神は我々と共に)と呼ばれる。」

このことを話せる日が来るのが待ち遠しいわ。

今、この家はとても静かですわ。天使に口答えすることもありませんもの。

マリアはヨセフと婚約していた。彼女は今まで誰とも親密な関係は持たなかった。モーセの律法に従順に従っていたのだ。

突然、天使がマリアの前に現れた。

マリア、あなたは神の御心にかなった人です。あなたは身ごもり、神の息子を産むでしょう。

私は男の人とは今まで関係を持ったことなどございませぬ。何故、そのようなことが可能なのでしょうか？

私は主のはしめです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。

神の聖なる御霊があなたに降りられるのですよ。聖なる胎児が神の息子として、あなたの胎内に宿るのです。子供に恵まれなかった、あなたの従姉のエリザベスは今や、子供に恵まれました。今、6ヶ月目です。

私は神の子の母となりましょう。夫は信じてくれるかしら？理解してくれるかしら？私が赤ちゃんを身ごもっていることを知れば、皆はどう思うでしょう？エリザベスの所へ行って時を待ちましょう。

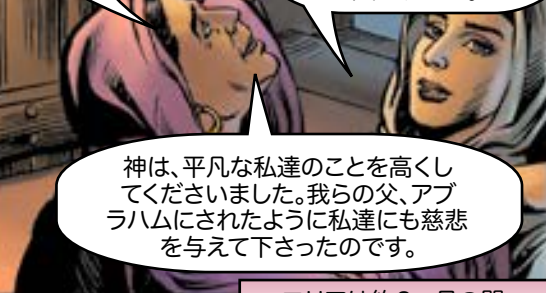


エリザベス!

まあ、マリア、私のマリア!

あなたは、どの女の人より恵まれた人よ。あなたのお腹の子も然りです。主の母が私の元に来てくださるなんて!あなたのお声を聞いた途端、私の赤ちゃんはお腹の中で歡喜に心躍っておりますよ。

私の魂は神を褒め称え、私の生命は主の誕生に喜びあふれています。救世主がお生まれになられたら私はあらゆる人から、祝福された人と呼ばれるでしょう。神のなされることは、計り知れなく偉大ですもの。



神は、平凡な私達のことを高くしてくださいました。我らの父、アブラハムにされたように私達にも慈悲を与えて下さったのです。



いよいよ、エリザベスの出産の日が来た。

ザカリヤは男の子が生まれると言っていたわ。なんでも、天使のお告げとか...

そうね、もし男の子なら父親の名をもらいザカリヤとするでしょうね。

ほら、彼が来たわ。聞いてみましょうよ。



ザカリヤは天使を疑ってしまったので口が利けなくなったそうよ。

マリアは約3ヶ月の間、エリザベスと共に過ごした。

赤ちゃんの名前はもう決めたの?

書き板が欲しいそうよ。



彼が言うには、天使のお告げ通りヨハネと名付けるそうよ。

でも、彼の家系にはヨハネなんて名前はいないわよ。

ほんとに男の子だったわ。髪の毛フサフサした子よ。

主のおっしゃった様に、彼の名はヨハネとしよう。彼はイスラエルの民に救世主の到来を教えてくれるだろう。



あなた話せるようになったのね!

この何ヶ月かで初めてのことよ。預言者エリヤの力はこのことなのね。

一方では、ヨセフがマリアの懐妊に気づき彼の子供ではないことを知った。

ああ、ヨセフ、一体どうするつもり？

彼女とは結婚できないが、かと言って大騒ぎされたくもない。彼女は不貞行為を働いたとして死ぬ羽目になるだろう。この婚約はすみやかに解消したほうが良いのかもしれない。

母さん、未だ信じられない。彼女に近づいた男などいなかったはずなんだ。片時も家族と離れていたことはなかったし、私自身、関係を持ったことはないんだ。しかし、事実、彼女は妊娠している。

父親は誰だと言ってるの？

彼女はお腹の中の子の父は神だと言うんだ。肉体的な接触なしで聖霊が彼女のお腹に降りてきたと言っているんだ。

その夜、ヨセフが眠っていた時、天使が彼の元を訪れた。

なんてこと！マリアは気でも狂ったの？

彼女が言うには、その子供は神の子として世界を救う救世主となるらしい。

女がそんなことを言うなんてとんでもないことだ。とにかく、マリアは早急かつ密かに遠くへやろう。

正にこれがイザヤの預言、「処女が身ごもりインマヌエルと呼ばれる男児を生む。インマヌエルとは神は我らと共に・・・と言う意味なり」この預言が成就するのです。

ダビデの子孫、ヨセフよ、恐れずにマリアを妻としなさい。彼女がこれから産むことになる子供は聖霊によって彼女の胎内に入ったのです。彼女は男の子を産みます。あなたは、その子をイエスと名付けなさい。その子こそが人々を罪から救うことになるのです。

赤ん坊はどんな子なんだろう？ゆくゆくは神となれるんだ。生まれてすぐに喋りだすんだろうか？生まれながらにして読み方も知っているんだろうか？

まあ、ヨセフったら！私達に分かる訳ないわ。神様にお任せして楽しみに待ちましょう。

マリア、お前を疑ってしまったことを、どうか許して欲しい。

わかっております。これは、とても素晴らしい想像も出来ないことでももの。イスラエルで、いいえ、イスラエルどころか世界中の女の人の中から、神は私を選ばれ、世界を救う救世主を授けて下さるのですもの。

私達は二人ともダビデの血統に当たる。預言者は、救世主はダビデの子孫から誕生すると語った。

それと、エデンの園で神は、女の子孫が蛇の子孫を痛めつけると約束されたけど・・・今、分ったわ！この赤ん坊は男の子孫ではなく、女の子孫なんだわ。何ということ！神は世界を創造された時から計画なさっていたんだわ。

ヨセフとマリアは、ガリラヤのナザレという所に住んでいたが、古くからの預言に、救世主はユダヤのベツレヘムで生まれるだろうと記されていた（ミカ5：2）。やがて、マリアは出産時期を迎えるのだが、預言にある町ではなく違った町で出産を迎えようとしていた。彼らは預言の内容を知らなかっただけでなく、ベツレヘムの様な遠い所で出産するなどと考えもしなかったのだ。

そなた達、よく聞くがよい。皇帝が調印した、ローマ帝国からの公式文書だ。この度、国勢調査が行われることになり徴税登録のため、イスラエルの民は出身地へ戻るようにとのことだ。

ヨセフ、ベツレヘムへ戻らなくては。赤ちゃんが生まれる時には、あなたはいいのね。

私が遠くに離れていたら、この子のことはどうするんだ。お前も連れて行くよ。

150キロメートルぐらいの長旅であった。

マリア、こんな旅にお前を連れてくるなんて…。戻ったほうが良いかもしれないな。

そろそろ出産が近づいたようだよ。あなた、出来るだけ急いでくださいな。

いやよ。赤ちゃんが生まれる時には、あなたに傍にいてもらいたいよ。他の誰が理解してくれるの？

宿に部屋があるか聞いてこよう。

マリア、産婆を見つけたよ。

宿に部屋はなかったのですか？

初めのお産なのに、よく頑張りましたね。でも、こんな馬小屋で生まれるなんて、なんて可哀想な赤ちゃん。

そんなことは、おかまいなく。この子はいつの日か世界を救ってくれるんですよ。

どれも満室なんです。

まあ、何たって私にとって普通の赤ちゃんにしか見えないがな。

な、なんだ？

天使だ！なんと
いう数の天使だ！

恐れなくてもよろしい。私は神から地上に使わされました。すべての人々にとって喜ばしい知らせを持ってきたのです。今日、ダビデの町で主であられるユダヤの救世主がお生まれになりました。

いと高き所で、栄光が神にあるように。地の
上で、平和がみこころを
かなう人々にあるように。

その赤ん坊は、みすぼらしい布に包まれ家畜の餌箱に寝かされています。その方こそが救世主であられます。

信じられるか？
天使が我々の前に
現れたなんて。

妻にも知らせ
てこよう。

神のお使いは、イスラエルに救世主がお生まれになったと言われたぞ。


救世主よ！人類に平和をお与えください！お生まれになった赤ん坊に会いに行こう！

すぐに確かめに行きたいものだ。

邪魔をしてすまないね。実は天使が我々に、ここに来るよう教えてくれたのです。

救世主！

神が赤ん坊の姿でお出ましになられるとは予想できませんでした。



マリアとヨセフが新生児を
司祭に会わせ、律法により
いけにえを捧げる時が来た。

ヨセフ、この子にとって神
殿に来るのは初めてね。こ
こにはイエスが救世主だと
知る人は誰もいないわ。

誰にも言わなくて
も、その内に分る
ようになるさ。

この子だ！長い間、
お待ちしておいま
したよ。

シメオンが神殿にいた。

マリア、この
方は！

存じません。この
町の人は私達を知ら
ないはずよ。

実に喜ばしい！おお、主よ。我らの
神よ。神よ、あなたがおっしゃった
通り、私は救世主にお会いすること
が出来ました。もう思い残すことな
く死ねます。イスラエルの人々
にとってはもちろんだが、異邦人
に対しては偉大な救世主となって
導き下さるでしょう。

なぜ、あなた
はご存知なの
ですか？

いいですか、この
子によってイスラエ
ルの民は目覚め、あ
るいは逆に信仰心
を無くし滅亡してゆく
者も出てくること
でしょう。

この子と敵対する者
も出てきて、彼の身
に起こる様々な出来
事を見聞きし、あな
たの心は打ち碎かれ
ることでしょう。

ごらん、救世主様じゃ。
預言者達の言った通りに、
救世主様はこの神殿に
いらっしゃったのじゃ。

若いお方よ、この子は
世界を救うキリスト様
じゃ。イスラエルを罪
から救って下さる有り
難いお方じゃよ。

彼女はアンナです。
彼女は、人生を救世
主を待つことに捧げ
た人です。

アンナはこうしてイエスが、
人々にとって救世主である
ことを語って聞かせた。

イスラエルの東の国々に、古代の文書を研究し神について模索していた賢者達があった。彼らは預言者の言った救世主の到来について習知していた。夢と幻影を通し、神は彼らに約束された子の誕生を明らかにされていたのだ。そして、彼らは夜空に輝く珍しい星に導かれるようにイスラエルの国を目指していた。



遠くまで来たものだ。私達が向かう国は見知らぬ国だ。もう何週間も旅をしてきた。

あの星は動いています。導かれるままに行きましょう。

ローマ帝国の占領下にあったので、イスラエルには、その時点で王はいなかったのだが、ローマはユダヤの王としてエルサレムを統治するようヘロデを指名した。賢者達は、生まれたばかりの救世主について聞くためにヘロデ王に謁見を求めた。

赤ん坊の王に会いに来られたとのことだが？ どの国でその赤ん坊を探しておられるのだ？

東で、彼の居所を示す星を見つけ、彼に礼拝しようとここまで来たのです。



王様、東の遠方より裕福な身なりの三人の男達が来ております。彼らは生まれたばかりの、イスラエルの王となるべき赤ん坊を探しておるそうです。

その赤ん坊はどこにいるのだ？

私共にも見当がつきません。ですから、あなたにお尋ねしたくて来たのです。

国の学者を呼びつけておる。彼らなら何かを知っているはずだ。私室に案内したそう。

赤ん坊だと？ 王だと？ 我こそが王ではないか！ 彼らを通せ、そして神官と律法学者の長をここへ連れてまいれ。



彼らは、人々を救うと預言されたユダヤ人の王に礼拝すべく、ここに来たそうだ。そなた達の書物に何か、その王についての記述はあるか？

はい、多くの預言者が書き残しておりますが、その文書を文字通り信じて良いものかどうか……

お前達の意見など、どうでもよい。預言者は何と言っておるのだ！

いいか、私はその王に自分で礼拝をしようと思う。彼の居場所が分ったら、すぐに我に知らせよ。

はい、ミカという預言者は、救世主はベツレヘムの地でユダヤ人の一族の中から生まれると書いております。

仰せの通りに。分り次第、すぐにお伝えいたします。

ヘロデは、誕生したその王を恐れ、見つけ次第、彼を亡き者にしようと企んでいた。



あの律法学者達が子供が何処で誕生するか知っていたのは何よりだが、自国の預言者達に対して無頓着すぎるようだ。

イスラエルの預言書は、他の物とは比べようが無いくらいに詳細に記述されています。

見なさい! 東で見たのと同じ星だ!



やはり、他の星々とはどこか違うようですね。明るさも動き方も、他の星とはまるで違う。

あの星の位置をよく覚えておいて、明日その方向に行ってみよう。



あそこです! あの家の上で星は止まってる。しかし、ここはベツレヘムではない。もう何ヶ月も経ってしまったから住人は越したかもしれぬな。

長旅の末、我々はやっとたどり着いたようです。

本当に不思議な星です。雲に隠れない位置で光っています。



夜分に申し訳ない。我々は、お生まれになられた救世主に礼拝させて頂きたく何週間も旅をしてきました。

どうして、ご存知なのですか?

預言書を読みました。預言者が救世主の到来を記述していたのです。星に導かれ、ここまで来ました。その星はあなたの方の家の上で止まり、今も未だ光っています。



救世主のご誕生に謹んで敬意を表わし、この贈り物をさせていただきます。この方は、人々を信仰にお導き下さるでしょう。

その夜、神は賢者達の夢の中で、ヘロデ王に救世主の誕生を告げてはならないこと、そして帰路は、来た道とは違う道を通って国へ帰るように言われた。神はヨセフにも、ヘロデ王が子供の命を狙っているのでエジプトに逃げるように語られた。



東から来たという、あの男達はこの私を騙しおったな。来た道とは違う道を帰っていったようだ。と、いうことは奴らは子供を見つけたということだ。ここを通るのを恐れたのであろう。

ベツレヘムに特別部隊を送り、二歳以下の男児は一人残らず殺すように伝えよ。



ベツレヘムでの、この悲しむべき殺戮はかなり昔から預言されていた。



ヨセフとマリアは、イエスを連れエジプトへ脱出した。賢者達の贈り物によって、道中は勿論、彼らはエジプトでの二年間の生活に支障をきたすことはなかった。

ヘロデが死にイエスが二歳を迎えた頃、神は彼らにイスラエルに戻るよう命じられた。「私は、エジプトから私の息子を呼び戻した」という聖書にある預言的の中



彼らが、エジプトからイスラエルに戻った時、一人の天使がヨセフに、ナザレにある小さな町に移るよう助言した。これもまた、イエスはナザレ人と呼ばれるであろうという、預言の通りであった。

イエスは、義理の父であるヨセフと共に木工所で働き、心身共に非常に聡明に育った。

皆、1日中働きづくめね。さあ、食事にしましょう。

イエスが十二歳の頃、ヨセフは過ぎ越しの祝いに、罪を償う為の子羊を持って家族をエルサレムに連れて行った。

イエス、子羊を司祭の元に運びなさい。彼らは、明日の儀式に備えて承認しなくてはならないからね。私達は、野営場所を探して来よう。

お父さん、僕もお兄ちゃんと一緒に神殿を見に行きたい？

儀式から数日後のこと...

あなた、イエスが見当たらないの。今日は誰も見ていないらしいの。

でも、彼は、私達は今日発つことを知っているわ。親戚の誰かと一緒にいてくれればいいのだけど...

エルサレムに置いてしまった

戻って探してこよう。

では、預言者の言う通り救世主とはダビデの子孫ということなのですね？救世主は彼にとっての神ということであれば、ダビデにとっての主ということですね？では、どうして救世主は、一度にダビデの子孫、そして彼にとっての主となりえたのですか？少なくとも.....

その推論のくだりは注意しなくてははいけないよ。神への冒涇になるからね。

あそこにいたぞ。

聖書が正しいか、そうでないかにせよ、不文律的を得ていると信じていいのですか？

真実は難解ですか？聖書は私達が理解できるものではないのですか？

自分の解釈が正しいというような態度を取ってははいけない。年長者は真実の難解さを知っているからね。

文字通りに受け取ってははいけないよ。わたらの先生方が言うには...



イエス、どれだけ探したか…
一体、何をしていたの？

この二日間、我々とずっと一緒でした。とても賢いお子さんですね。



なぜ、そんなに探し回っていたの？
僕は、自分の父の家にいるのは当然だって、ご存知なかったのですか。



あんなに聖書のことを良く知っている子供がいたとは……


父の家にいると言ったが、どういう意味だ？
彼を探していたのが、その父親じゃないのか？

イエスは父母と共に家に戻り、両親の庇護の下、木工所で働きながら知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。

彼は常に高潔で、他人には何が最善かを求めたので皆から好かれた。他の若者が罪深くあろうとも、彼は神の戒律を忠実に守りぬいた。



あなたとの取引は、いつも公正だ。ナザレには、あなたの様な優れた大工はいない。これと同じ物を、あと6つ頼むよ。



マリヤより半年早く出産したエリザベスの息子に話を戻そう。天使がザカリヤに、子供の名前はヨハネと命名するように言い、その子供は救世主の到来に向けて人々の心を神へと戻すと告げた。このことは500年前に、何人かの預言者が預言していた。

罪から開放されたければ、神の国を立てようとされる神に従い祈り、救世主を受け入れる心を持ちなさい。私はあなた方を水で洗礼して差し上げましょう。

私の後に来られる方は、私より後にお生まれになられてはいるものの、永遠に存在しておられる神様なのです。彼はあなた方を水ではなく、主自身の精霊によって清められるのです。手遅れになる前に罪を悔い改めなさい。

ヨハネ、我々はどうすればいいのです？神は私達が高潔になるために何をすれば良いと言われているのですか？

行政で働く我々はどうすればいいのだろうか？私は収税人で、このナバルは税関に勤めているのだが…

もし、あなたが二着の上着を持っていたら、何も持っていない人に一着与えなさい。空腹の人には、食べ物を与えなさい。

全ての人のため、公正を求めよ。


賄賂を受け取るようなことはしてはいけない。自分の立場を利用して、金を取ってはならない。取引は公正に…

あなた方の神を信じていないのですが、神の意に適うには何をすればよいのでしょうか？

誰に対しても、権力を振りかざして暴力をふるってはならない。そして、その立場を利用して、誰からも金品を騙し取ってはならない。あなたに与えられただけの報酬で生きなさい。

私の後に来られる方は、私より全能なお方で、私はその方の足元にも及びません。もし、あなたが悔い改め、そのお方を信じるならば、彼はあなた方を聖霊をもって清められます。

もし、あなたが、そのお方を拒絶し罪を重ね悔い改めなければ、永遠なる地獄の火の中に落とし入れるでしょう。



私は救世主ではありません。

救世主の出現を公言する、あなた自身が救世主なのですか？あなたは一体どなたなのですか？

いいえ、そうではありません。私はイザヤが言ったように「主の道を用意せよ」と、荒野で叫んでいる者の声なのです。

あなたは、モーセが言っていた、人々を神の元へ立ち返らせるという預言者ですか？

では、ここにいる人々に洗礼をする権限を、あなたに与えたのは誰なのですか？

私は主の道を用意する使いでしかありません。あなた方は、まむしの子孫。ユダヤ人でアブラハムの子孫であるためだけに、自分が神の子だと思っははいけません。その横柄さと思いがりの罪を捨てなくてはなりません。

木の根元には斧が置かれており、そして木は切られ地獄の炎の中に放り込まれます。罪を悔い改めないということは、その様な運命を辿るということなのです。

神のお使いが来られて言うには、神の御霊がまるで鳩のように降りてこられた方を見れば、その方こそイスラエルの救世主、全世界の救世主なのです。

ヨハネ、救世主はやがて到来するとのことですが、いつなのですか？

ヨハネは6ヶ月に渡り伝導し、イエスはその頃三十歳になっていた。

この時がくることは分っていたわ。天使、ガブリエルが大きな悲しみを味わうことになると言われたから…義理とはいえ、あなたの父親が未だ生きていて、あなたの旅立ちを見てくれたら…と思います。

どうするのですか？当てはあるのですか？神殿へ行くのですか？

いつか私に会いに戻ってきてくれますか？

わかりません。でも、お父様がお示し下さるでしょう。まずは、ヨハネの元へ行き彼に会って洗礼を受けなくてはなりません。彼は復活の日に向けて準備しているはずですよ。

お母さん、もちろんですよ。あなたを見捨てるわけはありません。しかし、気を強くお持ちください。わたしに起こるべきことは、お母さんにとって非常に辛いものとなるでしょう。



救世主の到来に向けて備えなさい。
子孫の為に心を主に向かわせなさい。思慮深く、自分の時間と労力を惜しまず神の教えを子供達に伝授するのです。反抗的な子供達も、あなたの誠実さを見れば心も変わり、あなた方一家は救われるでしょう。

救世主が来られた時に、あなたが心より救世主に従いたいと思うなら、ここに来て水の中に入りなさい。私が悔い改めの洗礼を施しましょう。そして、救世主はあなたの罪をお赦しになるのです。



ヨハネ、私に洗礼をしてもらいたいのですが...

私こそ、あなたからバプテスマを受けるべきです。あなたは義なる人です。

ヨハネ、私は神の教えに従い、私の父である神が命じたことを行いましょう。



鳩だ！鳩が見える！



あなたが救世主
でしたか!早く気付
くべきでした。



私の意に適った、
愛する息子である。

彼こそ、世の罪
を取り除く神の
子羊であります。



神の聖なる
子よ!

キリス
トよ!

主は来
たり!

神の王国を
建てて下
さる主よ!



主はどこへ行かれるの
らう？民を救って下さる
のではないのですか？

時が来れ
ば……。しか
し、まず救世主
は試練に臨まれ
るのです。

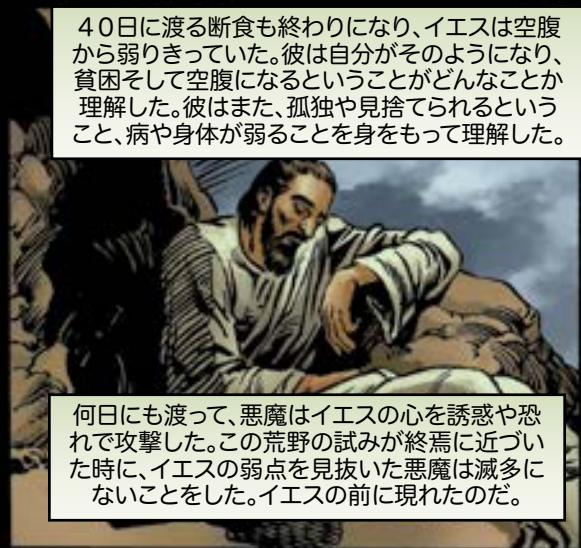
どんな試練
ですか？

アダムや、彼の全ての世襲が失敗
したことです。救世主は悪魔と対
峙しなくてはならないのです。



神は、彼の息子であるイエスに40
日間の断食を命じた。彼は一つ口
にしなかった。彼の身体が衰えてき
た時、悪魔はイエスに神に従わずに
空腹を満たすよう説得しようとした。

最初の人類であるアダムは、神に従わず特
権を失った。イエスは久遠なる神の子と
して存在したが、今は生身の人間であつた。
過去に人々が、悪魔の誘惑に負けた試練を
イエスは乗り越えられるであろうか。




40日に渡る断食も終わりになり、イエスは空腹
から弱りきっていた。彼は自分がそのようになり、
貧困そして空腹になるということがどんなことが
理解した。彼はまた、孤独や見捨てられるとい
うこと、病や身体が弱ることを身をもって理解した。

何日にも渡って、悪魔はイエスの心を誘惑や恐れ
で攻撃した。この荒野の試みが終焉に近づい
た時に、イエスの弱点を見抜いた悪魔は滅多に
ないことをした。イエスの前に現れたのだ。




神の子であるお前
は食べる権利も
持っているのだ。




悪魔は最初の人類のアダムに対しても、禁じられた物を食すように誘惑した。悪魔はまたもや同じ手口で、この人の子であるイエスを試そうとしていた。

40日間、空腹であった人間に対しての誘惑であった。




この石をパンに変えて空腹を満たせばよいではないか。



いや、そんなことはしない。聖書には、人はパンのみで生きるべきではない…とある。神の教えによって生かされているのだ。

ならば、こちらへ来るがいい。神に従うには最もふさわしい場所に案内しよう。



聖書には「あなたがたの神、主を試みてはならない」と書いている。

ここから飛び降りて、天使たちがお前を受け止めに来た時こそ、人々もお前こそが救世主だと崇め、私もそれを認めよう。

お前のいう聖書に、天使たちがお前をその手で受け止め、石でお前の足を痛めぬよう守るだろうと書いているのだから？ 今こそ、民にお前の方を見せ付ける時ではないか？

お前は、この世をあいし、それを救う為に来た。お前が気になるものを見せてやるか？



ここから王国のほとんどが見える。なんとも素晴らしいじゃないか。アダムが神に背いてから、この世は私のものであった。人類は何度、この世界を手放したことが。すべて私のものだ。この世の神はお前ではなく私なのだ。

しかし、一つの条件を飲めばお前にやってもよい。私にひざまずき祈れば、この世の支配権をお前に譲ってやる。すべてお前のものだ。どうかね？



聖書にこのようにある。「神である主のみに従い、他神にしたがってはならぬ」と…。お前は失敗した。さあ、立ち去れ！

悪魔はキリストの目前から消え去った。悪魔の誘惑に立ち向かい、対決したのは人類の歴史上初の試みであった。イエスは試練を乗り越えたのだ。今、地上には完全に神に従順な人間が現れた



40日間の試練で、イエスの身体は歩くことも出来ないくらいに弱りぎっていた。



天使が彼の元に来て、食料と水を与え世話をした。身体に力が戻ってくると彼はヨハネが伝道しているところに戻った。



第9章

初期の伝道



みんな、見なさい。
この世から罪を取り除
いて下さる神の子羊が
来られましたよ。

救世主様

預言者達が言ってい
たのは、あの方だっ
たんですね。

何をなさるの
でしょう？



イエス様に
付いていき
なさい。

師匠を置いて
は行けません。

私は君達の師匠としての価値は
何もないのですよ。あの方は盛ん
になり、私は衰えなければなりま
せん。彼こそ世界を救って下さる真
の救世主。さあ、彼に付いて
行きなさい。



師匠、あなたの弟子として付
いて行かせて下さい。どこに
泊まられているのですか？

来てみてごらん。



ピリポ、
付いてきなさい。

はい、師匠。でも、
まずナタナエルを
探して来ます。


彼もまた、神の
法に忠実で救世
主を待ちわびて
おりましたから。



ナタナエルはど
こだ？

果樹園に
いる
はずですよ。ど
うかなさいま
したか？


いや、
大丈夫だ。



ナタナエル、
どこだ？


ここだよ、
兄さん。

ナタナエル、ついに見
つけたんだ！モーゼや
他の預言者が記述して
いたナザレのイエス、
マリアの息子だ！



救世主ですって？彼と話したの
ですか？でも、ナザレと言いましたね？
ナザレから何か良いものが出るだろうか。
救世主がなぜ、あんな見捨てられたよう
な場所から？ユダのベツレヘムで、お生
まれになるということだったはず。

自分の目で見れば
分るさ。ヨハネが
証明したんだ。今、
アンデレと一緒に
いらっしゃる。



あなたは私をご存知な
いはず。何故、私が清
い心を持っていると思
われるのですか？

どうして私
がそこにい
ると？誰も
知らないは
ずなのに。

あなたは正に神
の子であられま
す。イスラエル


彼こそ、まさにイスラエル人です。
この人には偽りが
ありません。

ピリポ、
私のこと
を彼に話
したので
すか？

何一つ
話してい
ないよ。

ピリポがあなたを呼びに
行く前から、私にはあなた
がイチジクの木の下で
座っていることが分った
のですよ。

びっくりしましたか？しかし、
あなたはこの先、もっと驚くこと
になりますよ。天国から私の元へ
神の使いが往来することでしょう。
さあ、私達にはするべきことが山
ほどあります。




アンデレはイエスのことを伝えるために兄を探した。

シモン、ついにヨハネの言っていた救世主が到来なされたんだよ。


いつ?どこで?どんな方なんだい?お弟子は大勢いらっしゃるのかい?

とにかく、来て見てごらんさい。




あなたはヨナの息子、シモンですね?しかし私は、あなたをペテロと呼びましょう。

船は家族に託します。私をあなたの弟子にしてください。



やがて、イエスは彼の弟子として神の教えを聞く12人を選んだ。彼らは12使徒と呼ばれた。一行は町から町へと、神の国についての教えを説いてまわった。



イエスとその弟子は祈りの為に神殿へ行った。しかし、そこは物売りで混雑していた。

司祭達は堕落しきっています。聖なる神殿で物を売り利益を得るとは…。

神殿に渡す前に何故、面替が必要なんだ?あんた達の儲けになるんじゃないのか?

司祭も承認済みさ。



救世主は何をなさっているの
だろう？無言で、もう一時間
ちかく動こうともせずに、紐
を編んでなさる。

今日の儲けは十分だ
な。楽な仕事だぜ。



鞭だ！鞭を作
ってらっしやるんだ！



私の父上の聖なる家は、祈りの場
でなくてはならない。しかし、あ
なた方は強盗の巣に変えてしま
った。撒収しなさい！さあ、今
すぐにごだ！

父上の聖なる家？一体何なんだ？
救世主とも言うのか？



私の父上の家で売り買いする
のではない！盗人共めが！

ガッシヤン！



バシツ!

蛇の末裔どもめ! 未亡人を餓死させる気か!

うわ〜っ!

自分を誰だと思っているんだ?



ドサツ!

バシツ!

見せ掛けだけの祈りをした為だ!

隣人を愛さず、隣人の金を愛した為だ!

バン!



次にごこへ来る時には、罪に対しての懺悔の時だ!



ダビデの救世主に関する一節を覚えていたかい?

ああ、神の家に対する熱意は私を尽きさせる。なぜなら、神の敵は神のお言葉を忘れてしまったからである。

律法学者によると、救世主は思いがけない時に神殿に現れるそうだ。



あなたは、ヨハネの言うナザレのイエス様だとお見受けしますが、今日あなたは数々の問題を起こされました。あなたが救世主だと何を持って証明されますか?

私が救世主だという証が必要なら、この神殿を破壊してごらん下さい。私は三日の内に再建してみせましょう。



この神殿は建築に46年もかかったのですよ。あなたは三日で建てられると? バカげたことを!

また、ごこへ戻って来るなら捕まえるぞ。

イエスは、神殿とは彼の身体のことを意味したのであるが、それを人々に説明はしなかった。敢えて、人々に理解させようと思わなかったのだ。

イエスは弟子達を連れてエルサレムを去り、北の方にあるイエスの故郷のナザレに戻った。

まあ、イエス！
戻ってきたのね？
お友達も一緒に食
事でもしましょう。

お母さん、私達は安
息日の短い時間しか
滞在出来ないのです。

安息日の習慣として、
イエスはユダヤ教の儀
式が行われているシナ
ゴークへ行った。

今日のこの日、我々はイエスと、
その御友人方を迎えることがで
き、大変喜ばしく思います。

彼らの噂は我々も周知の
通りですが、その話は後
に何うことにして…
イエス、まず聖書を読
んでいただけますか？

イエスは、預言者イザ
ヤの記述から救世主に
ついての、よく知られ
た一節を選んだ。

「神である主の霊がわたしの上にある。
貧しい人に良い知らせを伝えるため、心の傷
ついた者を癒すため、主はわたしに油を注ぎ、
わたしを遣わされた。」

今日、その預
言は成就した
のです。



神への冒涇だぞ!

お前はただの
大工の息子で
はないか!

静まりなさい!
我々は出
て行きます。

石でも投げつ
けてやれ!救
世主になりたい
だけなんだ
ろう!



イエスと弟子達は、彼の弟子
の何人かが住んでいた、湖畔
の町カペナウムにやって来た。



そして、預言者は言った。救
世主は異邦人に対しての光と
なり、彼らは救世主に信頼を
寄せる。神を求める心の清い
人は幸せです。神は、神を求
める人々を見捨てたりはしま
せん。ユダヤ人であろうと、
異邦人であろうと…

聖なるお方と
やら、我々に
口出するん
じゃない!



お前が誰だか分
かっているぞ。
神の息子だ。

彼は悪魔にとり
つかれています。
ここから追い出
すべきです。



お前は我々を滅ぼし
にやって来たのだな。
放っておいてくれ!な
ぜ、我々がお前に従わ
ねばならぬ!

誰がこいつを
入れたのだ!気
をつける!危険
な奴だぞ!



悪魔よ、お前に命
ずる。直ちに、この
人の身体から立ち去
り、二度と苦痛を与
えるのではない!



去れ!

ぎゃあ〜!



彼に何を
したの
ですか?

死んで
しまっ
たの
だろ
うか。



そして、彼は突然自らの
足で立ち上がった。

神を褒
め称え
よ!

悪魔は立ち去り
ましたよ。もう大
丈夫です。さあ、
行きなさい。二度
と罪を犯さないよ
うに。

イエスが悪魔に
打ち勝った!あ
の男は元に戻っ
たぞ!

ああ、あなた、
待っていたのよ。
とても不安だわ。
熱はどんどん高
くなっているの。



ベテロ、奥さんが戻って欲しい
と言っています。お母様が
高熱で非常に危険だそうです。

行きましょう。



大丈夫だ、師
匠が付いて
いるからね。



起き上が
りなさい。あ
なたの病は
もう治りま
したよ。



お母さんが
起き上がっ
たわ! 治っ
たのね!

彼女はベッドから起き上がり、
イエスと弟子達をもてなした。



イエスが病人を癒したこ
とは方々に広まり、人々
が病人を連れて次々にイ
エスの元を訪れた。

先生、私の父は丸太が
落ちてきて背骨を折り、
私が子供の頃から身体
が麻痺したままです。
どうか、お助けくださ
いませんか。

起き上がって
歩くのです!




神に栄光
あれ!



歩けるぞ!
奇跡だ!


先生、私の娘は
生まれつき目が見え
ません。助けてくださ
い。




盲目の人は光を取り戻すと聖書にあるように、あなたの娘さんは、もう見えるようになりましたよ。



お父さん…なの？



ああ、お父さん！お父さんが、どんな顔なのか今まで知らなかったけど、想像していたよりも、ずっと男前よ！



イエスと弟子達は、祝祭日の間にエルサレムへ行き、神殿で説話を述べた。


あなた方は、いにしへの時代からの言葉、「あなたの隣人を愛しなさい、憎むべきは敵」だと聞いたことがあるでしょう。しかし、私はこう言いたいのです。敵をも愛し、彼らに良くしなさいと…

あなたを呪う人がいても、同じように呪ってはいけません。その人の為に祈り祝福するのです。あなたが、他人からしてもらいたいように、他人に接しなくてはいけません。


あなたを痛めつけようとする人がいれば、その人を許すのです。神の御心に適うような清い心を持っていれば、あなたは祝福されるのです。あなたの心を平和に保てば、あなたは祝福されたも同然です。

「目には目を、歯には歯を」という言葉がありますが、これはどういう意味でしょう？


もし、誰かがあなたの頬を殴ったら、もう片方の頬を向け殴らせなさい。暴力的になってはいけません。隣人が上着を持っていないければ、もしあなたが二着持っているなら一着分けてあげなさい。飢えに苦しんでいる人には食事を与えなさい。天の父は、それをご覧になられ、あなたを祝福なさるのです。



人を殺してはならない、ということもご存知でしょう。意味はこうです。たとえば、正当な理由もなく、あなたが自分の兄弟に怒りを覚えたとします。それで、あなたは既に神の怒りに触れたことになるのです。




姦淫をしてはいけない、ということもご存知ですね? こういう意味なのです。もし、あなたが女の人を欲望の目で見ること自体、すでに心の中で彼女と姦淫したことと同じなのです。




宗教を説く善人を装った偽善者達に気を付けなくてはなりません。心の中は邪悪そのものです。

彼らは白く塗られた墓のようなもの。墓自体は綺麗です。しかし、その内部は、死人の骨なのです。彼らより正しくありなさい。そうすれば神の国に入ることができます。



破滅へと通じる道は広く開け放たれており、そこを通る人も多い。


私は天国へと通じる門です。そこを通れば、あなたは永遠の命を与えられます。他の道を行くならば、自分の罪の中に死にます。




なぜ、あなたは安息日に病人を治したんだ? 安息日に働いてはならないと決まりがあるはずだ。

天の父が私を使わされたのは、私がすべきことを、する為なのです。私は神のお告げ通り行動しているのです。

あなたは神と同等の立場だと思っているのか! 神への冒瀆だぞ! 死の制裁を受けるがいい。



天の父を崇め敬うのと同じように、その息子を敬いなさいというのが、天の父の意思なのです。



確かに彼は救世主だ。初めに我々に奇跡を示し、そして次は大胆な発言だ。

彼は他の律法学者達とは違う。彼の話す事は影響が大きすぎる。権力者達が命を狙わなければいいが…。

亡くなられた人々が私の声を聞き、久遠の命を得る者、又は地獄へ墜ちる者、その裁きの権限を私は天の父から受け継いでおります。

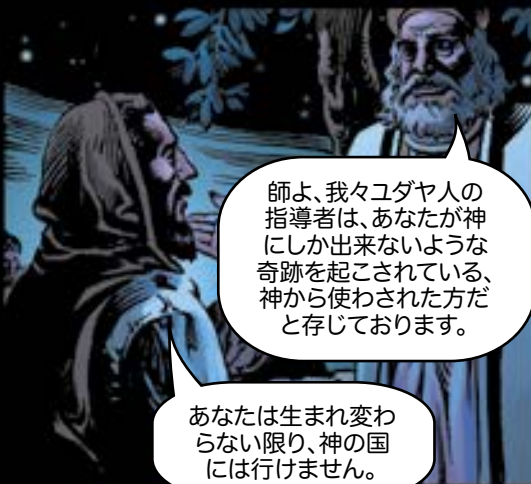
妻にも伝えてこよう。



師匠、パリサイ*人の一人が、あなたに会いたいと来ています。ユダヤ人を指導している者で重要人物のようです。

何故、こんな夜更けに？人前でイエス様と話すと恥をかくからじゃないですか？

個人的に話をして来ましょう。



師よ、我々ユダヤ人の指導者は、あなたが神にしか出来ないような奇跡を起こされている、神から使わされた方だと存じております。

あなたは生まれ変わらない限り、神の国には行けません。



それは、こういうことですか？私は、また母の胎内に入り、二度生まれるということだと？

いいえ、肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。あなたがたは新しく生まれなければならない。

しかし、どういう風にして生まれ変わるというのですか？



魂の生まれ変わりとは、とても神秘的で、それは、まるで風のように、神の国に入るには、そうしなくてはならないのです。



モーゼが荒野で大蛇を掲げましたね？私も同じように掲げられるのです。

神に対して罪を犯した人々は、蛇に噛まれて死に至るはめになりましたが、青銅の蛇を見上げることで、彼らの傷はすぐに癒されましたね。

そうです。今でも、人々は罪という蛇に噛み付かれ死に至っているようなものです。しかし、私が掲げられることにより、人々は私を見上げられるのです。荒野で蛇に噛まれた人々は、青銅の蛇を見上げることで救われました。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。御子を信じる者はさばかれない。信じない者はすでにさばかっている。神のひとり子を信じなかったからである。

新しく生まれることこそが、罪から救われる唯一の手段だと言われるのですね？そして、あの時の青銅の蛇に代わって、あなたが人々を救うと…。

では、いつ新しく生まれるのでしょうか？

私がお人々に仰ぎ見られる時です。

エルサレムとガリラヤの間にサマリア人が住んでいた。ユダヤ人はサマリア人と一切の接触を絶っていただけでなく、サマリアの町を通り抜けることさえしなかった。なぜなら、人々はサマリア人は宗教的に見て汚れていると信じていたからである。ある日のこと、イエスの言った言葉が弟子達を驚かせた。

来なさい、サマリアを通らなければ。

主よ、サマリア人は無知で汚れた人種です。貧しいばかりではなく、ふしだらです。

サマリアに行くことは天の父が望んでいます。


正午に、一行は町外れの井戸に到着した。

お一人でお待ちになりますか？

町へ行って肉を買ってきてくれませんか？私は、この井戸で待っています。

ええ。私には天の父がお与えになった使命を果たさなければ。

イエスは疲労と喉の渇きに加え空腹であった。水汲みの時間ではなかったが、一人のサマリア人の女が井戸に水を汲みにやって来た。



申し訳ないが、水を一杯いただけませんか？

まあ、あなたのようなユダヤ人が、何故サマリヤ人の女に水をくれとおっしゃるのですか？ユダヤ人は、私達には一切関わらないと思っていましたけど…。


もし、あなたが神の賜物や、私のことを知ったならば、私にいのちの水を求めらば与えられます。

行ってご主人を呼んでください。いのちの水の話しましょう。

私は独り身です。

あなたは、かつて五人の男と暮らしていましたね。そして、今一緒にいる男も、あなたの夫ではありません。

あなたに話している人物こそが、その救世主なのですよ。



あなたが私に水を？こんな深い井戸から、水を汲む物も持たないあなたが？そのいのちの水はどこで手に入れるつもりなのですか？

この井戸の水を飲んでも、すぐにまた喉が渇きます。わたしがあげる水は、それを飲む人のうちで永久に飲めない泉となります。

では、そのいのちの水を私にくださいませ。もう二度と渇きを覚えることがないのであれば…。

私の秘めた罪をご存知なんて、あなたは預言者なんですね。

神とは霊です。いと高き方は、手で造った家にはお住まいになりません。御霊と真理によって父を礼拝する、そのような人々を求めておられるのです。

あなた方、ユダヤ人はエルサレムで礼拝しますが、私達は父祖の頃からこの山で礼拝します。どちらが正しいのですか？

私達はいつか救世主がやって来て、私達に真実を語って下さると聞きました。

友達を集めてきます！

イエスは二日間サマリヤに滞在し、人々に神の教えを説いた。

一度、イエスと弟子達はガリラヤ湖を見下ろす丘で神の教えを説いた時、何千という人々が彼の教えを聞きにやって来た。

貧しい人に施しをする時は、他人の目がある街中でしてはいけません。

施しをする時は、右の手がしていることを左の手に知られないようにしましょう。隠れたところで見ておられる父が、あなたに報いてくださいます。

祈りの時は、人に見てもらいたいが為、公の場所で祈るような偽善者の真似をしてはいけません。

祈りの時に、大勢の人が見ている公の場所で祈り、信仰心の厚い人と思われたいと、宗教指導者達がやっているような復唱ばかりしてもいけません。

富を得るために、力と時間を費やしてはいけません。金持ちは誰よりも問題を抱えています。彼らは、お金を愛しているままでは到底、天国に入るのは難しいことです。

師匠、もう時間も遅いことです。人々も空腹になってきたことでしょう。ここは町からも離れていますので食料も買いに行くのも不便です。


地上に宝を蓄えるのはやめなさい。天に宝を蓄えなさい。そこで永遠に残るでしょう。誰も二人の主人、神とお金、に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することに なります。

彼らを一度、解散させて買い物に行かせてはどうでしょう？

先生、私の昼食を召し上がってください。母がパン5つと小さな魚2匹を持たせてくれましたから。

皆を座らせなさい。彼らに食事をさせましょう。


一体どうやって？




さあ、見てみましょうか。魚とパンですね。

でも、師匠、5000人は下らない群集に分けるだけの食糧なんてありませんが…。


皆に行き届くように、大きな籠を12ほど借りてきなさい。



天の神よ、我らの主よ、天の恵みを与えし宇宙唯一の神よ。

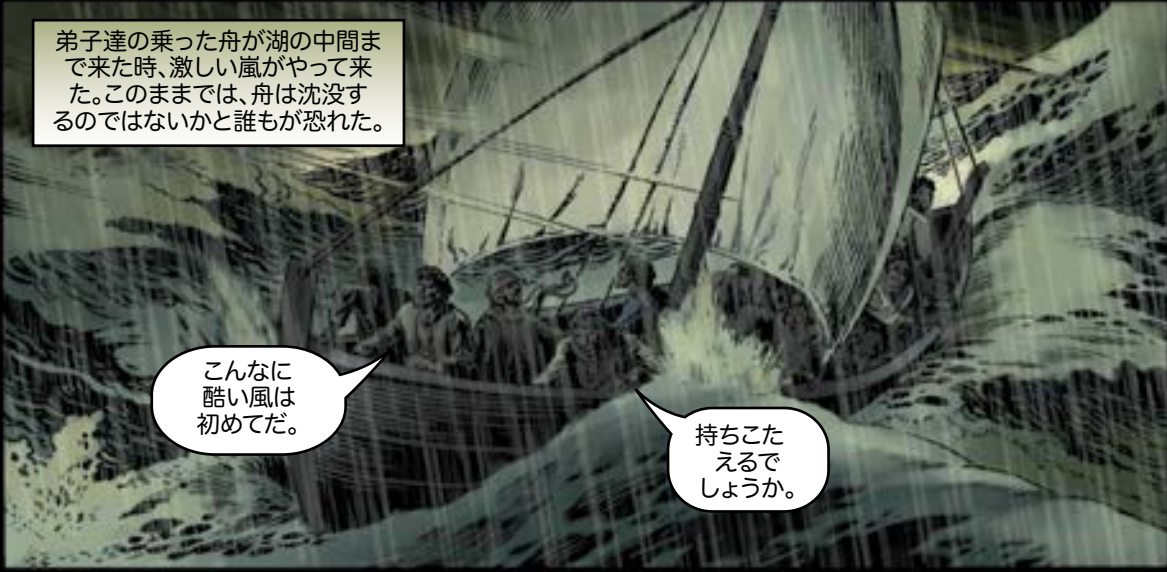


あんな大きな籠に、少ない食糧を入れてどうする気だろう？



見る！どこから、あんなに食糧が！






弟子達の乗った舟が湖の中間まで来た時、激しい嵐がやって来た。このままでは、舟は沈没するのではないかと誰もが恐れた。


こんなに酷い嵐は初めてだ。

持ちこたえるでしょうか。



沈んでしまえぞだ!


見てください! 波の上に何かか!



幽霊がいます!

幽霊だ!

人が水の上を歩いているぞ!



ペテロ、怖がらなくてもよろしい。私だ。

主よ、もしあなたが本当にイエス様なら、私に水の上を歩かせて、あなたの処まで行かせてください。

来なさい、ペテロ。



主よ、今、
参ります。

やめる、
ペテロ!

ペテロは本当にイエスの元まで、水上を歩いて行った。



ペテロは、大きな波が来てイエスの姿が見えなくなると恐怖を感じた。



彼の信仰心は恐れに負けて、身体が沈みそうになった。

主よ!お助け下さい!



ペテロ、
なぜ私を疑っ
他のか？



イエスはペテ
ロと水上を歩
き、舟まで連
れて戻った。

ペテロ、あ
なたは水の
上を歩いた
のですよ！



嵐よ、静ま
りなさい！

イエスが嵐の中で
強く言うと、突然
それは静まった。



主よ、私は罪深
き男です。お許
してください。

確かに、あ
なたは神の
子です！

イスラエ
ルのクリ
ストよ！

我が主！
我が神！

その後…

この混雑ぶりはすごいですね。色々な国から人々は来っていますが、遠くはローマやエジプト辺りからも来ているらしいですよ。

池の方へ行ってみよう。

私の知る限り、彼は長い間ここにいます。

良くなり
たいか？

誰も私を助
けてはくれ
ないよ。

起きて、その
寝床をたたみ
歩きなさい。

あなたはイエス様だ
ね？あなたの起こした
奇跡のことは聞いた
ことがあるよ。

ひどい冗談を言うも
のだな。この可愛そ
うな男は38年も動
けないままなんだ。

今日は聖なる安息日
だ。我々の邪魔をす
る権限はないはずだ。



彼を亡き者にしようとする動きがあるらしい。彼には注目が集まり過ぎているからな。

ああ、奇跡を起こせると人々が納得している。

イエスは自分は何様だと思っているんだ？救世主だと？



見ろ！彼の足が動きだしたぞ！



立ち上がった！

そんなバカな！



神を褒め称えよ！ やっと歩ける！

イエスこそ救世主だ！



何故、安息日に治療を施したのだ？

モーゼの律法には、安息日は休息の日だと説かれているではないか！

安息日であっても、穴に落ちた牛を引っ張り上げることは認められております。安息日に病人を治すことが律法を破っているというんですか？

天の父は安息日であろうと働いておられます。私は天の父を見習っているだけです。



父親だと？神と自分は対等だと思っているのか？

捕まえる！
死刑だ！

殺せ！

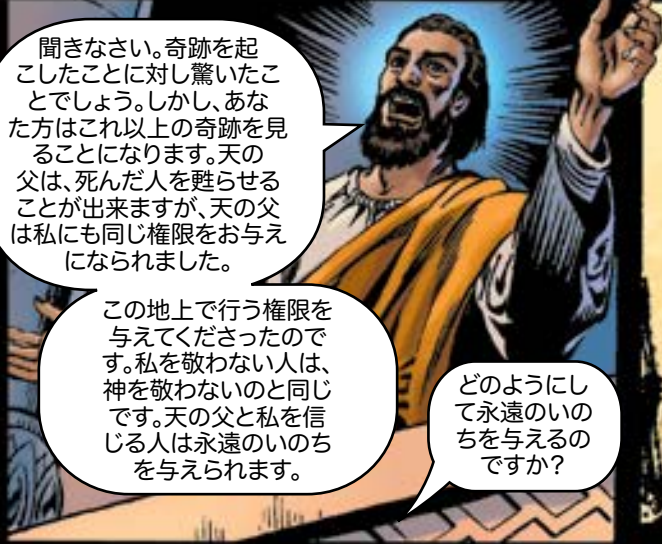


安息日だからって、病人を治療した人を殺せというのですか！

奴が律法に違反したからだ。

違反って、何が違反だというのですか！

イエス様から話があります。



聞きなさい。奇跡を起こしたことに對し驚いたことでしょう。しかし、あなた方はこれ以上の奇跡を見ることとなります。天の父は、死んだ人を甦らせることができますが、天の父は私にも同じ権限をお与えになりました。

この地上で行う権限を
与えてくださったのです。私を敬わない人は、神を敬わないのと同じです。天の父と私を信じる人は永遠のいのちを与えられます。

どのようにして永遠のいのちを与えるのですか？



その時が来れば、亡くなった人々は私の声を聞き甦ります。善人は永遠のいのちが与えられ、そうでない人は火の池に投げ込まれます。

神への冒瀆だ！神以外、死人を甦らせるなんて出来るわけがない。

信じられないのも無理はありません。聖書にあるように、ヨハネは私の出現を預言しました。多くの預言者が、私について記述している預言書を読みなさい。

私が神の御前であなた方を訴えると思わないで戴きたい。あなた方が従っているモーゼの律法が証明してくれるでしょう。

本当にこの人を殺そうとしているのか？大胆なことを言っているのに彼らは何もしないじゃないか。指導者達は、彼をイスラエルのキリストだと思っているんだろうか。

律法学者達は、救世主がどこの出身か分からないと言っていたが、この人はガリラヤの大工のせがれだぞ。

あなたは、私がどこの出身だか、よくご存知のようですね。確かに、私は自分でこの地上に来た訳ではありません。天の父が私を使わされたのです。

彼にはすべて、お見通しなんです。

彼こそが預言された救世主に違いない。

何故、俺の言ったことが聞こえたんか。

たとえ救世主が現れたとしても、この方が起こした奇跡以上のことが出来るだろうか？

すぐに、あの冒涇者を捕まえろ！

多くの人が彼を信じている！早く黙らせろ！

やばいことになったぞ。



義に飢え乾く者は幸いです。
その人たちは満ち足りる
からです。

平和をつくる者は幸いです。
その人たちは神の子と
呼ばれるからです。敵を
愛し祝福しなさい。

誰でも心に渇きのある人は、
私の元に来なさい。いのちの
水を与えましょう。御霊は、
その人の内で泉となり、永遠
のいのちへの水が
湧き出ます。

人々は、彼こそが
4000年前からの預言の
結果だと言っている。

罪人には見
えない
が...



何故、イエスを連行し
てこなかったのだ！奴は
お前達の目の前にいたは
ずだぞ！何故、捕まえな
かったんだ！

彼の様な人
は今まで見
たことがあ
りません。

愛と赦しにつ
いて説いてい
ます。

バカなことを！お前達まで騙
されたのか！優秀な指導者や
パリサイ人が、一度でも彼を
信じたか？イエスは処刑だ！

かつて、夜中にイエスの元
を訪れたニコデモが言った。



我々の信ずる律法には、
有罪と決め付ける前に話を
聞くようにと書いては
いなかったかね？

ニコデモ、あなたも、あのガリラ
ヤから来た一派の一人ですか？聖
書にはガリラヤから救世主が出現
するとは一言も書いていませんよ。
ダビデの子孫でユダヤのベツレヘ
ム出身のはずですが？



イエスは嘘で人々を洗脳しているんだ。

自分には知らないことはないと思っていますらう。

もっと優秀な法律家呼んで、イエスを困らせてやろう。



私に一人、心当たりがある。彼は優秀で冷酷だ。



イエスに挑む為、一人の法律学者がやって来た。

師よ、永遠のいのちを得るにはどうすればよいでしょう？

律法には何と？

あなたは心、いのち、力、知性を尽くして、あなたの神を愛しなさい。また、あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。

こんな話があります。




そうです、その通りです。愛が律法の源です。自身を愛するように隣人を愛せば神もお喜びになられます。

そうですね。しかし、隣人とは誰を意味しますか？ 誰でも…というわけではないでしょう。まさか、異教徒のローマ人も、ですか？




エルサレムからエリコへ旅をしていた一人の男が、強盗に襲われて身ぐるみ剥がされた上に、死ぬほど痛めつけられ路上に放置されました。

一人の司祭が通りかかり、その男が横たわっているのを見たのですが、彼は男を助けもせずに行ってしまいました。




同じように、次は、神殿で司祭に仕えるレビ族の一人が通りかかりましたが、傷ついた男を見つけたにも関わらず、助けもせずに行っていました。

愛のある行動をせずして、どうして自分には愛があると言えるでしょうか？隣人を愛さずして、どうして神を愛せますか。




次に、一人のサマリヤ人が通りかかりました。ユダヤ人が汚れていると見下しているサマリヤ人です。彼は、身ぐるみ剥がされ、酷く傷つき横たわる男を見つけました。その男がユダヤ人である事は気にしませんでした。


サマリヤ人は、彼を気の毒に思い助けることにしたのです。



サマリヤ人は彼の傷を洗い、包帯をしてやりました。彼は言葉ではなく、行動で慈愛を示しました。



サマリヤ人は自分のロバの背に彼を乗せると、宿へ連れて行き、そこで男が休んで傷を癒せるよう手配してやりました。



二週間分の、宿と食料の代金を置いてゆきませんが、もし足りないようなら、また帰りにこの道を通りますから、その時に支払います。

気をつけて、私が支えていますから……。もうすぐベッドで休めますよ。



あなたは、隣人とは誰か、と私に尋ねましたね。では、答えてください。今、話した三人の中で誰がこの男の隣人になったと思いますか？

もちろん、その男に哀れみを示した人ではないか！

すばらしい！



バカな！イエスが彼を改宗させる前に、ここから追い出せ！

なんというバカげた教えだ！とても現実的とはいえない。愛などに応えない人間もいるではないか！

では、あなたもこのサマリア人を見習い、隣人を愛してみなさい。

あなた方は、律法に「あなたの隣人を愛し、敵を憎め」と言われているのを、あなたがたは聞いています。しかし、私はあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。



第10章

奇跡と例え話

もう何日食
べてないん
だろう。

我慢してネズミ
かゴキブリでも
食えよ。生きて
いたければな。

たぶん、俺が一番
最初に死ぬだろうな。
一年前は、暮らしも
裕福で社会でも評判
が高かったのに、今
じゃこの有様だ。

今やお前も落ち
ぶれた、ただの
らい病患者、は
み出し者さ。

最初の頃は、いつか病気も
治って、妻や子供達と暮らせる
ようになると希望も持っていたが、
もう10年さ。病が完治し社会に
戻っていった者なんて、見たこ
とも聞いたこともない。

まったくだ。同情するぜ。
俺達を気に掛けてくれる奴なん
て誰もいない。神にさえ見捨て
られているんだ。さあ、食物
を探しに行くとしよう。

初めは、妻も子供達を連れて
会いに来てくれて、距離を置いてたが話
すことも出来た。しかし、その機会もだ
んだんと減り今じゃ来てくれなくなった。
子供達も大きくなっただろうなあ。俺を
見ても父親だと気付きもしないだろうよ。
死ぬより辛いことだ。

今日は街道まで
行ってみよう。誰
かが俺達に哀れみ
を示してくれるか
もしれないぜ。

みんなで一緒
に行動する方が安
全だ。あそこに他
の奴らもいるぞ。



街道を誰かが
やって来るぞ。



気をつけろ!
また、あのガ
キ共だ!

あっちへ行け!
汚い奴らめ!ど
こかでのたれ死
んでしまえ!

きたない蛆
虫共め!罰
当たりだ!

逃げろ!
逃げろ!

汚れてるんだ!どうせ俺
達はみんな汚れてるんだ!



らい病患者だ!
近寄ると病気を
うつされるぞ。



どうかお情けを。
少しいいから食
べ物を恵んではも
らえないだろうか。

何でもいから
渡して、早
く彼らを追い
払ってよ!

下がれ!
汚らしい!



下がっているよ、
ここに食べ物を持
ってきてやるから。

よ〜し、近寄
るんじゃないぞ。
まず、俺が離れ
るからな。



パンだ!パン!!

食べ物だ!

少し残しておいてくれよ。

全部取るな!



俺の物だ!

お前はブタか!

神よ!


パンだ!



大勢の人がこっ
ちに来るぞ。


人数が多い
時は気を付
けないと。

男ばかり
の集団の
ようだな。



あれはナザレのイエス様じゃないか。病気になる前に一度だけ見かけたことがあるんだ。


彼は病を治すことができるんだ。神はイエス様に権限をお与えになったし、神とイエス様は一つだ。目の見えない人や、身体障害者の手足を治すところを俺は見たんだ!



イエス様、お助けください!

師匠、彼らはらい病患者ですよ。


近くに来させるんじゃないぞ。



私にどうして欲しいのですか?


どうかお情けを、私どもの病を癒してください。

出来ることなら、私達をきれいにしてもらいたいです。



イエス様、私に触れてはなりません。

大丈夫ですよ。神殿に行ったら司祭に見てもらいなさい。司祭は、あなた方の病は完治したとみて家族の元へ帰ることが出来ますよ。



私達はもう汚れていないとイエス様は言っておられる!

神殿に近づくまでに追い払われるわ。

俺はイエス様の言うことを信じるぞ!

俺もお前と行くよ。さあ、行こう!



イエス様は、俺達は治るとおっしゃったんだ。



気分も良くなったぞ。



変化してきている!



俺の皮膚が元にもどっている!

イエス様、あなたは完璧です!

お前、もう醜くないぞ!

妻を捜してごなくては!



神の息子よ、イスラエルの王よ...あなたに栄光を!あなたは私の人生を取り戻して下さいました。神はなんと慈悲深く偉大なのでしょう!

10人すべて完治したはずだが、礼を言いに戻ったのは一人のみ。しかも、彼はユダヤ人ではなくサマリヤ人だ。

永遠の命

一人の男がイエスに、神の国へは皆が行けるのかと尋ねた。イエスはこう答えた。

教えてあげましょう。神の国に入るのは難しく、しかも入り口は狭く少数の人しか見つけることが出来ません。しかし、破滅へと続く道は広いので、人々は殺到し永遠の地獄へ向かうのです。

神の国へと続く門は非常に狭く、多くの人があるへへ行こうとしますが、辿り着くのは非常に困難で失敗します。そして神の制裁が下される時、多くの人には神にひれ伏して言うのです。「主よ、私はあなたを心から信じております。私はとても信仰深く、断食も祈りも神殿への寄付もしました。わたしは、あなたの御名によって預言をし、悪を追い払いました。」

そこで、私は言うのです。「私はあなたを知らない。私から離れなさい。あなたは永遠に地獄の火の中で苦しむのだ。歯軋りしながら嘆くが良い。」

そこは魂の死などなく、炎も決して消え去ることのない場所だ。炎の中で苦しむ人々の煙が延々と立ち上るだろう。

イエスは別の話を語った。

ある処に、毎日着飾って豪華な食事をしていた金持ちの男がいました。彼は誠実さや公正さも持ち合わせていたが、自己中心的でありました。

金を貯めては、益々金持ちになっていきました。

テーブルの上の残り物は、門の前にいる物乞いにやりなさい。私は思いやりのある善意の固まりのような男だからな。

仰せの通りでございます、ご主人様。外にいる物乞いも感謝しますでしょう。

ご主人様が、この残り物のパンくずを下さるとさ。


神様、感謝致します。神のおかげでございます。十分な施しを頂きまして、どうぞご主人様に御礼を申し上げます。

私の莫大な富は、大きな倉庫でも作らねば入りきらないな。

愚か者！今宵、お前は死ぬのだ。魂をいただくぞ！

ぐぐっ…


「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」



この金持ちの葬儀の行列が彼の邸宅を出て行く時、物乞いのラザロも死んでいました。

物乞いのラザロじいさんだ。彼も宵の内に死んだんだ。死に顔は穏やかそうだ。

ラザロの遺体は手押し車に乗せられ、動物の死体焼却場へ運ばれました。葬儀は勿論のこと、誰一人として彼の死を嘆き悲しむ者はいませんでした。




しかし、天使が降りて来てラザロを天国へ連れて行きました。

ラザロ、我が兄弟よ。ようこそ。あなたはもう、二度と飢えることもなく身体も痛むことはありません。さあ、こちらへ。食事の席を用意しておきましたよ。


おお、なんと心地よい乗り心地！死んだにも関わらず、こんなに愉快的な気持ちになれるなんて考えもしませんでしたよ。

金持ちの男は美しい墓に丁寧に埋葬され、彼のお金を愛した人々は遺言に何を残したか興味深々でありました。



彼は実に良い人間でした。自分が愛していた人に対して時には厳しい扱いをしたが、しかし私達は彼が民族を愛し、その振る舞いは誠実であったことだけは覚えておきましょう。

彼は報いにより世を去りましたが、どうか彼の魂が永久に安らかでありますよう……。



しかし、男は自分が死んで底の見えない穴の中へ落ちてゆくのが分っていました。



助けてください！
神よ、誰か、助けてくれ〜！俺はここだ！この火の中にいるんだ！



我が父祖アブラハム、どうか私にお情けを！そこにいるラザロに、炎の中で苦しんでいる私を助けろと伝えてください。

息子よ、出来ることならば助けてやりたいが、我々の間には炎の海のような大きな裂け目があり、私には渡ることが出来ぬのだよ。そして、お前もこちら側に来ることは不可能だ。

それならば、ラザロを私の父の家へ使いに出し、私の5人の兄弟達にこんな苦しく恐ろしい場所に来ないように伝えてください。

彼らはモーゼや預言者たちの書を持っておるだろう。聖書を信じているならば心配無用だ。

いいえ、それでは不十分です。誰かが死んで生き返り、その奇跡を見れば彼らも不信心を悔い改めることでしょう。

彼らが聖書を信じない限り、たとえ誰かが生き返ったとしても納得しないであろう。彼らが自分で決めることだ。残念だが、私にはどうすることも出来ないんだよ。



あ～ら、お兄さん方、楽しんで
いかない？安く
しておくわよ。

先生、無視
しましょう。彼
女の様な者を
救うには手遅
れです。



聖書に「姦淫をし
てはならない」と書い
ています。

失礼ね！これ
でも私は神を
信じているし、
信心深いと思
っているわ。

いいえ、あなたは
悪魔に惑わされていま
すよ。あなたの行く先
は炎の地獄です。



あなたのお連れ
の言う通り、もう私は救わ
れないかもね。子供の頃
から色々な男の相手をし
ているんだもの。

神にとって、遅すぎ
るということはありませんよ。
神を求め、神を受け入れるの
です。神はあなたの罪を赦し、
あなたの魂を救って下さ
るでしょう。



私の魂は悪魔の
ものよ。でも、もし
私が神を、もし神
を・・・神・・・

ぎやああああ～！

悪霊に取り
つかれて
いる！

下がれ！



ひiiiiiiii~!

悪魔よ、
出て来い!



お前に命ずる、
彼女から出てゆけ!

イエスがそう
命じた時、七体の
悪魔は女の身体か
ら出て行った。



もうあなたは
自由ですよ。

あなた
は?

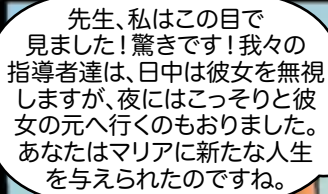
私はイエ
スです。



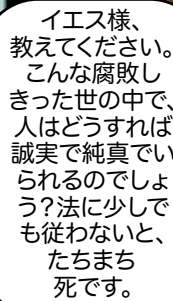
罪を悔い改め、神を
礼拝せよ。そうでなければ、
もっと酷い悪魔が戻って来て、
あなたを支配するでしょう。

神にお仕え
いたします。
あなたに従
い学びます。

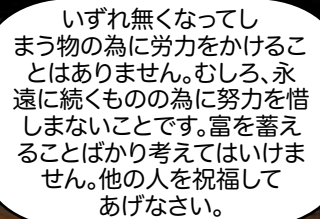
どうなっ
ているんだ?



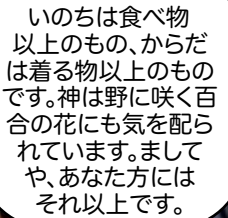
先生、私はこの目で
見ました!驚きです!我々の
指導者達は、日中は彼女を無視
しますが、夜にはこっそりと彼
女の元へ行くのもおりました。
あなたはマリアに新たな人生
を与えられたのですね。



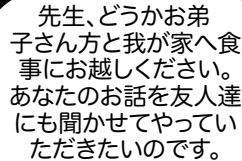
イエス様、
教えてください。
こんな腐敗し
きった世の中で、
人はどうすれば
誠実で純真でい
られるのでしょ
う?法に少し
も従わないと、
たちまち
死です。



いずれ無くなってし
まう物の為に労力をかけるこ
とはありません。むしろ、永
遠に続くものの為に努力を惜
しまないことです。富を蓄え
ることばかり考えてはいけま
せん。他の人を祝福して
あげなさい。



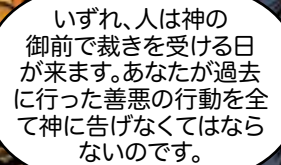
いのちは食べ物
以上のもの、からだ
は着る物以上のもの
です。神は野に咲く百
合の花にも気を配ら
れています。まして
や、あなた方には
それ以上です。



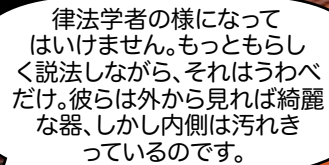
先生、どうかお弟
子さん方と我が家へ食
事に越してください。
あなたのお話を友人達
にも聞かせてやってい
ただきたいのです。



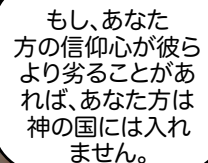
喜んで。



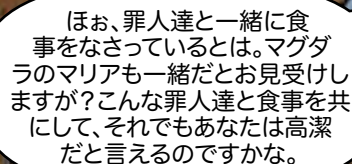
いずれ、人は神の
御前で裁きを受ける日
が来ます。あなたが過去
に行った善悪の行動を全
て神に告げなくてはなら
ないのです。



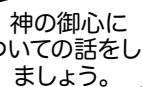
律法学者のようになって
はいけません。もっともらし
く説法しながら、それはうわべ
だけ。彼らは外から見れば綺麗
な器、しかし内側は汚れき
っているのです。



もし、あなた
方の信仰心が彼ら
より劣ることがあ
れば、あなた方は
神の国には入れ
ません。



ほお、罪人達と一緒に食
事をなさっているとは。マグダ
ラのマリアも一緒だとお見受けし
ますが?こんな罪人達と食事を共
にして、それでもあなたは高潔
だと言えるのですか。



神の御心
についての話をし
ましょう。



ある一人の男がいました。彼には二人の息子がおり、弟の方は反抗的で気ままに楽しい人生を送りたがっておりました。

あー、この話好きだ。



そこで、弟は父親の遺産を今すぐ欲しいと要求したのです。

父上、私にこの農地の私の分前を下さい。私は都会へ行き、もっと稼いできます。

何もそんなに急かなくとも、私の遺産はお前達のものだ。もう私も先は長くはないだろう。ゆくゆくは兄さんとお前の物になるんだ。生活するだけの十分な金はあるし、沢山の羊や牛もいる。畑には毎年、穀物も実る。召使いだって十分いるではないか。それに……

でも、私はここから出て世界を見てみたいんだ！農場なんかであくせく働いて一生を終わりたいくない。若いうちに楽しみたいんだよ！俺の友達なんかも……

お前の友達だと？奴らは、どの馬が速いのだ、どのワインが一番美味しいのだ、どの女が面白いのだ、そんな事ばかり考えているじゃないか。

好きなようにさせてやればいいんですよ、お父さん。彼がいなくても、我々はやっていきますよ。どのみち、彼がいても役に立たないんですから。

父上に人生が語れるのかい？こんな田舎の古い農場で、一生我慢して……。分け前をくれ！都会で自分の人生を見つけてみせる！



父親は、息子に遺産を分け与えた。そして彼は楽しみを見つける為に都会を目指して大きな海を渡って行った。

さあ、これに俺に指示する者は誰もいないぞ。

その頃、家を出た息子は……

うわあ、こりゃあ
思っていたより素晴ら
しい所だぞ。人といい、
建物といい、素晴らし
いや。面白いことが
待っている気が
するぞ。

まずは住
む処を探さな
くては。

気に入った、
借りるよ。

御用の節は何
なりとお申し付け
ください。昼夜問わず、
お仕えます。

さ～て、次は
どうするかな。明日
は外出して人に
会ってみよう。



ちょっと見て! 都会は初めてと見えるわね。田舎者だけど男前じゃない?

お~い、君! 楽しいことを探してるんなら、まず髭を剃ってマシな服を着なよ。



悪くないぜ、流行の服も似合ってるし…。



ようこそ、夕食の席へ。歓迎するぜ。

髪を整えたら、いい男になったじゃない?



我らの仲間に乾杯! 彼に幸多かれ!

そして、愛もね。



ウェイター、俺の友人達にワインの御代わりだ!



ねえ、二人だけであなたの家に行きましょうよ。



そして、次男は、家から遠く離れた都会で何ヶ月も贅沢をして暮らした。金がある限り友人にも恵まれた。

彼の馬鹿げた楽しみとやらで、彼の金も底を尽きる時が来た。しかし、未だ彼には金持ちの友人達がいた。



金がない？ どういうことだい？ お前は金持ちだったはずだろ？

そのお～、君のお父さんに頼んで、どこか働く所を紹介してもらえないかと…

それが…その…都会に住むには金がかかる上に、先週ギャンブルで残りの金を使っちゃったんだ。賭けで倍にする自信はあったんだが…。



すっからかんになったってこと？ ドレスを買ってくれるって言ったじゃない！

仕事？



ちくしょう！ こんな不潔な所で、汚らしい豚どもにエサやりとは情けないぜ。

友達だと思ってた奴らは、今じゃ話しかけてもくれない。その内、もっとマシな仕事を見つけて見返してやるさ。

ブー

ブー

ブー



お前が具合が悪かるうが俺の知ったことじゃない。早く行って、豚の世話をしなとクビにするぞ！お前の代わりなど掃いて捨てるほどいるんだからな！

分かりました、すみません。今すぐ行きます。

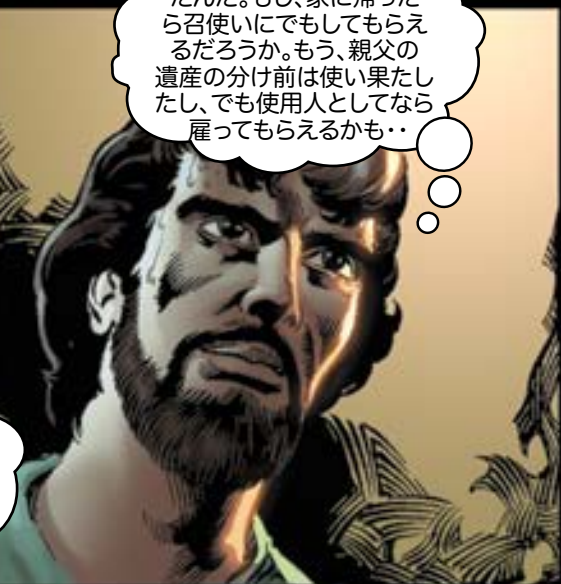


こんな給料じゃ食べていくにも一苦労だ。俺の「御友人方」は美味しい物を食ってるんだろうなあ。

俺はなんてバカだったんだ。もし、家に帰ったら召使いにでもしてもらえらるだろう。もう、親父の遺産の分け前は使い果たしたし、でも使用人としてなら雇ってもらえるかも…



こんな遠い所まで来て、一体俺は何をやってるんだろう。寒くて腹が減って、もうヘトヘトだ。親父の使用人でさえ、もっとマシな物を食ってるのに…。家に帰りたいなあ…。いや、ダメだ！今さら帰ることなんか出来るものか！笑われるのがオチだ。



よし、帰ろう！

バカやろう！金がないなら何キロメートルでも歩いて帰るんだな！



彼は何週間も歩き続け、家まであと一歩の所まで来ていた。

もうすぐだ。俺には家に入れてもらうどころか、こんなことを頼む権利もないが…。こう言おう「お父さん、私はあなたに息子と呼んでもらえる様な資格はない罪深い愚かな男です。でも、どうか、あなたの使用人として私を雇ってもらえませんか？」



あそこを歩いてくる男が見えるか？私の目の錯覚だろうか？いや、あれは私が待ちわびた愛しい息子だ！

幾分、年を取られ瘦せた様には見えますが、確かにあなたの息子さんですよ。



我が息子よ！



おおっ、我が息子！遂に帰って来てくれたのだな。

お父さん、私はあなたに対して罪深いことを...



息子と呼んでもらえる様な資格もありません。



死んでしまったかと思っておった。よく生きて帰って来てくれた。すぐに綺麗にしてやろう。

こんな格好で家に入るのは嫌じゃろう。使用人に、お前にぴったりの服と靴を用意させよう。宝石も無くしておるな。新しいのが要るじゃろう。死んでしまったかと思っていたお前が生きていたとは、なんと嬉しいことじゃ。



一番肥えた子羊を締めて、祝宴の用意をして。客を招いて、この良き日を祝おうではないか!



この喜ばしい日を皆さんと一緒に祝うことが出来て、私はこの上なく嬉しい。息子は試練の旅から帰ったばかりで、未だ弱りきっておりますが美味い物を食べると元氣も出てこよう。今日は我が人生で最高に喜ばしい日だ!



数日間、留守をしていた上の息子が帰宅し、祝宴が行われていることに気付いた。

この音楽に踊りといいい体全体、何の騒ぎだ?

あなたの弟さんが弱り果てて帰って来られたんです。とてもやせ細って、無一文でお帰りになられ、お父様は家に迎え入れられました。さあ、あなたも早く祝宴へ!

バカバカしい! 今まで好き勝手に暮らしてきて…なんたる恥さらしなことを!

使用人が、彼の父親に上の息子が言ったことを告げたところ、父親が出てきて息子に言った。




長い間、あの子を探して、もう会えないんじゃないかと諦めようと思っていた矢先、あの子が道を歩いて来たんだ。こんな偶然、信じられるかね。神はなんと素晴らしいんだ!

あんな罪深い弟を迎え入れるなんて、私には信じられません。私は彼に関わりたくはありません。




なかなか、面白い話じゃないか。しかし、あなたは私共が、まるで上の息子の様だと言いたいのかね?

耳のある者は聞きなさい。



あの男は訳が分らん!何故、みんな信じるんだ。




出発しよう。ガリラヤに戻り、休みを取りましょう。私が捕らわれる日はやがて来ます。彼らは、私を嘲り十字架に張り付けにしましょう。しかし、私は三日目に死から復活するでしょう。

彼は人々に希望を与えてるんだよ。

師匠の言っていることはどういう意味だ?死から復活する?

分らないが、例え話かもしれないな。

ああ、でも見せかけの希望さ。罪人にも永遠の命だと?奴は殺されるべきだぜ。今夜、皆を集めて大祭司の家に集合だ。




先生、大変です!マルタに頼まれてあなたの方を探しに来ました。ラザロが病で死にそうなんです。確か、あなたは彼の親しいご友人ですよね。お急ぎになられましたら間に合うでしょう。あなたなら彼を助けることができます。


ラザロが病だと?急がねば……

マリアとマルタに、すぐに向かうと伝えてください。この病気は死で終わるものではなく、神の栄光のためのものです。

二日後



師匠、我らの友ラザロが死に瀕していると聞いてから丸二日です。彼の元へ辿り着くには、少なくとも二日はかかります。急がねばなりません。



師匠、もう四日以上経っています。もう間に合いません。

ラザロは亡くなっています。あなたがたのため、あなたがたが信じるためには、私がその場に居合わせなかったことを喜んでいます。

明日、出発しましょう。神の栄光を見るでしょう。

死んだ?ラザロが死んだんですか?



イエス様とお弟子様方が到着なさいました。

ああ〜ラザロ!

いやあ〜!

その場を動かないよう伝えてください。パリサイ派や司祭達が揃っているのです、今入ってくるのは危険だわ。

なんと、ふびんなラザロよ!



イエス様、もう少し早く来てくださっていたらラザロは死ななかったはずですよ。あなたが祈れば、神は願いを聞いて下さるのではなかったのですか?

ラザロは甦りますよ。

ええ、最後の審判の時に復活するということは存じております。



わたしは復活であり、命である。

わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。

はい、イエス様、もちろんですとも。あなたは、預言された、世界を救う救世主様、そして神の子ですもの。



マルタはイエスと話し終えた後、使用人にマリアを呼びに行かせた。

悲しい別れをするために墓に行くのだろう。

おお〜!



主よ、何故もっと早く来てくださらなかったのですか。

ラザロをどこに埋葬しましたか？



ラザロを失って、どんなに悲しいか…。



イエス様はさぞ、お辛いだろうよ。

盲人は治せても、友人の命は救えなかったんだろ
うなあ。



石を退けなさい。

でも、イエス様、死んで四日も経つと臭いますよ。

もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか。石を退けなさい。

父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしを遣わされたことを、彼らが信じるようになるために。



ラザロ、出てきなさい。

死んで何日も経つんだぞ!

そうだ!なんとバカげたことを!



身体はもう腐りかけているんだぞ。

大勢の人の前でヘマをやらかした方が、却ってイエスを捕らえ殺すことが簡単になる。



な、なんだ!

ありえない!




神に栄光あれ!

うおお〜っ!




やったわ、マリア!さすがイエス様よ!


生きていた!死んで四日も経つのにラザロが生きていたなんて!




四日前に死んだラザロが、死んだ時のまま、全身を布に包まれた姿で墓から出てきたのだった。




布を解いて家に帰してやりなさい。




正に神の奇跡だ。




何なんだ、この騒ぎは？死装束など早く取ってくれ。




四日間、あなたは死んでいたのですよ。




師よ、お目にかかれて何よりです。あなたが私を甦らせて下さったんですね。




ああラザロ、あなたが戻ってくれて本当に嬉しいわ。




腹が減ったなあ。みんなを家に呼んで食事しよう！




神のなせる業に栄光を！神よ、我らが主よ！



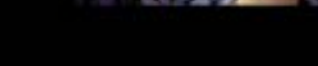
こんなこと信じられるか？インチキであんなことができる訳ない。この目でラザロが葬られるのを見たんだ！完全に死んでいたんだぜ。




イエスがとんでもないトリックを見せてくれたそうさ。あんな光景を人々が見たら、イエスはどんな死人をも生き返らせる事ができると思ってしまうだろう。




甦りの方法なんか知ったこっちゃない！こんな事が続けば、人々の気持ちはイエスに傾いてしまう。




パリサイ派と律法学者達に知らせなくては…



エルサレムの連中がこの事を知ったらイエスを王にするだろう。とにかく、早急に何とかせねば。




そんなことになったら、たちまち、ローマ軍が侵攻してきて我々の力も及ばなくなる。こんな騒動が起きているとは思っていないだろうがね。



問題は、イエスは暴力的でもなければ、ローマ軍に反抗した訳でもないということだ。

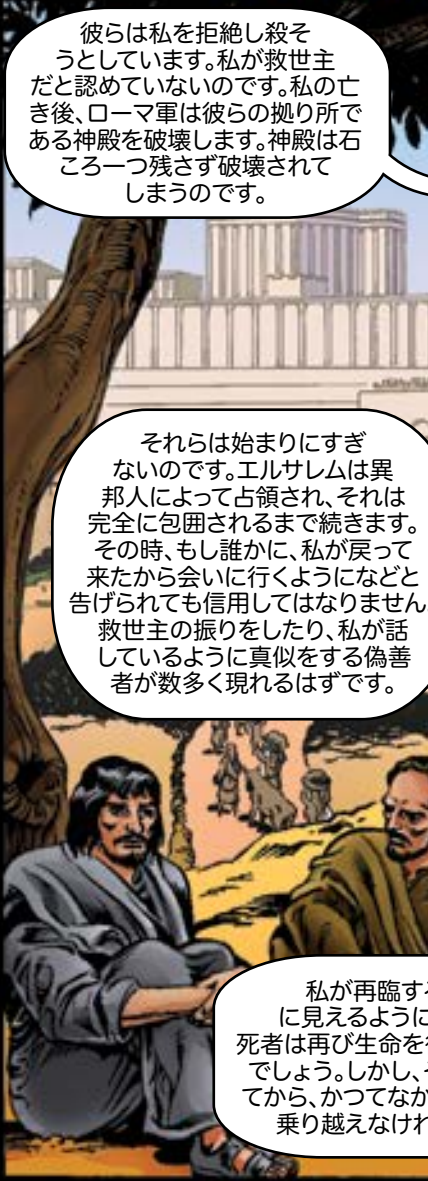
奴の言葉が問題なんだ。奴は我々を公の前で偽善者呼ばわりをしているんだ。我々はいいい笑いだ。バカにされるのがオチだ。



奴を何とかしなくては…。まさか、いくらイエスでも自分を甦らすことは出来ぬであろう。

彼が我々の信者を虐にする前に、早急に始末せねばなるまい。

ああ、ローマ軍が我々の元に来る前にな。



彼らは私を拒絶し殺そうとしています。私が救世主だと認めていないのです。私の亡き後、ローマ軍は彼らの抛り所である神殿を破壊します。神殿は石ころ一つ残さず破壊されてしまうのです。

私を愛し従ってくれた人々が捕らえられ、私を信じた為に国中の人から嫌われることもあるでしょう。また、家や仕事を奪われたり、中には命を奪われる人もいるでしょう。

そういうことが起こる前に、数々の戦争、地震、伝染病、飢饉、あらゆる種の大惨事が起こりますが驚いてはいけません。これで終わりが来た訳ではないのですから。

それらは始まりにすぎないのです。エルサレムは異邦人によって占領され、それは完全に包囲されるまで続きます。その時、もし誰かに、私が戻って来たから会いに行くようになどと告げられても信用してはなりません。救世主の振りをしたり、私が話しているように真似をする偽善者が数多く現れるはずですよ。

私が再臨する時は、全ての人に見えるように光の如く現れます。死者は再び生命を得、私は神の王国を築くでしょう。しかし、その前に地球が誕生してから、かつてなかった様な大きな試練を乗り越えなければならないのです。



先生、マルタ様が先生を探して来るようにとのことです。先生とお弟子様方を家にお迎えしたいと言っています。エルサレムにいらしては危険です。ラザロ様を甦らせて下さったことを快く思っていない者もいます。どうか、私共の処へおいで下さいませんか。

喜んで伺いますよ。私は苦難を受ける前に、もう一度彼らに会いたいと思っておりました。



イエス様とお弟子様方よ。

先生、どうか我が家だと思ってくつろいでください。

我が友ラザロよ、この間より随分と元気になりましたね。あなたの墓に参るより、こうして顔を見られたことは何よりですよ。



ご馳走を用意いたしました。どうぞ楽しんで下さい。

主よ、あなたは復活と命です。



先生、信頼できる筋から耳にしましたが、ユダヤ人はあなたを強制連行し殺すことを企てているそうです。

私がこの地上にやって来たのは、私の命を世界に捧げるためです。捕らわれ十字架に張り付けられることは承知の上です。しかし、三日目には私は復活します。



あなたは復活と命です。あなたが滅びることはありません。信じております。



マリア、香油などで何をやる気だ？



我が主、復活と命であるイエス様。亡くなられても再びあなたとお会いしましょう。



マリア、一年分の賃金でも買えない様な、そんな豪華な香油を何故に無駄にする？

イエス様に塗っているんだ。

高価な香油なんだから、売って貧しい人の為に使うべきじゃないのかね？



マリアは自分の髪で、イエスの足の香油を拭いた。

マリアの意思を尊重しましょう。私が葬られる時の為にこうしてくれたのですよ。



葬られる？ どういうことですか？

苦難を受けられると聞いたであろう？死ぬこと自体の苦難という意味ではないのだ。



良き羊飼いは羊の為に生命を捧げると話しましたね。私は、拒絶され苦しめられ葬られますが、必ずや三日目に復活します。

マリアは私の葬りの準備をしてくれているのです。その時は近いのですよ。しかし、それは同時に、私が称えられる時でもあります。さあ、その時を迎えるべくエルサレムへ上っていきましょう。



先生、エルサレムの人々が、先生のお越しになるのを待っております。

私が乗れる様な口バを連れてきてください。エルサレムへ行くのは、これが最後になるでしょう。



先生、何千という人々がエルサレムで待っております。先生を王として迎え入れたいようです。

私は拒絶され、非難されてきましたが死より三日目には復活します。



万歳！ユダヤの王よ！

主の名のもとにイエス様に祝福を！


ダビデの息子に栄光あれ！



イスラエルの王のお通りだ！

神を褒め称えよ！

約束されし救世主よ！




ダビデの息子よ、私達をお救いください。

みんな、イエスのことをイスラエルの王などと呼んでおると命が危ないと

人々はイエスが約束されし救世主だと思っているんだ。

いう時に、よくも堂々と神殿に来られたものだな。



神の家である神殿が、まるで市場のようじゃないか！

お安くしておきますよ。生費用に認可されたものです。

残念だが、この値で納得してもらえないなら他をあたってください。私にはこれ以上は無理ですな。

イエスは再び、この盗人と悪人ばかりの神殿を一掃した。

私の父の家で商売をするとは何たる侮辱。お前達は盗人と盗賊の集団だ！

よくも祈りの為の場を汚してくれたな。金と共に地獄へ墮るがよい！

お前は何者だ！

私の父の家を強盗の巣にするのではない！

何ということをしてくれたんだ！

気をつけろ！

ドーン！

ガツンヤ〜ン！

師匠、パリサイ派が見張っています。彼らは、やがて来る過越し祭の前にあなたを亡き者にしようと企んでいるという噂があります。

エルサレムに勝利の入城を果たしておきながら、奴が神殿を一掃する意味は一体何なんだ！

何度もいう様に、私は彼らの手により苦難を受け、しかし三日目には復活します。

ああ、全くだ。預言の書には「神の家を思う熱意が私を食い尽くす」とあり、救世主は突然神殿に現れるとも書いてあるのだ。その人こそが救世主だとな。

過越し祭の前には止めざるを得ないさ。奴の使徒の中にスパイを送り込んでおいたからな。

いいですか、私の亡き後、彼らはあなた方を捕らえ鞭で打ち、もしくは殺されてしまう者もいるでしょう。あなた方は私の愛と力の証人となります。裁きの場に連れて行かれるならば、あなたの口を借り私が言葉を教えましょう。子供達が両親に対して、訴えを起こしたり、またその逆もあります。あなた方は私に従った為に憎まれます。偽の預言者が数多く現れ、救世主の如く主張するでしょう。しかし、聖なる御霊はあなた方と共にいます。

最後の裁きの日に、あなたがこの地上に戻れるという前兆はあるのでしょうか？

誰もが、さも事実の様に私が戻って来たとか、あの場所にいるとか言っても惑わされてはいけません。私が戻る時は、まるで稲妻の如く現れるでしょう。私を信じていれば、最後の審判の時に必ずや救われます。私が戻るまで、その時がいつか誰にも分かりません。

その日はノアの時の様なものです。人々は、日々の生活や楽しみで忙しく、まさか洪水が起こり全てを流してしまうなどと知る由もなかったのです。例えば、私は夜中に忍び込む泥棒の様に、突然戻ってきます。

師匠、私は人に会いに町に行かなくてはなりません。すぐに戻りますので。

二人の男が作業していると、一人は私に救い出され一人は取り残される。

あるいは、二人の女が一緒に粉を挽いている時、一人は私に救い出され、もう片方は取り残される…その様なものです。とにかく、決して疑いを持たず、私が再び戻ってくる日を気をつけて見ていなさい。


ユダ、しようとしていることを、すぐしなさい。

イエスを連れて来てやるよ、いくら出す？


ユダ、しかしお前はイエスの弟子であろう？

神の栄光に包まれる日が来ました。小麦の粒は地面に落ちてしまわなければ、ただの一粒の小麦ですが地面に落ちれば、数多くの実をつけます。


ああ、三年間一緒にいたよ。でも、もう愛想が尽きたんだ。イエスは頭がおかしいのさ。俺は金が欲しいんだ。



私の心は今、困っています。何と
言うべきか…「天の父よ、私をお救い下さい」
と言うべきでしょうか。いいえ、私は今日、
この日の為に地上に来たのです。



父よ、御名の栄光
を現してください。



わたしはすでに
栄光を現した。
わたしは再び栄光
を現そう。

神のお声だ！
イエス様にお
答えになって
いる！


まるで雷鳴
のようだ！

天使がお答
えになった
んだ。

この声が聞こえたのは、
わたしのためではなく、あなたが
たのためです。今、この世に対する
さばきが行われ、今、この世を支配
する者が追い出されます。わたしが
地上から上げられるとき、わたしは
すべての人を自分のもに
引き寄せます。

私を、そして私の成すことを拒絶する
人は、神をも拒絶することと同じです。
私は世の光であります。私を信じる人
は、暗闇の中で迷うことなく永遠の命
を得ることが出来るのです。

私達知っている
ことは、預言書の中では
救世主は永遠に生き続ける、
ということです。でも、あな
たは死んでしまうとおっし
やる。では、救世主とは
一体誰なのですか？



しばらくの間、光はあな
た方と共にいます。その光
とは私です。どうか、光を信
じ神の子となりなさい。

俺には、さっ
ぱり理解でき
ないぞ。



第11章

過越祭と
キリストの
苦難



さあ、過越祭の食事の準備をしに行ってください。

私は苦難を迎える前に、こうしてあなた方と過越しの祝いの食事を共にしたかったのです。私は神の国が、この地上に立ち上がるまでは、こうして食事をするつもりでしようから。神の国が立ち上がった暁には、あなた方は私とテーブルを共にイスラエルの12の部族の裁きをする王座に座るのです。

いいですか、事が現実になった時に、私が言ったことが事実であったと分るでしょうが、詩篇41:9に「私のパンを食べている者まで私に向かってかかとを上げます」とあるように、私と共に食事をしている者の中に私を裏切る人がいます。



まさか!



人の子は、定められたとおり去って生きます。しかし、人の子を裏切るその人はわざわざいす。

主よ、まさか私を疑っているのでは? 私は決して、あなたを裏切ることはありません。

主よ、私でもありません!



師よ、私も決してあなたを裏切るなど断じてありません。



私と共に、この器にパンを浸しているあなたの方の一人です。



我々全員が、この中にパンを浸しています。

ヨハネは小声で、イエスに一体誰が裏切り者か尋ねた。「私がパンを浸し、それを与えた人です。」



師よ、私のことを言っておられるのですか？

いや、そうだ。



イエスはパンを浸すと、それをユダに与えた。



やるのなら、さっさと済ましてしまいなさい。



ユダはどこへ行くんだろう？

師は、彼にどこかへ行くように急かされたようだ。金の入った袋を持っていたから、貧しい人へ施しをしに行くつもりだろう。



さて、私の大切な弟子達よ、いよいよ私が神の栄光に包まれる時が来ました。もう時間はあまり残っていません。

あなた方は、私に付いてくことはできません。しかし、私はあなた方に新しい錠を残して行きましょう。互いに愛し合いなさい。互いを思いやり愛することで、人々はあなた方が私の弟子だと分るでしょう。

主よ、たとえ皆がそうであっても、私は決してそのようなことはしません。

ペテロ、鶏が二度鳴く朝を迎える前に、三度あなたは私のことを知らないと言うです。

ゼカリヤの預言に、正に今の時を表わす言葉があります。「私は羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散らされる」。私が復活した時には、私はあなた方より先にガリラヤへ行きます。今夜、あなた方は私を見知らぬ者の様に接することでしょう。

あなたを無視する位なら、その前に私もあなたと逝きます。

あなたを無視なんて出来ません!

そうです!たとえ拷問を受けようとも、主のことを知らないなどと言うはずがありません。



聖書は明確ですよ。あなた方は私を拒否します。「彼はまるで罪人のような扱いを受けるだろう」と私のことをイザヤが預言しています。

ペテロ、私に対する信仰心が揺らいでも、再び私を信じるその時には、あなたの兄弟達を強く信仰に導きなさい。



地球の恵みを与え我らが神、宇宙の主よ、あなたに栄光あれ。

このパンは私の身体を表わしています。これを、あなた方に分け与えましょう。過越しの日を迎える度に私を思い出しなさい。



私の身体はあなた方の為に引きちぎられます。



さあ、取って食べなさい。



この一杯のぶどう酒は、私が流す血をもって、あなた方の罪を償うという契約を表わします。



少しずつ分けて皆で飲み干しなさい。神の国で、再びあなた方と出会うまで私はもう、ぶどう酒を飲むことはないでしょう。



どうか、私が復活するその日まで、その度に私の死を思い出してください。



私が言ったことで恐れてはいけません。神の国にはあなた方の場所があります。私が去っても、あなた方の為に場所を用意しておきます。そして、私が戻って来た時には、あなた方を私と共にいる場所に連れて行きます。



しかし、主よ、あなたはどこへ行かれるのでしょうか。そして、あなたの元へ行く道が分りません。



まだ分らないのですか？ この私こそが道であり、真理そして命なのです。私を通してでなければ、誰も父の御元に行くことができません。あなた方が私のことを知っているなら、天の父のことも知っているはずですし、見たこともあるはずですよ。



主よ、私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。

ピリポ、こんなに長い間私と一緒にいたのに、私を知らないのですか。私を見た人は、父を見たのです。父と私は一つなのですから。



私は決して、あなた方を見捨てたりしません。必ず戻ります。私が見えなくなりますが、あなた方に聖霊を送りましょう。あなた方の傍にいて真実に導いてくれるでしょう。

私を愛し信じているならば、錠を守りなさい。何人も壊すことの出来ぬ安穩を、あなた方に上げましょう。




私を愛してくれているなら、あなた方は喜ぶべきなのです。なぜなら、私は父の元に行くからです。以前、その話をしたのは、事が起きた時に信じられるようにと想ったことです。


さあ、立ち上がり讚美歌を歌いましょう。そして、祈りに庭園へ行きましょう。



イエスと11人の弟子達は、最後の讚美歌を合唱した。



静かに付いて来なさい。いつもの場所に行き祈りましょう。



何度も言う様に、私があなたの方の前からいなくなっても悲しむ必要はないのですよ。暫くしたら会えるのですから。

嘆きは、やがて大きな喜びに変わるはずですよ。私は天の父によって使われ、そして父の元へ戻って行くのです。

あなたのお話はとてもよく解りました。私共はあなたを信じます。


本当に信じられますか？ やがて、あなた方は私を残して去って行きます。祈りを捧げに行く間、少しここで待っていて下さい。

天の父よ、時は来ました。あなたの命じられた事はすべて済ませました。あなたご自身が御前で私の栄光を現してください。世界が始まる前に一緒に持っていたあの栄光を。私はあなたのことを彼らに教え、私の成し遂げたことも彼らに伝授しました。

世間が私を憎んだ様に真実を知った彼らも憎まれるでしょう。彼らはこの世界に属する者ではありません。私がお願いすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。


私は悲しみのあまり死ぬほどです。

私があなたと共にいる様に、彼らも私と共にいられます様に…。どうか、天の父よ、私を愛してください。あなたの偉大なる愛を彼らの中に、そして彼らの中にも私がいることが出来ます様に…。




イエスは、全ての人々の罪を背負う
為にこの世に来たのだが、いよいよそ
の時が迫った時、この世の全ての人々
の罪を背負い、十字架に掛けられ殺さ
れることを嘆き屈辱の念に陥った。


天の父よ、どうか出来
ることならば、この苦しみの杯
を飲むことがないようにしてく
ださい。しかし、私の心はそ
う願わずとも、あなたの意
に従います。



天の父よ、
私がこの苦難の杯を飲
まずに済むよう取り除
いては頂けませんか。



しかし、私
の願いではなく、
みこころがなり
ますように。



突然、天の使いが現
れ、イエスを力づけた。


聖なるお方、
いよいよ苦難を受け
られる時が来ました。
しかし、お父様が傍にお
られます。あなたが世界
中の人々の罪を背負う
明日、天使の軍勢が
見守っております。

イエスは大量の
汗を流した。

私共は世界の創始の時か
ら見ておりましたし、あ
なたが世界を救われるそ
の日に、あなたと共に
そこにいます。

明日、サタンは打
ち負かされ罪は償
われる。

「あなたは私の前に食卓を整
え、頭に香油を注いでくださ
います。私の杯は、あふれて
います。まことに、私のいの
ちの日の限り、いつくしみと
恵みが私を追って来るでしょ
う。私はいつまでも主の家に
住みます。」



さあ、立ち上が
るのです。滅びの子、
ユダがあなたを裏切
ろうと近づいています。



天の父よ、
私は今、この時の為に
この世界にやって来た
のです。



何故、眠っているの
ですか。あなた方は、ただの一
時でさえ私と共に祈って下さら
ないのですか。起きなさい、私が
裏切り者に売り渡される時が
来たのです。



師よ、こんな
場所でお会いでき
るとは…。残
念なことには尾
行されたようです。



ユダ、あなた
は口づけで裏
切るのか。



ユダ、この裏
切り者！

反抗す
る奴は皆殺
しだ！

待ちなさい！
一体、あなた方は
誰を探しているの
ですか。



ナザレのイエスだ。

わたしである。



気をつけろ！
こいつは神力を持っているぞ。

兵士達はイエスに
恐れをなして地面
に倒れこんだ。



奴がイエスだ！
何を怖気づいているんだ！捕まえろ！



ご主人様には指一本触れさせんぞ！



ザクツッ！

ぎゃああ〜っ！



やめなさい!もう血を流すことはいけません。ペテロ、刀をしまいなさい。その気になれば、私は1万もの天使の軍勢を呼ぶことが出来るのです。今は暗黒の時なのです。

耳を切り落とされたっ!



あなた方は、まるで私が犯罪者の如く刀を持って捕らえに来たようですが、私はあなた方と一緒に神殿にいましたのに、何故その時に捕らえなかったのですか?教えてあげましょう、預言の書に書いてあることが現実となるためなのです。



神よ、助けてください!



さあ、元通りになった。



必要なのは私だけでしょう。私達は抵抗などしません。私だけ捕らえ、他の者は開放しなさい。



奇跡だ!耳を元に戻してくれたぞ!耳が元に戻ったぞ!



奴らを抑えろ!一人残らず抑えろ!逃すんじゃないぞ!

さあ、行くぞ。

弟子達は全て、闇の中へと逃げ去ってしまった。



さっさと歩くんだ！
人々が聞きつける前に
終わらせたいそうだからな。

彼らはイエスを、司祭
達や証人達が集められ
ている処へ連行した。

聞くところによれば、
そなたは自分を救世主であり、
神はそなたの父親だと言っ
ておるそうだな。この世の人間
ではないということなら、そ
なたは一体何処から来た
と言うのか。



シナゴークや神殿で
何度も教えを説いてきたでは
ありませんか。こそこそ隠れて
教えを説いていた訳ではありま
せん。何故、私に聞くのです
か？私の話を聞いていた人に尋
ねれば分かることです。




ガンッ！

それが大祭司
に向かって
言う言葉か！

この男の言
うことに反論のあ
る証人を連れて
来い。

私が間違っ
たことを言っているのなら
何が間違っているか、そ
れを説明してごらんさ
い。正しいことを言っ
ていると思うなら、何故
私を打つんですか？




この男は、神殿を破壊しても三日の内に手を付けることなく立て直してみせると言いました。

いや、違うね。誰かが神殿を壊しても立て直すと言ったんだ。


バカな! 自分の身体をどうやって三日で作直すんだ?

お前達はその場にいかなかっただろう。俺はこの耳で聞いたんだ。神殿を破壊する云々の話しの時に、確かに彼は自分を指して言ったんだ。彼は自分の身体のことを言っていたんじゃないのか。

知るもんか! 三日で神殿を建て直すことだって、どうやるのか分かるわけないさ!




非難されているというのに、そなたは何も答えなくてもよいのか?




イエスは沈黙を守った。

気が違った奴に何も答えられる訳がない。



そなたに命ずる。神に誓って述べよ、そなたは神の子キリストなのか?


いかにも、私は神の子です。あなたがたは今から後に、人の子が力ある方の右の座に着き、そして天の雲とともに来るのを見ることになります。



もうこれ以上証人は必要ない! ここにいる者は各々の耳で聞いたはずだ。この男は自分のことを神の息子だと言い、神を冒した。よって、この男は処刑に値する。

目隠しをしる。預言者とやらの成り行きを見ようじゃないか。


祭司は自分の衣を引き裂いた。それは、まるで悲しみで溢れんばかりの彼の心の様であった。



痛めつけてやれ！
よくも俺の商売の邪魔
をしてくれたな！

あの様
で預言が出来
るか見物だぜ。

奇跡を
起こして
みるよ！



あの様を
見るよ！

ドスツッ！


もう一度殴っ
てやれ！

今、誰が
お前を殴ったか
預言者ならば言
い当てられるだ
ろう？

ドスツッ！


奇跡で
その傷を治
してみろ！

その頃、神殿の外ではペテロがイエスの後を離れて追って来ていた。




あなた、
見たことがあるわ。
ほら、イエス様と一
緒にいらっかった、
お弟子さんの一
人よね？

イエスなん
て知るもんか。私は
只、何事が起こった
のか見に来ただけだ。




俺は、
庭園で今夜あなた
を見かけたよ。あ
なたはお弟子さん
の……


あんた、
おかしいんじゃないか？私は身分の
低い只の漁師だ。
イエスなんて知ら
ないなあ。




いいえ、あなたは確かに
お弟子さんの一人よ。何度か
見かけたことがあるもの。




うう、あの…
その…、ご婦人よ、
私は今までイエスなん
て男とは会ったことは
ないんだ。




コッケコッコー
コッケコッコー



今朝は鶏がやけに
早く鳴いたもんだな。




イエスが連れて行かれる
ようだ。ありや、
かなり酷く殴ら
れたな。



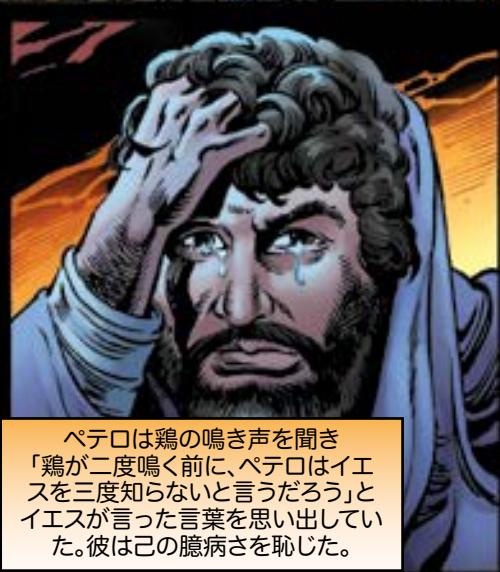
民事裁判で
判決を下すらしい。




鞭で打っ
てやれ!



偽善者達は、
自分達の手は汚した
くないんだ。



ペテロは鶏の鳴き声を聞き
「鶏が二度鳴く前に、ペテロはイエ
スを三度知らないと言うだろう」と
イエスが言った言葉を思い出してい
た。彼は己の臆病さを恥じた。




九尾の
猫鞭の刑だ!

神よ、私はなん
という事をしてしまったので
しょう。イエス様の言われた
様に、三度も知らないと言っ
てしまった。何故、こんな
に…。何故、師はこんな
苦難を……

逃げ!
一晩中そうして
いるつもりか!


天の父よ、
私に強さを……



こんな所で何をし
ておるのだ。お前が師を
裏切った代償は十分に支払
ったはずだ。

気が変わ
った!金は返
す、だからイエ
ス様を逃がして
くれ!

そんな血塗られ汚れた金に
触れられる訳ないだろう!お前の師は、
日付が変わる前に死んでしまうのだ。
もう恐れるものは無いだろう?お前
には未だ他の使徒を探し出す仕事が残っ
ているのだ。




金を受け取れ!
私はいらぬ。
自責の念に縛られ生き
ていくのは御免だ!

チャリン!
チリン!



愚かな
奴め。



もう生
きてはいけ
ない。



神よ、私はなぜ、こんなことを？



何故、欲望に勝てなかったのだろう。



死ねば安らかにいられるかもしれない。



彼を見かけた時には、もうどうしようも出来なかったんだ。

とにかく急げ、木から降ろそう。未だ息があるかもしれない。



男達がユダを助けるに木に登ったが、彼の魂はすでに破滅の炎の中に落ちて行った。



彼を降ろすから捉まえてくれよ。さもないと、ここは断崖絶壁だからな。



とてもじゃないが無理だ!



なんてこった!
身体が裂けて、
内臓がそこじゅう
うに散らばっち
まった!

ううっ… 吐きそうだ。

これも聖書に
預言されていた。

また、異端者が
何か連れてきたの
か?そなたたちの法
で裁けばよいで
はないか。



この者が死刑に値する
者でなければ、あなたの元へ連れ
て来ません。我々に、死刑の判
決を下す権限がないことはご存
知のはず。ですから承認
を頂きたい。

私はこの世界の王ではなく、
私の王国の王です。私がこの世
界の王であるならば、弟子達は
私を救う為に戦うはずです。

自分は王だ
と主張して
おります。

その罪と
は何だ?

お前はユダ
ヤの王なの
か?



ならば、
お前は王とい
うことなのだな?

ですから、
私は真理を証明する為
に、この世界に来たの
です。真理に属する者
はみな、私の声に聞き
従います。



処刑にする
ほどの罪には思え
んが…

張りつけに
しろ!張りつけだ!

連れて
行って鞭打
ちにしろ。

鞭は何回だ？

最大の
39回だ！

伝道師さんが、
どこまで耐えられる
か見せてもらおうじ
ゃないか。

九尾の猫鞭とは、90センチ程の長さの革紐を編み、その革紐の先に尖った岩石、または骨や金属をくりつけた物を九本、それらを約46センチ程の木製の持ち手に付けた鞭のことである。

うわああっ！

もっと強く！

弟子とやらはどこ
に行っただい？

情けを請
わないのか！

バシッ！

これで、
奴の命も奇跡とやら
も遂に終わりだ！

35

36

37

38

39



背中はめちゃくちゃだ。

俺は一度でいいから、王を鞭打ちしてみたかったんだ。



王と言うなら、紫の衣を着せてやろうじゃないか。

冠も必要だろう。



あっははは、冠にピッタリの物があったぞ!

痛っ!



さあ、これはお前のしゃくだ。いいぞ! はははっ

冠をしっかりと頭に乘せてやれ。



俺達がお前を世界の王に仕立ててやったぞ!

あああああっ!

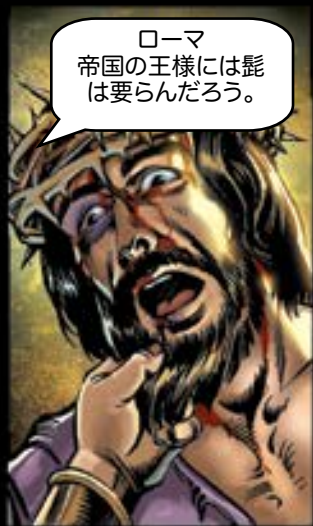


さあ、真っ直ぐに立て!

ほら、王様よ。しゃくも、しゃかり持て。

はははっ、王よ永久に!

いいぞ、一夜限りの王様だ!



ローマ
帝国の王様には髭
は要らんだろう。



よ〜しっ、
これで王らし
くなったぞ。



くそ面白
くも無い! 情けを請
うこともしない。
ピラト様のもとへ
連行だ。



見よ、そなた
達の王だぞ。

我々の
王はローマ
皇帝のみ!

この男を見よ。
私に一体どうし
て欲しいんだ?

十字架に
つけろ! 張り
付けにしろ!




では、そなたら
で張りつけにすれば
良いではないか。こ
の男にそれ程の罪が
あるとは思えん
が...



罪がない?
どういうことす
か? 奴は自らを神
の子だと言っ
てるのですよ!



神の子だ
と? ここへ連
れて来い。



そなたは一体何者だ？
何故、答えんのだ？生かすも
殺すも我の力にかかっておる
のだぞ。


皆の者、
聞くがよい。この男
は処刑に値するよう
な者ではない。よっ
て彼は釈放とする。

上から与えられ
ていなければ、あなた
は私に対して何の権
威もありません。

釈放な
どすれば、あなた
はローマ皇帝
の敵ということ
ですぞ！

十字架に付けろ！
張り付けだ！

もうよい！
彼を連れて行け、好きなように
するがよい。しかし、言うてお
くが、我はこの男の処刑に関し
ては一切無関係だ！



ペテン師を張り
付けに！

奇跡と
やらはどうし
た？



奴にはそんな力はもう残ってないさ。

ドサツ!
ズブツ!



立て！
鞭を食らいたいのか！

おい、
そのお前！
十字架を背負うの
を手伝ってやれ。

なぜ、私
が…



この人は
何をした
んです？

皆を愛し
過ぎた結果さ。



ああ、イエス様…
なんということ。

エルサレムの婦人方よ、
私の為に嘆かなくてよしい。
嘆くなら、あなた方自身や子供達の
為に嘆くべきです。やがてエルサレ
ムに下る恐ろしい制裁と死に対して
泣くべきなのです。



イエスは自らの死に場所である丘へと十字架を運んだ。その日、他に二人の盗人が各々の十字架を運んだ。

イエスを心から信頼し、愛する者は大勢いたが、彼らはそのことを口に出すことを恐れていた。



さあ、これを飲め。痛みが和らぐぞ。

いいえ、天の父が命じておりません。

この期に及んでも、未だ神の子だと言ってるのか!



しっかり伸ばせよ!

金づちと釘を持って来てくれ。



抑えてろよ。最初の打ち込みで動き回られると面倒だ。釘が骨の間を突き抜けて、板に完全に食い込むまで抑え続けるよ。



やめてえ〜! イエス!

ガーン!

ズシッ!



なぜ、こいつは自分が神の子なんて言ったんだ?

古い預言の書がどうのこうの、言っていたが俺達の知ったこっちゃない。



両足をしっかり押さえる! 骨と骨の間を突き抜けるまでには、何度か打ち込まなくてはならんからな!



マリヤ、私にはもう耐えられません。

こんなことになるなんて...

者ども、引っ張れ!

もっと力を入れんか! 情けない奴らめ!



お父様、彼らをお赦し下さい。彼らは自分達が何をしているか分かっていないのです。

ヨハネ、あなたがいてくれて良かった。酷すぎます。

我々、全ての者がイエス様を見捨てたのです。



イエスの衣だ。俺はこれをもらおう。

いや、駄目だ！
切り裂いて四つに分けよう。

これは編んであるから分けるのは無理だな。

くじで決めりゃいいさ。

それは「彼らはくじで衣を分け合う」という預言の通りであった。



サイの目の、多いものを出した者の勝ちだ。

レオ、気をつけるよ血が掛かるぜ。



彼は他人を救っても、自分を救うことは出来なかったのか。

おい、イエス。お前は、神殿を破壊しても三日で建て直すと言ったな？ならば、十字架から降りる事なんか簡単だろ？

イスラエルの王、キリストさんよ、十字架から降りて我々を納得させてみるよ。

神が助けに来てくれるんだろ？喜べよ、神が助けてくれるのなら。

ペテン師！



さあ、これを口に含め。痛みが軽くなるぞ。

結構だ。



お前がもし、神の息子なら十字架から降りて奴らを殺せ!

お前は恐れ多くも、そんなことが神に対してよく言えるな。もうじき死ぬって分かっているのか?



俺達は殺されて当然の事をした。しかし、このイエスは悪いことは何もしていないじゃないか!

イエスよ、あなたの御国においてになるときは、わたしを思い出してください。



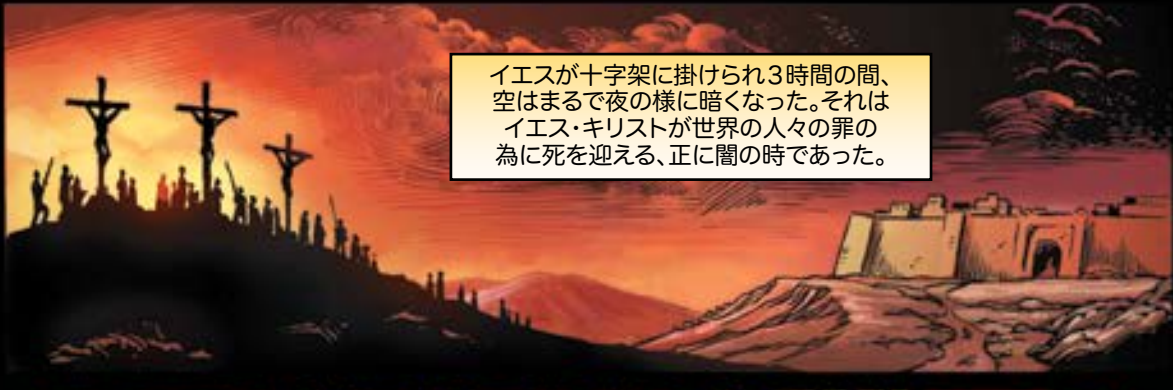
今日のこの日、あなたは私と共にパラダイスにいます。




ヨハネ、母上を頼みましたよ。

はい、確かに...

ああ、イエス。なぜなの?




イエスが十字架に掛けられ3時間の間、空はまるで夜の様に暗くなった。それはイエス・キリストが世界の人々の罪の為に死を迎える、正に闇の時であった。



罪の重みが全てイエスの上に押しかけた時、イエスは叫んだ。

我が神、我が神、なぜわたしを見捨てになったのですか？

神はわたしたちのために彼を罪となさいました。



父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。

ああ～、ヨハネ！イエスが死んでしまう！本当に死んでしまうわ！

完了した！

そして、彼は息を引き取った。

その時突然、大きな揺れが起こった。

どうなっているんだ？空は闇のようになるし、次は大地が揺れた。

きっとイエスだ！ユダヤの王、イエスの仕業だ！

奇跡なんか死人に起こせる訳がないだろう！

空が明るくなってきた。なんと奇妙な日なんだ。

ああ、全くだ。丁度イエスが死んだ時だった。

本当に、この人は神の息子なんだろうか？

未だ、足の骨を折る仕事が残っているぞ。日没までに、彼ら全員の死亡を確認して十字架から降ろすようにとのことだ。明日は安息日だからな。

イエスの足は折らなくてよからう。もう死んでいるからな。イエスが死ぬ直前に言った事を聞いたか？奴は神に、我々が奴を殺す事を赦すよう祈っていた。俺は、彼が奇跡を起こす聖なる人物だと聞いた。

十字架に掛けられて死ぬこと、しかし骨は一つとして碎かれることがないということも預言の通りであった。そして予言は成就した。

そこで、兵士達はイエスを抜かして盗人の足の骨を打ち砕いた。

ガツン！



少なくとも、骨は砕かれずに済んだのね。

マリヤ、私はイエス様を埋葬するのを手伝ってくれる者を探して来ます。



安息日が日没と共に始まり、時間も遅くなっていた。遺体の埋葬も急がねばならなかった。



12使徒の中の一人ではないが、ヨセフという金持ちの男が自分の所有する墓にイエスを埋葬したいと願った。

じぎに安息日です。私の所有する新しい墓に彼を安置しましょう。



ヨセフ、有り難く思います。良くして頂いて感謝しています。



第12章

復活と初期教会



急げ、暗くなるぞ!

覚えているだろ、イエス様はこうなることを何度も我々に話して下さっていた。上手く説明は出来ないが、まるでイエス様はこの様な死に方を望まれていたのかと…。彼は全てをご存知だったんだ。夕べもそう言われていたではないか。



ご遺体に香油を塗って差し上げる時間もないわ。

安息日が過ぎたら戻ってきて塗って差し上げましょう。

それじゃあ、三日も先になってしまうわ。

そうするしかないわ。

段になっておりますゆえ、足元に気付けて。

祭司たちはピラトの元へ戻って行った。

ピラト様、張りつけにした例の不屈き者が、死んで三日目に生き返るなどと言っております。

入り口を破られぬよう、しっかり見張っているんだぞ。

もし、奴の弟子達が墓に忍び込んで、遺体を運び去るようなことになれば大変なことです。墓の入り口に門番を置くべきです。

よし、番兵を配置しよう。然りべき措置を取るがよい。

これだけの面々が守っていれば、蟻一匹忍び込めるはずないですよ。





死人の救世主が逃げ出すとでも？死体は完全に守ってみせますよ、なあ、お前達！

あっはっは！



イエスが埋葬されて三日後…

死人の見張り番なんて前代未聞だな。



任務が終わる夜明けまで、もうすぐだ。



すぐに夜明けですわ。急ぎましょう。三日目が過ぎてしまおう。

そうね、早く終わらせましょう。



また地震だわ！

きゃあ～！



今の揺れは大きかったわね。

誰かが叫んでいるわ! 怪我でもしたのかしら?



な、なんだ?

うわあああ〜!



神だ!

石を動かしている!

殺されちまう!

神よ、お助けを!



置いていかないでくれ! 神様、お助けください!

あ、ありえない!

逃げろ、やばいぞ!

あんな大きな石をどうやって動かせばいいのかしら？

しばらくして…

誰かが石を動かしたんだわ！

分からないわ。でも、香油も塗らずに三日三晩経ってしまったから、ご遺体は臭うかもしれないわね。

彼女達は、兵士達が墓を見張っていたことは知らなかった。

ご遺体がない！お墓は空っぽだわ！

まあ、あなたはどなた？イエス様のご遺体はどこなのですか？

あれは埋葬用の衣だわ！

びっくりしなくていいですよ。処刑されたイエス様を探しておられることは知っています。彼はもうここにはいません。彼の言葉通り復活なさいました。

イエス様が安置されていた場所をご覧になられたら弟子達に伝えてください。イエス様はガリラヤで彼らにお会いになります。

イエス様が生きておられる？あのラザロのように生き返ったと？

あの方々は神のお使いですわ！

イエス様が生きている！

急ぎましょう！お弟子さん達に知らせなくては…



イエス様は生きておられるわよ！私達はお墓に行ってきました。

イエス様はお墓にはいらっしやなくて、天使たちがそこにいました。

イエス様は、三日目に復活なされると言っておられましたよね？

あなた方とガリラヤで会われるそうです。



ペテロ、どこへ行くんだ？

墓だ。



ヨハネはペテロの後を追いついて、ペテロを追い越して走った。

ヨハネ、待って！そんなに早く走れないよ！



空だ！



どういうことなんだ？

ヨハネ、埋葬用の衣がまるで、たった今、起き上がって出て行ったかのように折り畳ま

れている。まさか!

天使なんてどこにもいないぞ。彼女らは幻でも見たのかもしれないな。

白い衣を着た男達を見なかったの?

天使どころか、誰一人として見なかったよ。イエス様のご遺体もなかった。

しくしく

ご婦人よ、なぜ泣いておられるのか?


私たちの主のご遺体を誰かが持ち去ったのです。私には、ご遺体がどこにいったのか見当もつきません。

マリア!

先生!

マリア、まだ私に触れてはなりません。私は未だ父の元の上っていないのです。しかし、弟子達にはあなたが見た通りのこと、そして私が彼らに会いに行くことを伝えて下さい。

我が主よ、生きておられたのですね。



弟子達は、イエスが死から甦ったと聞き、耳を疑った。

ペテロとヨハネは、墓が空だったと言っていたから、誰かがご遺体を盗んでいったに違いない。バカバカしい事を言いまわっている婦人達を止めなくては…みんな、うろたえてしまうぞ。

エマウに戻ろう。ここにいる理由は、もうないからな。

三日目だな。

ああ、しかしイエス様がもし、復活なさるのなら何故、わざわざ殺されなくてはならなかったんだ？

そうだな、イエス様がもしも王となられるなら、なにも内密にすることはなかった訳だ。

ご一緒してもよろしいかな？

うわっ！びっくりさせるなよ。どこから来たんだ？

もちろん、いいさ。歩くには最高の日だ。

あなた方が話していることが聞こえていますね。何か悲しいことでもありましたか？


あんたは、三日前にナザレのイエス様に起こった事を知らないのかい？

我々が信じ、希望を持っていた救世主が張りつけにされたんだ。


そこで、二人の弟子が墓に飛んでいったが、イエス様も天使もいなかったんだ。ご遺体は行方不明だ。

今朝、婦人達が墓に行ったところ、イエス様のご遺体が無くなっていったんだ。彼女達は天使を見たと言い、イエス様は生きておられるとまで言う始末さ。

あなた方は預言の書に書いてある、救世主のことを信じていないのですか？聖書には、イエスは数々の苦難を受け、そして栄光の王国を立ち上げると書いてあるのではなかったのですか？




その、十字架に掛けられた
ナザレのイエスが自らをキリス
トと言ったのなら、神ということ
ではないのですか？イザヤが書いて
います「キリストは全能なる神、神は永遠
である」と…イエスはあなた方にも言っ
たではなかったですか？「イエスを知っ
ているのなら、あなた方はすでに神
をも知っているはずである」と。彼
の言葉は聖書にも明らかにされている
ではありませんか？




イザヤはこうも書いている：
キリストは、イスラエルまたはユダヤ
に、ユダヤ人の王がいない時に現れ
る…それが今、この時です。救世主
は処女が身ごもり処女から誕生すると。
預言者ミカによると、その子供はユダ
ヤのベツレヘムで誕生すると…多
くの預言者が、その子供はダビデ王の
系列であると伝えています。

なぜならば、
ヨセフとマリアは
共にダビデ王の系
統なのです。

イザヤの預言では、救世主はイ
スラエルから拒絶されると記述されています。
預言者達はまた、彼が受けることになる苦難につ
いても預言しています。彼は仲間の一に銀貨30枚
の為に裏切られ、多くの告訴人の前で自らを正当化
する術もなく痛めつけられ、傷つけられて彼の顎ひ
げはむしり取られる。裸体にされたイエスの顔に唾
を吐きかけ、彼の背中中は鞭で打たれて、かつて無い
ほどに傷つけられる。預言者ゼカリヤは、
この様に記述しています。




救世主はまるで、
屠殺場に連れて行かれる子
羊の様に、彼の友人達より
槍で突かれ両手に傷を付
けられ殺される。このよう
にして、彼の死は決定的と
なり、やがて金持ちの墓に
埋葬される。



預言者は、
キリストがイスラエ
ルの良き羊飼いと
して、盲者の目を開き
捕らわれ人を解放し、
救い主としてシオン
に来ると言った。

しかし、これは彼が避けて通る
ことが出来なかった悲劇ということ
ではない。何びとも彼の生命を奪うことは出
来ない、しかし、こうなることは、彼の意志だとイ
エスは言いませんでしたか？イザヤは、イエスの魂
は罪を償うための生贄のようなもので、イエスが痛
めつけられることは神の御心に適ったことだと言っ
ています。他人の罪の為に彼は殺され多くの罪
を彼は負い、彼の死によって人々の罪は赦さ
れるのです。

死は終わりを意味するの
ではありません。イエスの死後
も彼の生命は終わることなく続き、
彼は賛美を受けあがめられ、この
世の終焉の救世主となるであろう。
彼には不可能な事などなく、救世
主は新たな誓約となるだろう。彼
は、新しき地上においての、新し
き都市にてイスラエルを建て直す
審判かつ統治者とな
るだろう。



誰もが彼にひざま
ずき、彼こそが主である
と誰もが揃って認める日
がくるであろう…とイ
ザヤは言っている。

さて、教えてくれない
かね？何故、そんなに悲
しんでいるのですか？婦人
は、天使からイエスが復活
したと聞いたと言いません
でしたか？

な、なんと！



私の家です。さあ、旅のお方よ、夜はもう遅い。今夜は私どもと一緒に過ごして下さい。私はイエス様についての預言をもっと聴きたいのです。



旅のお方よ、もしよろしければ、我々の食事を祝福してください。さらぬか？



大地の恵みを与えし宇宙の王、我らが主よ。神よ。私達に食事を与えて下さり心より感謝致します。



さあ、いただきます。ましよう。

イエス様！あなただったのですか！

師匠！



消えた！

一体、どこへ！

我々はずっとイエス様と一緒にいたのだ。

あれだけの預言をご存知だったのも納得できる。



イエス様が生きておられた！死でさえ彼を縛れなかったのだ。生きておられたんだ！エルサレムに戻って弟子達みんなに伝えよう。

一方、
エルサレムで
は…

ちゃんと錠を
下ろしておこう。イエ
ス様のご遺体が無く
なって祭司達の怒りは
今まで以上だ。我々が
盗んだと思っている
らしい。

イエス様
は三日目に復活なさると
おっしゃった。

私はイエス様
のお姿を拝見し、こ
の手でイエス様の釘
で打たれぬかれた跡の
ある手に触れるまで
は信じないぞ。

あれだけ大
勢の兵士がいる所
から盗んだと？

ゆ、幽
霊だ！

助けて！

イエ
ス様！

恐れなくてもよろ
しい。トマス、私の姿を見る
までは信じられないと言いま
したね。さあ、近寄って釘の
跡のある私の両手を見て御覧
なさい。ほら、私の身体の傷
に触れて御覧なさい。

我が主よ、
我が神よ！

トマス、あなた
は私を見て信じまし
た。しかし、見ずと
も信じられる人は、
もっと祝福されます。

何か、食べるも
のがありますか？あ
なた方に伝えることが
沢山あります。私は数日
間、あなた方と共に
いますよ。

先生！

イエス様！



私はガリラヤで弟子達に会いましょう。全ての弟子達に伝えて下さい。そこで話します。

キリストが、あなた方の罪の為に苦難を受け、三日目に死から復活することや、エルサレムを基点に真理は、彼の名のもとに遍く全世界に伝道されるということは、遥か昔から聖書に書かれています。エルサレムで待っていなさい。私はあなた方に聖霊を送りましょう。真理を広める手助けとなるはずで



私には天においても地においても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、私があなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。私は世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

私の父の家には住む所がたくさんあります。あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。私がいる所に、あなたがたもいるようにするためです。



エルサレムへ行き、聖霊があなた方に降りて私の名のもとに力を授けてくれるのを待ちなさい。

イエス様が上って行かれる!

天のお父上の元へと戻って行かれるんだ。



この世の終わりの時まで、私はあなた方と共にいます。

行ってしまわれた。天国に戻られたんだ。



まだあなた方は空を眺めているのですか?

何だって? あれは誰だ?

お墓で見た二人の天使だわ!

いつの日にかイエス様は、たった今あなたがご覧になられた様に、雲と共にあなた方の元へ再び戻って来られます。



イエス様は天のお父様の元へ戻られたのです。



さあ、エルサレムへ行き、聖霊を待つのです。



イエスの弟子達は、彼が命じた通りにエルサレムへ行き、天から授かるという約束された力を待ちながら10日間祈りを続けた。彼らは、公にイエスの復活を口にするのを恐れた。なぜならば、彼らも殺されてしまうのではないかと思っていたからである。



彼らが祈りを捧げていた場所が突然揺れて、強い風が、まるで火で造られた舌が降りてきたかのように、彼らの一人一人に吹き付けた。



彼らは聖霊に包まれ、彼らを知る由も無い国の言葉で神を賛美し始めた。



聖霊が彼らに降りてきてからは、彼らは人としての恐れというものを忘れ、公に神を賛美し、礼拝するべく外へ出て行ったのだった。

私たちの主、イエス・キリストの父なる神に栄光あれ！

みんな酔っ払っているのかと思いきや、私の国の言葉を詠ることなく完璧に話している。

ああ、私の国の言葉もだ。なぜ、学のない者達があんなに完璧に話せるんだろう。

イスラエルのみなさん、イエス様の行われた数々の奇跡をご覧になったはずですよ。これこそ、神がイエス様と共におられ、そして十字架に掛けられたにも関わらず、その死から神がイエス様を甦らされたのです。



1000年前、ダビデは
イエス様のことを預言した。
「あなたは私のたましいをよみに捨て
置かず
あなたにある敬虔な者に滅びを見せ
にならないからです。」

よって、イスラエルの
人々よ、あなた方は確実に知る
ことです。あなた方が十字架に
掛けたイエス様は主であり、救
世主キリストその方なのです。



救世主を私
達は十字架に掛けて
しまった…どう
したらいいので
しょうか？

イエス様に改心しなさい。
そして、水の洗礼を受けイエス様
に従うのです。主はあなたの罪を
お赦しになられ、聖霊の贈り物を
受けることが出来るでしょう。



イエスは
主です。

私もイエ
ス様を信じま
す。どうか洗
礼を！

彼の言葉を受け、人々は嬉
々として洗礼を受け、同じ日、
3000人もの人々が洗礼に
加わった。



数ヶ月後

イエス様が我々の
前にいらっしや
った日が、まるで昨日
のこのようだ。

何千という
人々が、続々と
イエス様に立ち
返っている。

ああ、そうだね。
それにね、私には以前、
イエス様と一緒にいた
頃よりも、もっと強く
イエス様の存在を感じ
られるんだよ。



旦那様方・・
どうか、この不自由で
哀れな私に少しばかり
恵んでくださいませ
せんか？

ペテロ、
私には持ち前がな
いんだが、君は幾
らか持ち合わせて
いるかね？

いや、しかし聖霊が
我々に降りて来てから、
彼に与えられるものは
ある。



金銀は私にはない。
しかし、私にあるものを
あげよう。ナザレのイエ
ス・キリストの名によっ
て立ち上がり、歩きな
さい。

なんと非情な・・・その
男は生まれつき足が不自
由なんだぞ。彼の足はも
う使い物にならないんだ。



イエス・
キリストが、あ
なたを完全な身
体にして下さい
ますよ。



ほおっ～！

全能な
る主よ、
神よ！

足が
伸びてい
るぞ！



信じられない。
あの不自由だった
足で歩けるとは！

歩くど
ころか、飛び跳
ねているぞ！



神に栄光
あれ！イエス
様、感謝いた
します。

あれは、足が
不自由だった男だ。
彼の両足は使い物に
ならなかったはずなの
に…。

十字架に掛けら
れたイエスの名の
もとに、彼の足は
癒えたらしいぞ。

あなた方は、我々がまる
で手品か何かをしたと思っ
ているのですか？アブラハム、イサク、ヤ
コブの神が、あなた方が十字架に掛
けたイエス様に栄光をお与え下さ
ったのです。あなた方は、生命の第一
人者であるイエス様を殺してし
まったのです。

しかし、神はイエス様を復
活させ現に我々は彼をこのめ
で見ました。この方が癒され
たのは、イエス・キリストへの
信仰心によってなのです。

イエス様が十字架に掛け
られたことは、あなた方の無知
からだと存じ上げております。し
かし、預言者の記述の中で、これ
らの事は、必ず起きると言わ
れ続けてきたのです。

みなさんは、私のこ
とを知っておられたはず。
神が私を歩けるようにして
下さったのです。さあ、イ
エス様を信じ付いていこう
ではありませんか！

改心してイエ
ス様の弟子となり、
罪を拭い去ってもら
いなさい。

イエスを十字架
に付けた宗教家
達が、兵を出し
ペテロとヨハネ
を捕らえた。

我々の宗教
に異を唱え人々
を惑わすとは法
に違反している
ぞ！

彼らは何も悪い
ことをしていな
いじゃないか！



お弟子さん達も、あの足の不自由だった人も連行されている!

奇跡だ! まるでイエスが生きていた頃の様だ!

私の近所の者は、イエスの死後、彼を見たと言っていた。一度に500人に現れたそうだ。

私はお弟子さん方に会って、もっとイエス様について教えて頂こう。




我々がイエスを十字架に付けて始末した時点で、異教徒は排除したと思っていたのだが...

イエスは生きていとほざいてるんだ。

ならば、また殺せばいいのさ、弟子もろともな。

彼らが言うには、イエスは天の父親と一緒にいるんだとさ。

ならば、あの二人も直に仲間入りさ。



この男が生まれつき足が不自由なのは、我々も周知の事実だ。どのようにして歩けるようにしてやったのだ？誰の名のもとに、このような事をしたのかね？

あなた方が十字架に付けて殺し、神が死から復活させたナザレのイエス・キリストによって、彼は完全なる身体になりました。聖書ではこう書いています：「家を建てる者たちが捨てた石、それが礎石となりました。」

この方以外には、誰によっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。

皆の目前で彼の足が治ったのは、もはや我々も否定は出来まい。それがイエスの手によるものとは。困ったことになったぞ。


ここにおる二人は無学と見えるが、預言者の言葉が口からすらすらと出てくるとは意外だ。

私は彼らを知っておりますぞ。イエスと一緒にいた弟子達です。

これ以上、死んだイエスの名を語り、病人を治すという行為を続けるならば、お前達もイエスと同じ運命だ。解ったか！ならば、ここから出てゆけ！もう復活などというバカげた作り話は持ち込むでない！

神より、あなた方に従う事が正しいというのですか！私達は、この目で見、そして聞いたことを語らずにはおれません。

奴らをここから放り出せ！



福音はイスラエル中に広まっていった。多くの者がイエスを信じ、水の洗礼を受けたのだった。

教会は愛と平和に満たされた、イエスを信じる何千という人々の団体となった。

イエス様に関する素晴らしいニュースを聞いたかね？


イエス様は復活なさって、今でも我々と共に生きていらっしゃるんだ。

イエス様を信じてからというもの、俺の一家は初めて平和に暮らせているよ。

教会では、婦人達は尊ばれ大切にされた。

キリストの信者は歌いながら働いた。

キリストの信者の数は膨れ上がり、自分の物を他人と分け合い、家から家に、そして人に出会う度にイエスの教えを説いて回った。



イスラエルのみなさん、神はこうおっしゃった。我々の父祖は、見知らぬ国へ連れて行かれ、そこで400年の間、奴隷となると。そして後に、アブラハムに約束された。神はその国を裁き、神の民を約束された地に戻されると…

ステファノ、バカなことを言うなよ!

ソロモンは神の為に神殿を建てたが、人の手で造られたような神殿に神は在らせざるわけがない。預言者が言った様に「天はわたしの王座、地はわたしの足台。あなたがたがわたしのために建てる家は、いったいどこにあるのか。わたしの安息の場は、いったいどこにあるのか。これらすべては、わたしの手が造った。」

我々の神殿の悪口を言っているのか!

ステファノ、お前それでもユダヤ人か?

俺達の法や伝統をぶち壊す気か! 一体、何で償う気だ! ローマ軍が十字架に付けた死人でか? それも誰も生き返ったのをみたことのない死人だ!

あなた方は何という強情なんだ。あなた方の心は神を求めている。祖先と全く同じじゃないか! あなた方の祖先も、あなた方もイエスキリストの到来を預言した預言者たちを殺し、そして救世主を裏切り殺してしまったのだ。

見なさい、天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。ああ、なんと輝かしさ!

耳を塞げ! あんな冒涇者の言う事など、誰も聞くんじやないぞ!

死刑にしろ!

町から追い出して殺してしまえ!





冒涇者を殺せ!

イエスの一派は皆殺した!

こんなのは未だ手始めだぞ!

こうして、エルサレムの教会に対しての大迫害が始まり、使徒を除いて信者は町を去って行った。


パリサイ派のサウロは、教会に対して攻撃をしかけた。各家を回り、男女問わず牢に投獄した。



ここには、イエスの信者はもういないか?


お父さんを傷つけないで!

その女を捕らえろ!




ピリポという
信者が祈りを捧げ
ている時、天使が彼に
語りかけてきた。


ピリポ、立ち上
がりエルサレム
からガザへと下
る街道に向かい
なさい。




なぜ、そこへ向
かないといけない
のか解らないが、神
が行くように言われ
るならば私は従うだ
けだ。



ここだな。
次に私のなす
べきことは？



主よ、
あなたの望ま
れる事は何で
しょうか？



馬車の隊列だ！
主よ、あなたが私を、ここ
へ導かれた理由はこれで
すか？あなたが選ばれた
人が、あの中にいるの
ですか？

あの一
行の所へ行
きなさい。



その馬車には、エチオピアの女王の高官で非常に権威のある人物が乗っていた。彼は女王の全財産を任された、女王にとってなくてはならない存在であった。彼はユダヤの慣習によりエルサレムへ礼拝に行き、エチオピアに戻る道中で馬車の中で聖書を読んでいた。

屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。虐げとさばきによって、彼は取り去られた。



イザヤの預言をお読みになっているんですね？ その意味はお解りですか？

私が読んでいる書のことを、よく存じられているようだが？ 誰か解説が出来る者を求めておった。馬車に乗りたまえ。




エルサレムから来られたのですね？

そうだ。礼拝に行っておった。わが国の信仰では、国の安穩が期待出来ぬのでな。まるで、神は遥か遠くにいらっしゃるようだ。

救世主の到来についての預言は読んだのだ。エルサレムでは、多くの人々が、救世主は到来なさったが十字架に掛けられ、しかし死から復活なさったと言っていた。

イザヤが言っているのは、彼自身のことなのか、それとも誰か他の人のことだろうか？



ご存知の様に、イザヤ書は約800年前に書かれています。この53章は救世主について書かれた多くの預言の中の一つであり、救世主は見下されて拒絶されると書かれています。

あなたはエルサレムから戻って来られたのでご存知でしょうが、イエス様は偉大なる奇跡を起こされたにも関わらず、我々の指導者達は彼を拒絶したのです。

イザヤは、イエス様が我々の罪の為に苦難を受けたと。5節目ですが、本来、我々が罪に対する制裁を負う代わりにイエス様が背負われたと書いています。

私が特に知ってもらいたいのは、6節目「我々は皆、正道から逸れて迷ってしまった。主は我々全ての罪を彼に償わせた。」ということです。これは、つまり全ての人間は神への忠誠心を無くし、各々が罪深い道へと逸れてしまった。しかし、神がイエス様に我々の罪を背負わせ、死を以て我々の神への不従順さの代償とさせたのです。

7節目は、イエス様が、その死の審判の場において弁明をされなかったということです。


8節目ですが、牢から出されたイエス様が民の罪のために殺されてしまうことが書かれています。

9節目は、イエス様が犯罪者と金持ちの墓に埋葬されると伝えています。

そして、イエス様は何の罪も犯していないが、神の御心により痛手を負い、深い悲しみを受けると…。それは、イエス様が我々の罪を償うためでした。


10節目は、イエス様の復活と復活後の伝道について書かれています。

その他多くの預言によると、イエス様が復活された後、彼は王座に座られ、全ての人々は死後、イエス様の前で各々の人生の審判を下されるの



私は、多くの律法学者や祭司達が、救世主の預言について話しているのを何度も聞いたことがあるのだが、なぜ、彼らはイエスを否定するのだろうか？


彼らの内の何人かはイエス様を受け入れましたが、多くは自分達の非を指摘され立腹し、自らの手を汚さずローマ軍に殺させたのです。彼らは国を支配しましたが、神に左右されることを嫌ったのです。



イエスについての預言は他にあらのだろうか？

詩篇22が、イエス様が十字架に掛けられることを預言したものです。

しかし、詩篇は1000年前に書かれたのであろう。その頃には、十字架の処刑は一般的ではなかったはずだが。



確かに。しかし、神は事がおきる前から全てお見通しであられ、救世主についての預言は340を超えるのです。それが、イエス様こそ、神がお遣わしになられた只一人の真実の方だと、我々が確信する所以なのです。

詩篇20篇の16節では、彼の両手足は釘で打ちめかれるとあり、同じく22篇の14節では、彼は渴きを覚え彼の骨は死と共に外れてしまうとあります。しかし詩篇34篇の20節には十字架に掛けられた彼の骨は、一つとして砕かれていなかったとある。ご存知の様に、張り付けにされた者の骨を砕くことは慣例上、当然となっておりますが、イエス様は骨を砕かれる前に亡くなられたので、兵士達は骨を砕かなかったのです。

詩篇22篇の17節では、兵士達はイエス様の裸体を傍観し、18節では兵士達がイエス様の衣を分けるために、くじを引く様が預言されているのです。

さらに、ゼカリヤ12の10節では、イエス様の両手は突き刺され、後にユダヤ人はその痕跡を見るであろうと。イザヤ50章の6節では、イエス様が背中を打たれ頬を殴られるであろうと。

詩篇16篇の10節では、イエス様の死後、そのご遺体は埋葬されても、墓の中で腐敗に至るまで長くは置かれないと預言されています。預言者達は、イエス様が友人に裏切られ、その裏切り者は首を吊り自殺するものの、内臓は野原に散らばり無縁塚に葬られると言っています。

これらの事柄や、全ての預言は成就されており、ナザレのイエス様こそが世界を救う救世主であられるということが疑いのないことなのです。

私はイエス様こそ救世主だと信じる。彼こそ、我々の罪を取り除く、約束された子羊なのだ。我々には、もう生贄の儀式は必要ない。イエス様こそ神への門である。私はイエス様に従う。



あなたが心からイエス様を信じるのであれば、私が洗礼の儀を施して差し上げましょう。



あそこに水場がある！私が洗礼を受けるのに、こんなに都合の良いことが他にありません。

もちろんだ！信じるとも！

我らが主と、救い主イエス・キリストの名において、あなたを洗礼致します。



神に
栄光あれ！



あの人はどこに行ったのだ？



どこにも見当たりません。

彼は、多くの人々の為に必要とされているはずだ。さあ、エチオピアに戻って救世主について聞いたことを、女王に話さなくては！

エチオピアでは教会が設立され、その活動は、近代に入りイスラム教徒がほとんどのキリスト教徒を殺戮するまで続いた。



第13章

全世界に向けて

命を狙われる危機から、キリスト教徒たちは密かに集まり、神の教えを聞き聖書を読み、神を称え歌った。

親愛なる友人方よ、我々の罪を取り除いて下さる為に、我々が主は苦難を受けられました。今この時、我々も主の為に苦みに耐えようではありませんか。我々が経験するであろう迫害に決してたじろいではありません。

イエス様はおっしゃいました。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい」と。我々は、そのように命じられたのであるならば、我々の苦難の十字架を処刑場まで背負わなくてはならないということです。詩篇、第22篇では…

神よ、お助けください！サウロに殺される！

それまでだ！この異国の宗教は禁じられておるはずだ！キサマらは先祖や国を冒瀆しておるのだぞ！愚かな奴らめ！改宗するか死か、どちらか一つだ！指導者を捕らえよ。

まずは、そいつから見せしめだ。

救世主とされる人物はこの国にもいるであろう。何故、死んだ大工などを礼拝するんだ？

我々が主、イエス様は生きておいでだ。イエス様こそ万物の創造主だ！

やめてください、妻だけは助けて下さい！

ドスツッ！

お前の妻を牢にぶち込んでやろう。そうすれば、お前が何を信じるべきか解るだろう。

お前達の
仲間がもう一人、
お出ました!

信者になっ
た時から、こうな
ることは解ってい
たことです。

パリサイ派のサウ
ロという奴のせいだ。彼
は憎しみに溢れ虐殺を
繰り返している。

そうです、
ですから彼の為に祈
りましょう。神がサ
ウロの心を解きほぐ
し、真実を見極めら
れるようにして下さい
ますように。

サウロの心は憎
しみ以外何もない。

ところで、
サウロよ、エルサレ
ム中のイエスの信者
達は全て見つけたん
だろうな。

我々の何人
かも、初めは彼の
ようではなかった
かね?

いいえ、殺しても投獄しても奴らは
増え続けています。奴らは他の町にも
散らばっており、ダマスカスのシナゴ
ーグなど奴らで一杯だそうですね。

ならば、そなたに
奴らを捕らえる権限
を与えよう。ダマスカ
スへ行って来い。

直ち
に!

サウロは他の宗教から、国家と国教を守る
ことが自分の任務だと思っていた。し
かし、彼が今まで知る由も無かった、平
和や確固たる自信をキリスト教徒達が
持っていることが、彼を困惑させていた。

突然、サウロの前に太陽より
も明るく輝くものが現れた。

サウロ、
サウロよ。なぜ、
お前は私を迫害
するのだ?

サウロの馬は恐れおのの
き、街道にサウロを放り
落とすと逃げた。

あなたはどなた
ですか?私が迫
害していると?

私はイエスだ。
お前が痛めつけ、
迫害した彼らが信
仰しているイエ
スだ。

主よ、私に
どうしろと言っ
たのですか?

起き上が
り、町へ行くのだ。そ
こでお前が何をすべ
きか聞くのだ。



声が聞こえましたか？

私には聞こえた。しかし、何と言ったか解らない。

私にも解りませんでした。まるで雷のようでしたね。

あれは神の声だった！

目が！目が
見えない！助けてくれ、全く見えないんだ！早く町へ連れて行ってくれ！



私はアナニアと申します。イエス様が幻影の中で言われました。あなたの処へ行き、あなたの目を治してやりなさいと…

ああ、私は完全に見えないんだ。



イエス・キリストの名において、視力を取り戻したまえ。



見える！見えるぞ！イエスが治した？彼について、もっと教えてくれ。



そこで、アナニアは聖書を開き、イエスについての預言をサウロに話し、聞かせた。

ああ、私はなんと愚かだったのだろう。聖書に全て書かれていたことなのに、自分の信仰に盲目になっていた。私は洗礼を受け、イエス様に従いたい。

神はサウロの名を、パウロとした。

今や、パウロとなったサウロだが、彼は新たに得た教えで、新たな人格となり二度とキリスト教徒を殺戮することはなくなった。彼は、他の者をもイエスの信者になるよう説得したいと思うようになった。

神は異邦人の男にも働きかけていた。ローマ軍の兵士の一人で、神を求め祈りを捧げていた男がいた。

あなた方が疑うのもよく分かりますよ。誰より、私もそうでしたから。しかし、私はあなた方に言いたい、救世主についての、古からの預言を満たしているのはナザレのイエス様、その人であられると！

あんた、バカじゃないのか！それじゃあ、なんで彼は敵に殺されちゃったんだよ！

神が、イエス様を死から復活させられたことが、何よりの証拠です。

神よ、あなたは全人類の創造主であられ、唯一の方であると存じております。我が国の宗教は墮落しており、何の慰めにもなっておりません。どうか、私に道をお示ください。

イエス様は、我々の罪を取り除いて下さる為の神の子羊なのです。

ペテロ、我々の主人はとても信仰心の厚い方で、人徳もあります。しかし、多くの悩みを抱えておいでです。彼は常に祈りを捧げ、貧しき人には施しをしているのですが、神と和解していません。

だ、だれですか？あなたは…一体どこから…

神は十字架の血をもって私たちをご自分と和解して下さいました。

あなたの祈りは聞かれました。私は神に仕わされた者です。ヨッパに人を送り海辺にある、なめし皮職人のシモンの家を訪ねるように言いなさい。そこに、ペテロという男がいるので彼をこへ呼び、神の真実を教えてもらいなさい。

それは、どういう意味でしょう？


あなた方の隊長に説明しましょう。

なんという素晴らしい日なのだろう。神は、イエス様のお弟子さんのペテロ氏をお呼び下さったのだ。今から、イエス様の話をしていただく。


その軍人は入り口でペテロに深々とお辞儀をした。

お立ちなさい。私に対して敬意を払わなくてもよろしいですよ。私はあなたと同じ、一人の男です。さあ、皆さんを集めなさい。話をお聞かせしましょう。

そうです、私は3年半イエス様と共に伝道しておりました。そして、私はこの目でイエス様が十字架に掛けられ、そして彼が死から復活なさったのを見たのです。イエス様が復活された後、私達一同は500人で会し、その説法を聞きしました。イエス様は、我々と共に食事をなさいましたし、私達は彼に触れることも出来ました。イエス様は敵をも、そして我々を迫害している人をも愛しなさいとおっしゃいました。彼は、私達に聖霊を送って下さり・



軍人コルネリウスと彼の一族はイエス・キリストの教えを信じ、その日、一同は洗礼を受けた。




パウロは、安息日にアンテオケのシナゴークで、ユダヤ人に教えを説いていた。


あなた方は私をご存知でしょう。私はかつて、キリスト教徒を迫害し死に至らしめておりました。しかし、イエス様が輝かしい光の中で、まるで雷鳴の如きお声で私に教えて下さったのです。私は救世主についての聖書を紐解き、イエス様についての預言が全て成就したということが理解できたのです。

神はダビデの系列から、イスラエルに救世主をお遣わし下さったが、エルサレムの指導者達が彼を殺してしまっただのです。

この事は、詩篇の第2篇に書かれている。「あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ。」



詩篇の別の篇では、「あなたにある敬虔な者に滅びを見せにならないからです」とありますが、これは死後も、そのご遺体は腐敗しないということです。イエス様こそ、あなた方の罪を赦免なさる方であるのです！モーゼの律法では不可能なのです！



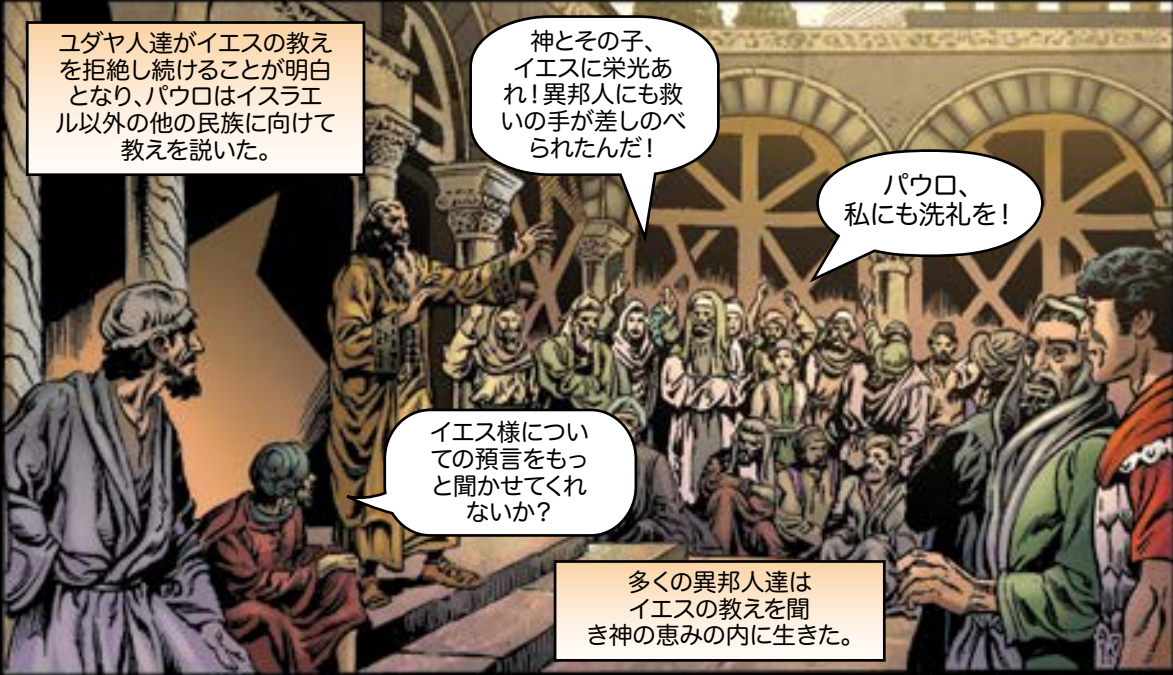
神は全ての国の異邦人の光となるイエス・キリストを送って下さったのです。

異邦人だと？ 汚らわしい！ユダヤ人の信仰に何の関係もないじゃないか！

罰当たりめ！イエスが神の息子であるはずがない。奴の母親は結婚前に身ごもっていたって話じゃないか！

異端を唱えるなら死ね！

永遠のいのちの素晴らしい教えを、あなた方は否定してきました。ですから私共は預言者達の言う通りに、この教えを異邦人に向けて語っていきましょう。




ユダヤ人達がイエスの教えを拒絶し続けることが明白となり、パウロはイスラエル以外の他の民族に向けて教えを説いた。

神とその子、イエスに栄光あれ！異邦人にも救いの手が差しのべられたんだ！

パウロ、私にも洗礼を！


イエス様についての預言をもっと聞かせてくれないか？

多くの異邦人達はイエスの教えを聞き神の恵みの内に生きた。




ユダヤ人達はこれに怒りを覚え、再び戻ってくるならば死刑だと、パウロとバルナバを町から追出した。そこで、パウロとバルナバはアジアへと向かい、この救いの教えを広めていった。

バルナバ、もし私が倒れても立ち止まるんじゃない、逃げるんだ！



ルステラでユダヤ人達は、パウロを殺そうと石を投げつけ、その身体を町から放り出した。

神よ、彼らをお赦し下さい。パウロが殺されました。




しかし、神は奇跡を
起こし、パウロを起
き上がらせた。

パウロ、
私はあなたが亡
くなったとばかり…

いや、私は未だ死ねない。
伝道は始まったばかりで、我々はま
だこの先、主の名のもとに多くの苦
難に立ち向かわねばならないと神が
教えて下さったのだ。さあ、町
へ戻ろう！


あなた
は偉大なる主、
栄光と栄誉そして
賛美を！



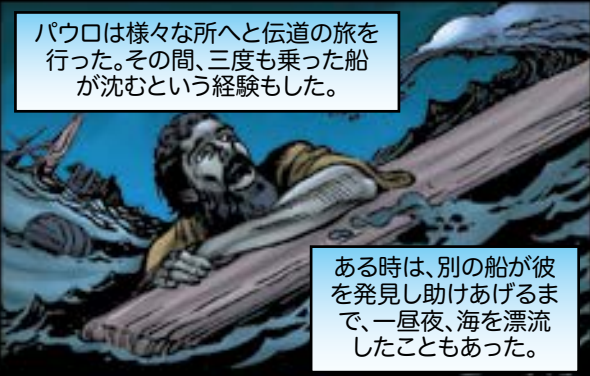
マケドニア地方にあるピリピで、
パウロとシラスは39の鞭打ちの
試練を受け投獄された。苦難を受
けたにも関わらず彼らの心は喜び
に溢れ、夜中には神を称え歌った。

うわああ～！
イエスこそ我が主！


バシッ！




数年に渡ってパウロは、
3度に及ぶ鞭打ちの刑を
受けたが彼はイエスの教
えを説き続けた。



パウロは様々な所へと伝道の旅を行った。その間、三度も乗った船が沈むという経験もした。

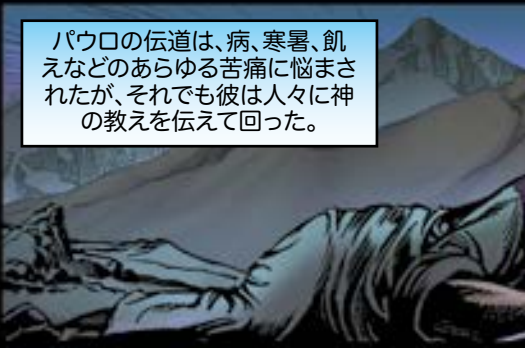


ある時は、別の船が彼を発見し助けあげるまで、一昼夜、海を漂流したこともあった。




パウロは幾度となく強盗に襲われた。


しかし、彼は伝道の旅を辞めなかった。




パウロの伝道は、病、寒暑、飢えなどのあらゆる苦痛に悩まされたが、それでも彼は人々に神の教えを伝えて回った。




主よ、どうぞ次の町での伝道が出来ますように、この身体を癒し給え。




パウロは町から町へ、偶像崇拝者達を戒めイエス・キリストの福音を説いて回った。




あなた方は偶像礼拝から、真実の神へと改心なされた。神はあなた方へ、何の見返りも要求されることなく、あなた方の罪をお赦しになられたのです。あなた方は、今や主の直系の一員、神の家族の一員です。



神に栄光を！



こんな物、何の癒しにもならん！



人々は神に立ち返り、今まで信仰の対象としてきた偶像や魔よけといった物を捨て去った。彼らは、その間違った信仰の対象物を、罪と共に炎の中に葬り去ったのだった。20年の間に、様々な国にイエス・キリストを通じ、神を崇拝する信者が増えていった。

イエスは弟子達に警告していた。「人々はあなた方を苦しめ、または殺し、私の名前の為に多くの国からも嫌われるでしょう。または多くの者が腹立たしさを覚えたり、憎しみ合うことでしょう。また、偽預言者たちが増えてあなた方を惑わすことでしょう」

キリストと直に会った人々が老いてゆき、そしてローマ帝国の至る所に教会が増えていくと、ローマ人はキリスト教徒を見つけ出し死に追いやる迫害を始めた。もし、信者がキリストを拒絶しなければ闘技場に連れて行き、ライオンやトラが信者の身体に食いつきバラバラになる様を、観衆の目前で見せ付けた。

主、イエス・キリストよ、私の魂をお救い下さい。

父なる神よ、我々にこのような事をする彼らをお赦し下さい。


ガル〜ツ!

きやああ〜!

時には、信者達はローマ軍の兵士にめった切りにされた。人々は信者達が、頑なに信仰を貫くことに驚きを覚えた。彼らはイエスの為に死をも恐れなかったのだ。

ジェイソン、天国で会おう!

やめてくれ!



イエスは死ぬ前に
神殿について預言していた。

この大きな建物を
見ているのですか。
ここで、どの石も崩
されずに、ほかの石
の上に残ることは決
してありません。

40年後の紀元後70年に、ローマ軍が町と神殿を破壊した。神殿内部の木材は燃え尽き、神殿を彩った金は溶けて、土台と床に散らばる石材の亀裂の中に流れ落ちた。ローマ軍は金を収拾しようとしたが、散らばった石材を全て取り去らなくてはならなかった。イエスの預言は的中したのだ。

イスラエルやエルサレムのユダヤ人達は、現在その子孫が住む異邦人の国々へ逃げて戦火を生き延びた。

各地に点在するキリスト教信者達は、彼らを暖かく迎え入れた。

どこへも行くところがないんです。

シリアの兄さんの所へ行こう。

信者のユダヤ人達も、キリストの教えが広まった各地へと逃げ、こうして教会が発展していった。

エルサレムでは恐ろしい目に合いましたね。私達はあなた方を歓迎しますよ。

イエスの弟子達は、死ぬまでイエス・キリストの復活を説き続けた。一人、また一人と死に追いやられたが、彼らは死後、より良い場所へ行けるとの強い確信で勇敢に死んでいった。

何人かはローマ軍によって十字架に掛けられた。

何人かは、生きたまま腸をえぐり取られ刻まれた。

また、石を投げつけられ殺された者もいた。

何人かは、野生の動物の餌食となった。

また、ある者は首を切られた。

ペテロは十字架に逆さまに吊るされた。

ある者は、生きたまま油の中で煮られた。

私はより良い所へ行けるのです。神があなた方をお赦し下さいますように。

主よ、私はあなたと同じ死に方を
する価値はありません。

彼らは皆、死後には素晴らしい場所と新しい身体が自分を待っていると、主により保障されているので、信仰の為に命をも惜しませんでした。

イエスの復活から60年後、弟子の中で只一人残ったのがヨハネであった。彼はパトモスと呼ばれる岩だらけの島に国外追放された。聖霊がヨハネを天に導き、そこで神は彼に未来を示した。

ヨハネ、あなたにこれから先に起こることを見せてあげましょう。あなたは見たこと全てを書きとめ、本にしてアジアの7つの教会に送りなさい。

この時代が終わりに近づいた時、イエスは再臨し彼を信じた全ての人々の墓を開け、彼らは生きている全ての信者と共に天にてイエスに会い、彼らは永遠にイエスと共にいるだろう。

最後の日に、神は地球に大災害を起こす。火の玉が降り、地上の人類のほとんどが死に至る、疫病が流行る。

そこへ、救世主と名乗る一人の男が現れ、多くの人々を惑わす。その男は、彼と国家に対する忠誠心の証として、人々の額、あるいは右手に印を付ける。

この印を持たないものは、首をはねられ殺される。地上に生きる人々にとって、かつてないほどの大災難となる。

預言の通り、イエスは最後の時に再臨する。

イエスは、生身の人としてではなく、自身の栄光と共に、全知全能の神としてやって来られる。天が開き、白馬の背に乗り降りて来られる。

彼は太陽の如く輝き、その頭には多くの冠を付け、手には七つの星を持ち、その口からは鋭い剣が出る。

彼はサタンと向き合い、サタンが二度と人類をそのかすことのない様、永遠に続く苦痛の火の海へと葬り去るだろう。イエスは、彼にとっての最後の宿敵である死をも、炎の池へと葬り、世界は新たに生まれ変わるだろう。

神はその息子であるイエスを信じる者達全てを集め、新しい地球で永遠の命を与えるのだ。神は悲しみを拭い去り、そして、かつて人類を苦しめた悲しみや痛み、嘆きといったもの全ては消え去るのだ。イエスは、罪と死から解放された世界で、義とされた人々の王、そして救世主として王座に就くのだ。



2000年という永い年月に渡ってイエスの福音は伝道されてきた。イエスは彼の王国についての教えが、全ての国、種族、家族に渡って遍く広まるまで、全世界に向けて伝道されるだろうと預言した。神は唯一であり、その息子と呼ばれるのは只一人であり、真実の教えと唯一の聖なる書も只一つである。

現世から来世へと続く道も只一つ。広く知られている通り、イエスこそが生命の真実へと繋がる唯一の道である。



イエス・キリストの教えは、強制や脅しで世界に広まっていったのではないという観点からも、他の宗教とは異なっている。イエスは信者達に、敵をも愛し、喜び満ち溢れ歌うように教えた。今日、国や言語を越えて、人々は赦しと永遠の命を与えられ喜びに満ちている。

イエスが復活し2000年という年月が経っているにも関わらず、未だに福音と無縁な人々がいるのも事実である。誰かが教えなくてはならない。

大きな白い玉座で行われる裁き



「また、人間はただ一度死ぬことと、その後に裁きを受けることが定まっている」



あなたは天使ですか？
僕をどこへ連れて行く
んですか？



そうか、ここで僕がしてきた
良いことや悪いことを神は
比べて裁くんた。



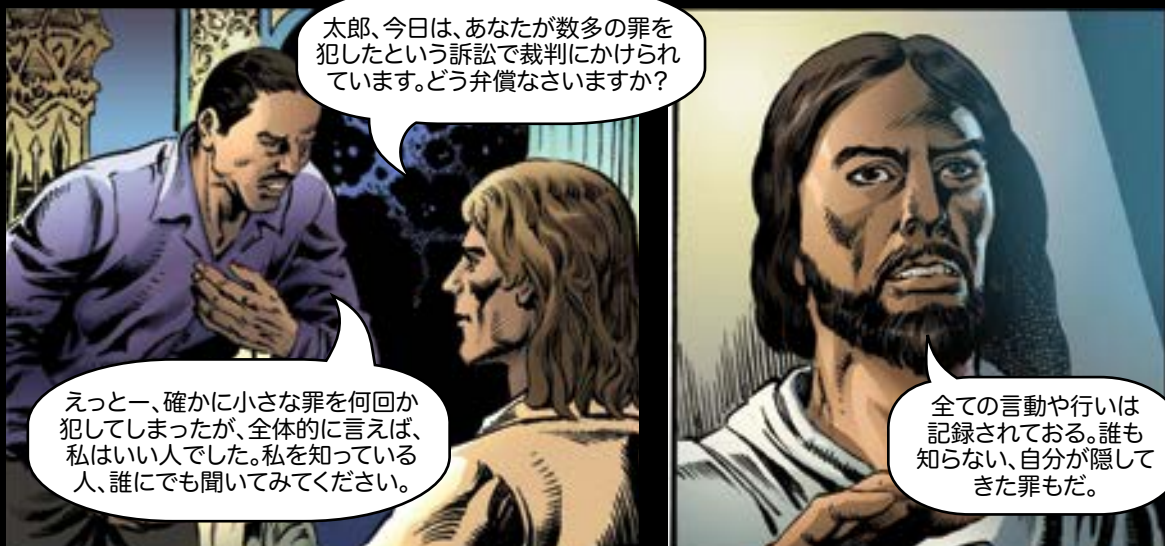
彼は今、あなたの名前が子羊の命の書に書いてあるかどうか確認しています。

「わたしはまた、死者たちが、大きな者も小さな者も、玉座の前に立っているのを見た。幾つかの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。それは命の書である。死者たち、これらの書物に書かれていることに基づき、彼らの行いに応じて裁かれた。」



太郎、玉座に近づきなさい。

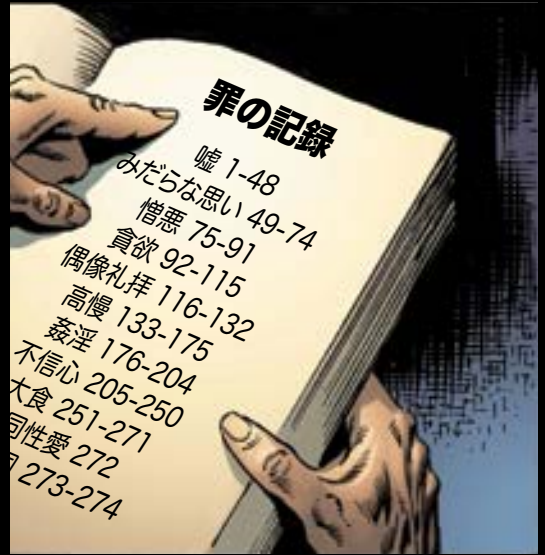
「神が…人々の隠れた事柄をキリスト・イエスを通して裁かれる」



太郎、今日は、あなたが数多の罪を犯したという訴訟で裁判にかけられています。どう弁償なさいますか？

えっとー、確かに小さな罪を何回か犯してしまいましたが、全体的に言えば、私はいい人でした。私を知っている人、誰にでも聞いてみてください。

全ての言動や行いは記録されておる。誰も知らない、自分が隠してきた罪もだ。



「神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださいました。」



嘘をついた
時はいい人だっ
たのか？



みだらな思い
をした時はいい
人だったのか？



身を怒りに任せ
た時はいい人だ
ったのか？



だって、悪い罪は
してないんです！
私は信仰深い
人でした！

あなたの言う
ていることはす
べて言い訳に過
ぎない。あるゆ
る罪は悪だ。



あなたのことは
全然知らない。不
法を働く者、わた
しから離れ去れ。



ウソだろう、
神よ、助けて!!

神に助けを求める
のはもう遅い。



ひいひいひい——!!!



「…天使が来て、正しい人々の中にいる悪い子どもをより分け、燃え盛る炉の
中に投げ込むのである。悪い子どもは、そこで泣きわめいて歯ざしりするだろう。」

マタイ13:49-50

キリストの裁きの座で行われる裁き

「イエスは言われた『わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。』」

いい人生だったな。
これから我が救い主に会いに行く。
イエス様のことを愛し続けなさい。
また天で会おう。





あなたの名前は
命の書に書いて
あります。

報酬を受け取る
時が来ました。



「なぜなら、神は日を定めて、お立てになられた一人の方により、義をもってこの世界をさばこうとしておられるからです。神はこの方を死者の中からよみがえらせて、その確証をすべての人にお与えになったのです。」



忠実な良いしもべだ。
よくやった。主人
と一緒に喜んでくれ。

聖書とは？

書物の中のスーパーヒーロー

聖書、もしくは聖典、福音...そう呼ばれているこの書物は、キリスト教の信仰の土台となっている書物です。他の本とは大きく異なる聖書は、66の書巻から成り立っており、古代アジアのおよそ40人ほどの著者によって記されました。そのほとんどがユダヤ人です。著者の職業は、一国の王、取税人、漁師、医者、農民、召使い、律法学者、と実に様々でした。しかも1500年もの歴史をまたいで書かれたのです。ほとんどの著者達は、それぞれ別の地域に住んでおり、互いのことを全く知りませんでした。しかし、別々の書巻が合わせられた時、統一した同じ一つの意味をもつ「聖書」という書物が完成しました。

聖霊なる神が著者達の心に働きかけ、この御業を成して下さったのです。それゆえ、聖書は古来より今日に至るまで、多くの人たちに深く愛され続けているのです。聖書は初めて活版印刷機で印刷された書物であり、世界中の500以上の言語(部分的にはおよそ3000)に訳され、いかなる本よりも多く配布されています。

聖書は、旧約聖書と新約聖書に分かれています。旧約聖書は、39の書巻でできており、計927の章にまとめられています。原本は次のようなヘブライ語で書かれています：

בראשית ברא אלהים את השמים ואת הארץ

旧約聖書は、現代でもなおユダヤ人達の聖なる書物に用いられています。

一方、新約聖書は27の書巻でできており、計260の章にまとめられています。新約聖書を記した著者達は、主に次のようなギリシャ語を用いました：

εν αρχη ην ο λογος και ο λογος ην προς τον θεον και θεος ην ο λογος

聖書には、世界史の真実が記されており、更に世の終わりについての預言が書かれています。人類の起源、罪の原因、そして天国と地獄についても言及しています。聖書が、神によって書かれた真実の書であるという証拠に、古代の著者によって記された多くの預言が、その後見事にどれも的中しているのです。

聖書は、人間にとって最も重要な問いに正しく答えてくれます。例えば：

- ・神は本当に存在しているか？
- ・なぜ人は存在しているのか？生きる目的は何？
- ・なぜ人は死ななければいけないのか？
- ・死んだ後、人はどうなるのか？
- ・死んだ後、人は生まれ変わるのか？
- ・「悪霊」は死んだ人の霊とはまた違うものなのか？
- ・人は動物と比べてどう違うのか？
- ・「罪」とはつまり何なのか？
- ・罪の連鎖と宿命から救われるためにはどうすればいいのか？
- ・永遠に天国で生きるにはどうすればいいのか？
- ・なぜ人は苦痛や失望を体験し、最終的に死を迎えるのか？

これらの問いに関する答え、そして他の質問の答えは、聖書にあります。是非自分で読んでみてください！

当団体について

NO GREATER JOY MINISTRIES, INC.

我々のビジョンでは、ヒーローが勝ちます。

GOOD AND EVIL INTERNATIONALは他に類を見ないキリストの戦士たちの作戦基地です。我々は聖書に基づいた世界への宣教ミッションを重視する組織であり、革新的かつ現代的なテクノロジーを生かしたメディアを通じて、人間を救う力のある福音を伝えています。

GOOD AND EVIL INTERNATIONALでは聖書コミック「善と悪」やその他の製品を紙媒体、電子書物、動画などの媒体で制作しています。私たちは特定の社会集団をターゲットとし、このミッションに活発に貢献したい方のサポートもしています。

福音を伝えるにあたって主要な社会集団のターゲットとしているのは下記の通りです：

- ・福音がまだ届いていない国
 - ・何らかの方法で福音は伝わっていながら、福音が未だに広めにくい状態にある国
 - ・囚人、ホームレスの人、福音が普及している国にいなから一般社会から離れている人などの「忘れられた人々」。
 - ・子供や若者
 - ・軍人、学校、病院など福音の「過度な露出」により、伝統的な方法では効率的に福音を伝えるのが難しくなった人
- ミッションを遂行するにあたり、GOOD AND EVIL INTERNATIONALは「善と悪」を100ヶ国語の言語に翻訳するという目標を設定しました。それを実現するために、翻訳者や出版社を探しています。私達のビジョンを共有し、本書を未訳の言語に翻訳したいという気持ちがある個人・団体は、ぜひ私達とパートナーとなりませんか。翻訳された言語を含む全ての言語の著作権、及び英語版の独占販売権は当団体が保有しますが、本書の翻訳や本の体裁に必要なリソースは翻訳パートナーに提供します。

翻訳パートナーの決定には、当団体が神様に誓ったコミットメントと照らし合わせ、翻訳候補者の教義上の立場について検討させていただきます。「善と悪」の訳が完成した後は、本書の全ての翻訳版がより広く普及するためにも、他の宣教師が独自のネットワークで翻訳版を印刷・配布できる権利も当団体に留保します。

翻訳に興味のある方は、手紙かメールで下記の連絡先にご連絡下さい：

No Greater Joy Ministries, Inc.
1000 Pearl Road
Pleasantville, TN 37033-1796
Contact us by email at:
GoodAndEvil@nogreaterjoy.org

現在までに「善と悪」は54ヶ国語に翻訳され、その他にいくつかの翻訳が進行中です。カラー版は英語・スペイン語・中国語・ロシア語が発売中で、すぐに発送できます。白黒版は、アラビア語・ヒンディー語・ベトナム語・ウクライナ語を含む40ヶ国語があり、オンデマンド印刷で購入できます。

「善と悪」の配布・出版の詳細については、以下にご連絡ください(英語のみ)

メール：GoodAndEvil@nogreaterjoy.org

電話：1-866-292-9936

あなたの助けがあれば、ヒーローが世界中に出ていく事ができます！

あなたの国で出版をして ミッションに参加しませんか

国際著作権エージェントを通じて、Good and Evil Internationalはアフリカ、アジア、ヨーロッパ、北アメリカや南アメリカの出版社と多数の契約を結び、各国の言語で「善と悪」を印刷し配布しています。スペイン語、中国語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、フランス語、アフリカーンス語、ズールー語を含む45ヶ国語の言語の訳が現在あります。

翻訳済みの言語の一覧はこちらをご覧ください：

www.comicbook.bible/languages

現在、ヘブライ語、フィンランド語、オランダ語、マレー語、ラフ語、ポルトガル語、ウルドゥー語を含む約36ヶ国語に翻訳中です。しかし、翻訳や配布協力していただけるパートナーを随時探しております。

販売地域での著作権の契約を結ぶことで、パートナーは「善と悪」の任意の訳を自らの組織のロゴ・名称の元で出版することができます。このような契約を結ぶことで、アメリカから送る時に発生する高額の送料を支払わずに、より多くの国で自分の言葉で「善と悪」を効率良く印刷・配布できます。

詳しい情報は、下記にご連絡ください：

(英語のみ)

メール：GoodAndEvil@nogreaterjoy.org

電話：+1-866-292-9936

子供と家族のためのミニストーリー

家庭でのミッション

福音を伝えるために遠くの国へ宣教に行く方もいますが、多くの方はそうではありません。ということは、あなたにとっての一番大事な宣教の場は自分の家庭かもしれません。日毎に深まる闇に支配されているこの世の中で、光の子を育てることはとても重要な任務であり、神様についての教えの子供向けの教材は大変役立ちます。「善と悪」は、このコミック版に加えて、全13話のアニメ版もあります。

子供も若者も「善と悪」の世界に没頭していくと、神の真実が心の中に染み込んでいきます。コミックとDVDのシリーズは新鮮な形で福音を必要としている家族や友達には良いプレゼントになるでしょう。「善と悪」のDVDシリーズを注文したい方はこちらにアクセスください (英語のみ): www.comicbook.bible

利用者の声

「私の子供はこのアニメ版の聖書が大好きです！何時間も見返しては、聖書の場面を自分たちで再現したりしています。」

-タラさん

「2冊も買いました。私たちの子供用と、友達の子供用に。このコミック聖書は本当に好きです！」

-ジャーネルさん



「善と悪」のコミック版やDVDシリーズ(英語版のみ)はこちらのリンクで注文できます: www.comicbook.bible

ヨハネの福音書1:1-37

(新改訳聖書)

- 1 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。
- 2 この方は、初めに神とともにおられた。
- 3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。
- 4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。
- 5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。
- 6 神から遣わされたヨハネという人が現われた。
- 7 この人はあかしのために来た。光についてあかしするためであり、すべての人が彼によって信じるためである。
- 8 彼は光ではなかった。ただ光についてあかしするために来たのである。
- 9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。
- 10 この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。
- 11 この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。
- 12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。
- 13 この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。
- 14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。
- 15 ヨハネはこの方について証言し、叫んで言った。「『私のあとから来る方は、私にまさる方である。私より先におられたからである。』と私が言ったのは、この方のことです。」
- 16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。
- 17 というのは、律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。
- 18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。
- 19 ヨハネの証言は、こうである。ユダヤ人たちが祭司とレビ人をエルサレムからヨハネのもとに遣わして、「あなたはどなたですか。」と尋ねさせた。
- 20 彼は告白して否まず、「私はキリストではありません。」と言明した。

- 21 また、彼らは聞いた。「では、いったい何ですか。あなたはエリヤですか。」彼は言った。「そうではありません。」「あなたはあの預言者ですか。」彼は答えた。「違います。」
- 22 そこで、彼らは言った。「あなたはだれですか。私たちを遣わした人々に返事をしたいのですが、あなたは自分を何だと言われるのですか。」
- 23 彼は言った。「私は、預言者イザヤが言ったように『主の道をまっすぐにせよ。』と荒野で叫んでいる者の声です。」
- 24 彼らは、パリサイ人の中から遣わされたのであった。
- 25 彼らはまた尋ねて言った。「キリストでもなく、エリヤでもなく、またあの預言者でもないなら、なぜ、あなたはバプテスマを授けているのですか。」
- 26 ヨハネは答えて言った。「私は水でバプテスマを授けているが、あなたがたの中に、あなたがたの知らない方が立っておられます。」
- 27 その方は私のあとから来られる方で、私はその方のくつのひもを解く値うちもありません。」
- 28 この事があったのは、ヨルダンの向こう岸のベタニヤであって、ヨハネはそこでバプテスマを授けていた。
- 29 その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」
- 30 私が『私のあとから来る人がある。その方は私にまさる方である。私より先におられたからだ。』と言ったのは、この方のことです。
- 31 私もこの方を知りませんでした。しかし、この方がイスラエルに明らかにされるために、私は来て、水でバプテスマを授けているのです。」
- 32 またヨハネは証言して言った。「御霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまられるのを私は見ました。」
- 33 私もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けさせるために私を遣わされた方が、私に言われました。『聖霊がある方の上を下って、その上にとどまられるのがあなたに見えたなら、その方こそ、聖霊によってバプテスマを授ける方である。』
- 34 私はそれを見たのです。それで、この方が神の子であると証言しているのです。」
- 35 その翌日、またヨハネは、ふたりの弟子とともに立っていたが、
- 36 イエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の小羊。」と言った。
- 37 ふたりの弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。

ヨブ記38 (新改訳聖書)

- 1 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた。
- 2 知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。
- 3 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。
- 4 わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。あなたに悟ることができるなら、告げてみよ。
- 5 あなたは知っているか。だれがその大きさを定め、だれが測りなわをその上に張ったかを。
- 6 その台座は何の上にはめ込まれたか。その隅の石はだれが据えたか。
- 7 そのとき、明けの星々が共に喜び歌い、神の子たちはみな喜び叫んだ。
- 8 海がふき出て、胎内から流れ出たとき、だれが戸でこれを閉じ込めたか。
- 9 そのとき、わたしは雲をその着物とし、黒雲をそのむつきとした。
- 10 わたしは、これをくぎって境を定め、かんぬきと戸を設けて、
- 11 言った。「ここまでは来ててもよい。しかし、これ以上はいけない。あなたの高ぶる波はここでとどまれ。」と。
- 12 あなたが生まれてこのかた、朝に対して命令を下し、暁に対してその所をさし示し、
- 13 これに地の果て果てをつかまえさせ、悪者をそこから振り落とさせたことがあるか。
- 14 地は刻印を押された粘土のように変わり、衣服のように色づけられる。
- 15 悪者からはその光が退けられ、振りかざす腕は折られる。
- 16 あなたは海の源まで行ったことがあるのか。深い淵の奥底を歩き回ったことがあるのか。
- 17 死の門があなたに現われたことがあるのか。あなたは死の陰の門を見たことがあるのか。
- 18 あなたは地の広さを見きわめたことがあるのか。そのすべてを知っているなら、告げてみよ。
- 19 光の住む所に至る道はどこか。やみのあるその場所はどこか。
- 20 あなたはわたしをその国まで連れて行くというのか。また、その家に至る通り道を見分けるというのか。
- 21 あなたが知っている……そのとき、あなたが生まれ、あなたの日数が多い、といて。
- 22 あなたは雪の倉にはいったことがあるか。雹の倉を見たことがあるか。
- 23 これらは苦難の時のために、いくさと戦いの日のために、わたしが押えているのだ。
- 24 光が分かれる道はどこか。東風が地の上で散り広がる道はどこか。

- 25 だれが、大水のために水路を通し、いなびかりのために道を開き、
- 26 人のいない地にも、人間のいない荒野にも、雨を降らせ、
- 27 荒れ果てた廃墟の地を満ち足らせ、それに若草を生やすのか。
- 28 雨に父があるか。露のしずくはだれが生んだか。
- 29 氷はだれの胎から生まれ出たか。空の白い霜はだれが生んだか。
- 30 水は姿を変えて石のようになり、深い淵の面は凍る。
- 31 あなたはすばる座の鎖を結びつけることができるか。オリオン座の綱を解くことができるか。
- 32 あなたは十二宮をその時々にしたがって引き出すことができるか。牡牛座をその子の星とともに導くことができるか。
- 33 あなたは天の法令を知っているか。地にその法則を立てることができるか。
- 34 あなたの声を雲にまであげ、みなぎる水にあなたをおおわせることができるか。
- 35 あなたはいなずまを向こうに行かせ、「私たちはここです。」とあなたに言わせることができるか。
- 36 だれが心のうちに知恵を置いたか。だれが心の奥に悟りを与えたか。
- 37 だれが知恵をもって雨雲を数えることができるか。だれが天のかめを傾けることができるか。
- 38 ちりが溶け合っただたまりとなり、土くれが堅く固まる時。
- 39 あなたは雌獅子のために獲物を狩り、若い獅子の食欲を満たすことができるか。
- 40 それらがほら穴に伏し、茂みの中で待ち伏せしているときに。
- 41 鳥の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようとき、鳥にえさを備えるのはだれか。

善と悪®

究極のコミック・アクション聖書

ご質問やご意見がありましたら下記までご日本語で連絡ください:

GoodandEvil.jp@gmail.com

日本語のFACEBOOK・INSTAGRAMをフォローして、
最新のビデオやアップデート等をチェック!



[@goodandevil.jp](https://www.facebook.com/goodandevil.jp)
([facebook.com/goodandevil.jp](https://www.facebook.com/goodandevil.jp))



[@goodandevil.jp](https://www.instagram.com/goodandevil.jp)
([instagram.com/goodandevil.jp](https://www.instagram.com/goodandevil.jp))